

# 令和4年度庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会

日時：令和4年11月21日（月）午後2時から  
場所：鶴岡市役所別棟2号館 21・22・23号会議室

## 一 次 第 一

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 協 議

#### (1) 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）の取組状況及び時点修正について

令和4年度庄内南部定住自立圏共生ビジョン 協議内容について（A4 カラー）

**資料1** 『定住自立圏構想』の趣旨、庄内南部定住自立圏形成推進体制、これまでの経過、形成協定・共生ビジョン取組項目一覧

**資料2** 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

**資料3** 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）時点修正版

**資料4** 第2次共生ビジョン KPI の達成状況調査票

#### (2) 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）の策定について

**資料5** 第2次共生ビジョンからの主な変更点について

**資料6** 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）策定案

**資料7** 新旧対照表（第2次→第3次）

#### (3) その他

### 4 閉 会

## 資 料

### 《当日配布資料》

- ・ 庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会設置要綱
- ・ 委員名簿
- ・ 事務局等名簿

### 《事前送付資料》

令和4年度庄内南部定住自立圏共生ビジョン 協議内容について（A4 カラー）

資料1 『定住自立圏構想』の趣旨、庄内南部定住自立圏形成推進体制、これまでの経過、形成協定・共生ビジョン取組項目一覧

資料2 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

資料3 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）時点修正版

資料4 第2次共生ビジョン KPI の達成状況調査票

資料5 第2次共生ビジョンからの主な変更点について

資料6 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）策定案

資料7 新旧対照表（第2次→第3次）

## 庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会委員名簿

敬称略

関係分野	No	所 属	職 名	氏 名	備考
医療	1	鶴岡地区医師会	事務局長	土屋 清光	
	2	鶴岡地区歯科医師会	会長 代理：事務長	毛呂 光一 代理：大須賀多美子	
子育て	3	鶴岡市民生児童委員協議会 連合会	会長	板垣 壮典	
福祉	4	鶴岡市社会福祉協議会	会長	山木 知也	
産業振興	5	鶴岡市農業協同組合	理事参事	白幡 静夫	欠席
	6	庄内たがわ農業協同組合	代表理事専務	菅原 勝	欠席
	7	赤川漁業協同組合	代表理事組合長	黒井 晃	欠席
	8	鶴岡商工会議所	専務理事	高橋 健彦	欠席
	9	出羽商工会	事務局長	池田ゆり子	
	10	出羽庄内森林組合	参事	吉田 直之	
	11	一般社団法人 DEGAM 鶴岡ツ ーリズムビューロー	事業課長	押井 和春	
	12	庄内地域産業振興センター	事務局長	小林 時男	欠席
	13	鶴岡青年会議所	専務理事	佐藤 天哉	
住民代表	14	東北公益文科大学大学院	公益学研究科長	武田真理子	
	15	鶴岡市社会教育委員	委員	大久保紀子	欠席
	16	三川町振興審議会	会長	五十嵐慶一	
	17	三川町振興審議会	会長職務代理者	熊田 洋勝	
	18	庄内町振興審議会	会長職務代理	佐藤 道子	
	19	庄内町行政改革推進委員会	副委員長	工藤 隆	

# 庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会事務局等出席者名簿

## オブザーバー（幹事会）

所 属	役 職	氏 名	備 考
三川町企画調整課	課長	佐 藤 亮	
庄内町企画情報課	課長	佐 藤 博文	
庄内町企画情報課	課長補佐兼企画調整係長	阿 部 聡	

## ワーキング部会

所 属	役 職	氏 名	備 考
-----	-----	-----	-----

### 医療・福祉部会

地域包括ケア推進室	室長	佐 藤 清 一	
健康課	次長(兼)課長	伊 原 千佳子	
福祉課	参事(兼)課長	佐 藤 尚 子	
長寿介護課	参事(兼)課長	菅 原 正 一	
子育て推進課	参事(兼)課長	渡 会 健 一	
荘内病院総務課	参事(兼)課長	齋 藤 匠	代理：和田里江経営企画係長
荘内病院医事課	課長	土 田 信 一	

### 教育部会

管理課	参事(兼)課長	清 野 健	
女性センター	館長	熊 坂 めぐみ	

### 産業部会

農政課	課長	伊 藤 幸	代理：五十嵐修一主幹
農山漁村振興課	課長	高 橋 修 也	
商工課	課長	白 井 覚	
観光物産課	課長	剣 持 健 志	
食文化創造都市推進課	課長	三 浦 裕 美	

### 生活・環境部会

環境課	課長	藤 澤 実	
-----	----	-------	--

### 社会基盤部会

土木課	課長	斎 藤 健 史	
建築課	課長	坂 井 正 則	
上下水道部	課長	山 口 幸 久	

### 結びつきネットワーク部会

地域振興課	課長	岡 部 穰	
-------	----	-------	--

### 圏域マネジメント部会

職員課	参事(兼)課長	佐 藤 繁 義	代理：長谷川専門員
-----	---------	---------	-----------

## 事務局

所 属	役 職	氏 名	備 考
企画部	部長	伊 藤 敦	
企画部	策企画課長	上 野 修	
政策企画課	専門員	佐 藤 紘 司	
政策企画課	主任	大 滝 直 人	

# 令和4年度庄内南部定住自立圏共生ビジョン懇談会 協議内容について

## 第2次共生ビジョンの時点修正(最終)

《計画期間》H30～R4

★R4年度は計画の最終年度であることから、事業費のみ修正

★協定・事業の変更等は第3次共生ビジョンへ反映

## 第3次共生ビジョンの策定

《計画期間》R5～R9

★第2次共生ビジョンをベースにし、前文の修正やこれまでの取組を踏まえ、協定や事業の変更等を反映

★策定後は、取組状況を踏まえ、毎年度改訂

## 第2次共生ビジョンから第3次共生ビジョンへの主な変更箇所

### (1)前文の修正

別紙詳細(資料5)あり

- ・人口等令和2年国勢調査実績の数値を反映
- ・圏域全体における目標値を更新
- ・新型コロナウイルス感染症対策について記載

### (2)協定の変更(3件)

※各市町議会の議決事項

- ・鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用(協定名及び内容の変更)  
→広域利用から相互利用へ
- ・老人福祉施設の広域利用(内容の変更)  
→整備が完了したことから整備の内容から措置入所の内容へ変更
- ・食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成(協定名及び内容の変更)  
→映画部分のみ削除

### (3)協定の削除(1件)

- ・水田農業の研究・研修活動等の促進  
→支援団体が解散したため削除

### (4)その他

- ・事業内容の修正及びKPIの見直し 等

# 1. 『定住自立圏構想』とは (総務省ホームページより)

我が国は、今後、総人口の減少及び少子化・高齢化の進行が見込まれています。今後は、三大都市圏でも人口減少が見込まれますが、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子化・高齢化が見込まれています。

このような状況を踏まえ、地方圏において安心して暮らせる地域を各地に形成し、地方圏から三大都市圏への人口流出を食い止めるとともに、三大都市圏の住民にもそれぞれのライフスタイルやライフスタイルに応じた居住の選択肢を提供し、地方圏への人の流れを創出することが求められています。

市町村の主体的取組として、「中心市」の都市機能と「近隣市町村」の農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPO や企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、地域住民のいのちと暮らしを守るため圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

平成 21 年 4 月から全国展開し、現在、各地で取組が進んでいます。

## 定住自立圏のイメージ



### 全国の実施状況

令和 4 年 11 月 1 日現在の状況は、次のとおりです。

宣言中心市	140 市	中心市宣言を行った市の数
定住自立圏	130 圏域	定住自立圏形成協定の締結又は定住自立圏形成方針の策定により形成された定住自立圏の数
ビジョン策定市	130 市	定住自立圏共生ビジョンを策定した宣言中心市の数

## 2. 庄内南部定住自立圏形成推進体制

### 共生ビジョン懇談会

【構成員】取組内容の関連分野の組織代表、各市町の住民代表の委員等 20名以内

#### 庄内南部定住自立圏形成推進会議

【構成員】鶴岡市、三川町、庄内町（3市町）の首長

#### 庄内南部定住自立圏形成検討委員会

【構成員】3市町の副首長

#### 庄内南部定住自立圏形成幹事会

【構成員】3市町の広域行政担当部課の長及び担当職員

#### ワーキング部会

【構成員】各想定連携分野に関連する3市町の担当課職員

- 医療・福祉部会
- 産業部会
- 社会基盤部会
- 圏域マネジメント部会
- 教育部会
- 生活・環境部会
- 結びつきネットワーク部会

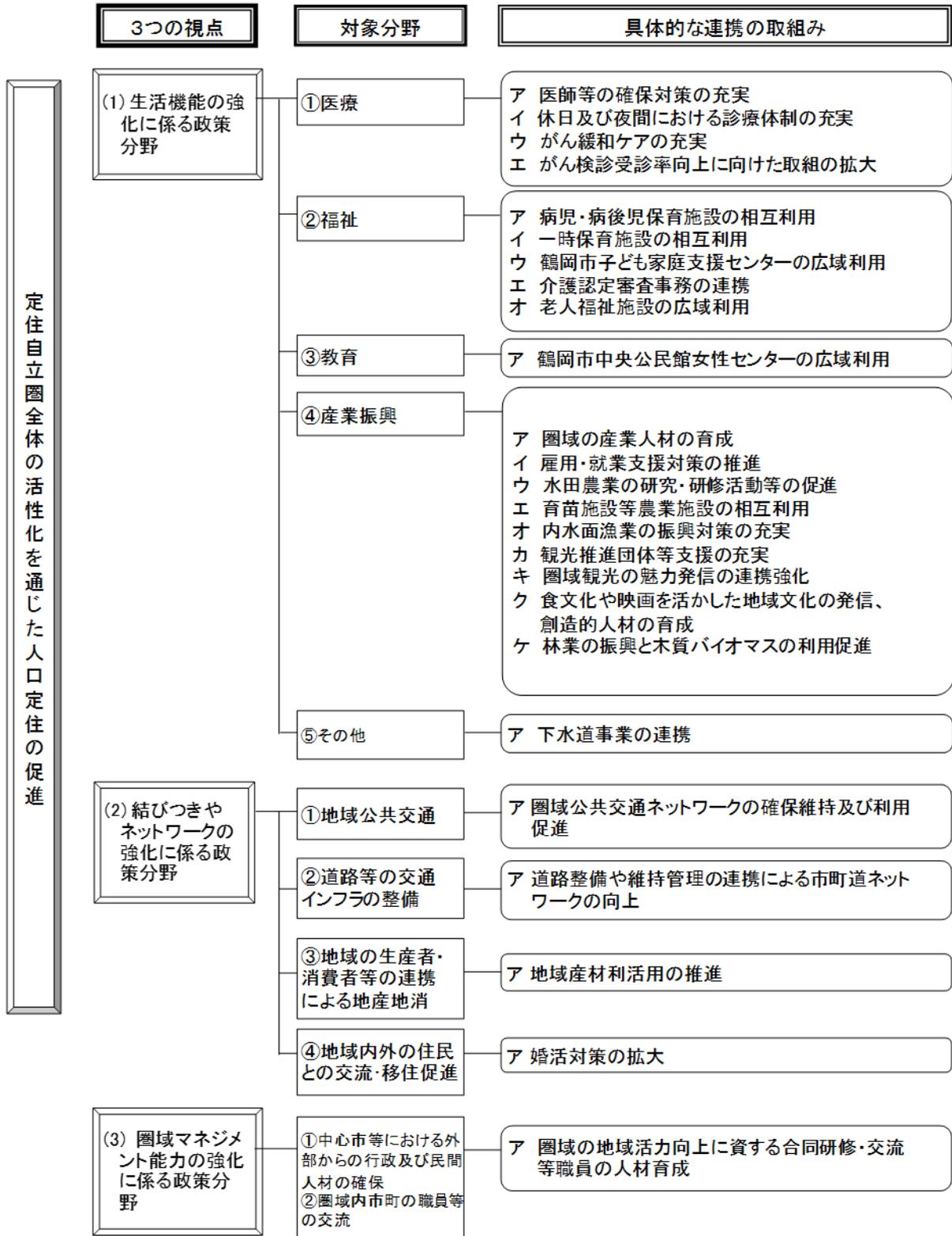
事務局 鶴岡市企画部政策企画課

## 3. これまでの経過

年度	月	事項	備考
H23	3月	鶴岡市「中心市宣言」	
H24	9月	定住自立圏形成協定の議決	
	10月	協定の締結・公表	3市町長協定合同調印式
	3月	共生ビジョンの策定・公表	
H25	3月	共生ビジョンの改訂・公表	
H26	3月	共生ビジョンの改訂・公表	
H27	3月	変更協定の締結	変更先：庄内町
		共生ビジョンの改訂・公表	
H28	3月	変更協定の締結	変更先：三川町・庄内町
H29	2月	共生ビジョンの改訂・公表	
	3月	第2次共生ビジョンの策定・公表	
H30	3月	第2次共生ビジョンの改訂・公表	
R1	3月	第2次共生ビジョンの改訂・公表	
R2	3月	第2次共生ビジョンの改訂・公表	
R3	3月	第2次共生ビジョンの改訂・公表	

# 4. 庄内南部定住自立圏形成協定・共生ビジョン取組項目一覧

連携事項一覧 R4. 3. 31 現在



## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

荘内病院 総務課

対象分野名	医療			
具体的取組み項目名	医師等の確保対策の充実			
1. 実施状況及びその評価	<p>①医学生への修学資金貸与 将来的に当院に勤務する医師の確保に向け、修学資金貸与制度を平成25年4月に創設した。平成25年度から令和3年度まで14名に貸与を行い、将来的な医師確保に向け取り組んでいる。貸与者のうちこれまで6名が荘内病院で研修医・常勤医として勤務している。</p> <p>②オープンホスピタル事業 医学部・薬学部への進学を考えている高校生を対象に、平成23年度から開始した事業で、将来的な医師・薬剤師確保に取り組んでいる。令和2年度と令和3年度は、新型コロナウイルス感染症防止により中止したが、令和4年度は再開し、10名の参加があった。</p> <p>③ステューデント・ドクター(診療参加型臨床実習医学生) 医師の県内定着を図ることなどを目的として、平成25年1月から山形大学医学部、平成26年度からは新潟大学医学部の臨床実習医学生(5年生、6年生)の受入れを行っている。山形大学から令和2年度は14名、令和3年度は20名、令和4年度は20名程度の学生の受入れを予定している。</p> <p>④病院説明会への参加などの取組 例年、各地で開催される説明会に年数回参加しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響で説明会が中止となったため、病院独自にオンライン説明会を開催し7名の医学生が参加した。令和3年度は、山形県病院ガイダンス(5月、山形市)にオンライン参加、レジナビ Fair オンライン 北海道・東北 Week2021(7月)、レジナビ Fair オンライン 2021 仙台フェア Week(11月)へ参加した。また、病院独自のオンライン説明会には、4名の医学生の参加があった。令和4年度は、山形県病院ガイダンス(5月、山形市)、レジナビ Fair 東京(6月、東京都)に参加し、レジナビ Fair 仙台(10月、仙台市)にも参加する予定である。 病院見学については、新型コロナウイルスの影響により受け入れに制限をかけたが、県内を中心に令和2年度は18名、令和3年度は17名、令和4年度上半期は16名の見学を受け入れた。</p> <p>⑤医師公舎の整備 医師の居住環境の充実を図るため、PFI手法を用いて、平成26年度に着工。平成27年6月に院内保育所を併設した新医師公舎(40戸)の整備を行った。</p> <p>⑥大学への協力依頼 新潟大学や山形大学などに随時、医師派遣の要請を行うとともに、首都圏の複数の大学、新規に開設された東北医科薬科大学にも医師派遣の協力をお願いし、医師の確保に向けた取り組みを行っている。</p> <p>⑦民間人材紹介会社の活用 民間の人材紹介会社からの医師紹介を積極的に活用しており、平成27年度に1名、平成29年度に2名、平成30年度に1名、令和2年度に2名を雇用している。</p>			
2. 課題	医師の増員に向けては、専門領域の細分化など種々の困難な課題があるが、上記の施策を中心として、医師の増員を図っていく取組みを積極的に推進していく必要がある。			
3. 重要業績評価指標 (KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標
		70人 (平成29年度末)	72人 (令和3年度末)	75人

4. 今後の方向性	医師の増員に向け、諸施策を積極的に推進していく。							
5. 5年間の評価 (H30～R4)	さまざまな取組によって平成29年度末は70人であった医師数が、令和3年度末は72人へと増加したが、今後も引き続き医師確保に向けた取組をすすめていく。							
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	35,000	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267
	三川町							
	庄内町							

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名	健康課
------	-----

対象分野名	医療																																																																																																								
具体的取組み項目名	休日及び夜間における診療体制の充実																																																																																																								
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の初期救急医療施設として認知度を高めるとともに、他の二次・三次救急医療機関も含めた適切な利用を促進するため、普及啓発の取組みを行うもの。</p> <p>圏域としての取組みは、広報誌への掲載や3市町のホームページに両診療所の情報を掲載しているほか、協定締結以前に引き続き、両診療所の指定管理者である法人の会員として、鶴岡市と三川町が診療所の運営に関わっている。</p> <p>市町別受診者数の比較は下記のとおり。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th colspan="4">休日夜間診療所</th> <th colspan="4">休日歯科診療所</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R03(A)</th> <th>R02(B)</th> <th>(A)-(B)</th> <th></th> <th>R03(A)</th> <th>R02(B)</th> <th>(A)-(B)</th> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>1,133</td> <td>1,623</td> <td>△490</td> <td>鶴岡市</td> <td>262</td> <td>276</td> <td>△14</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>39</td> <td>79</td> <td>△40</td> <td>三川町</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>△1</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>20</td> <td>31</td> <td>△11</td> <td>庄内町</td> <td>8</td> <td>13</td> <td>△5</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>34</td> <td>43</td> <td>△9</td> <td>その他</td> <td>33</td> <td>41</td> <td>△8</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,226</td> <td>1,776</td> <td>△550</td> <td>合計</td> <td>312</td> <td>340</td> <td>△28</td> </tr> </table> <p>休日夜間診療所(A)と庄内病院救急センター(B) 同一時間帯の受診者数の比較</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">R03</th> <th colspan="3">R02</th> <th rowspan="2">対前年比</th> </tr> <tr> <th>(A)患者数</th> <th>(B)患者数</th> <th>(A)/(A+B)</th> <th>(A)患者数</th> <th>(B)患者数</th> <th>(A)/(A+B)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>休日日中</td> <td>938</td> <td>2,128</td> <td>30.6 %</td> <td>1,177</td> <td>1,294</td> <td>47.6 %</td> <td>△17.0 %</td> </tr> <tr> <td>休日夜間</td> <td>108</td> <td>469</td> <td>18.7 %</td> <td>179</td> <td>469</td> <td>27.6 %</td> <td>△8.9 %</td> </tr> <tr> <td>平日夜間</td> <td>180</td> <td>1,694</td> <td>9.6 %</td> <td>420</td> <td>1,639</td> <td>20.4 %</td> <td>△10.8 %</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,226</td> <td>4,291</td> <td>22.2 %</td> <td>1,776</td> <td>3,402</td> <td>34.3 %</td> <td>△12.1 %</td> </tr> </tbody> </table> <p>受診者数の増減は両診療所の認知度を示す指標の一つとはなるものの、特に休日夜間診療所の受診者数は、インフルエンザや感染性胃腸炎等の流行性疾患の状況に大きく左右されるものである。</p> <p>なお、両診療所の円滑な運営及び医療の向上を図ることを目的として鶴岡市が設置する「鶴岡市休日夜間診療推進委員会」では、二次救急医療機関である庄内病院救急センターの受診者数との比較等により、両診療所は救急医療の適正受診について一定の役割を果たしている、との評価を受けているところである。</p> <p>令和2年度の利用者数は、インフルエンザが流行しなかったこと、また、コロナ感染症対策のため、診察希望者へ電話で聞き取りしコロナの疑いが無い方を診察する方式に切り替えたことなどから、令和元年度と比較すると減少している。</p>			休日夜間診療所				休日歯科診療所					R03(A)	R02(B)	(A)-(B)		R03(A)	R02(B)	(A)-(B)	鶴岡市	1,133	1,623	△490	鶴岡市	262	276	△14	三川町	39	79	△40	三川町	9	10	△1	庄内町	20	31	△11	庄内町	8	13	△5	その他	34	43	△9	その他	33	41	△8	合計	1,226	1,776	△550	合計	312	340	△28		R03			R02			対前年比	(A)患者数	(B)患者数	(A)/(A+B)	(A)患者数	(B)患者数	(A)/(A+B)	休日日中	938	2,128	30.6 %	1,177	1,294	47.6 %	△17.0 %	休日夜間	108	469	18.7 %	179	469	27.6 %	△8.9 %	平日夜間	180	1,694	9.6 %	420	1,639	20.4 %	△10.8 %	合計	1,226	4,291	22.2 %	1,776	3,402	34.3 %	△12.1 %
休日夜間診療所				休日歯科診療所																																																																																																					
	R03(A)	R02(B)	(A)-(B)		R03(A)	R02(B)	(A)-(B)																																																																																																		
鶴岡市	1,133	1,623	△490	鶴岡市	262	276	△14																																																																																																		
三川町	39	79	△40	三川町	9	10	△1																																																																																																		
庄内町	20	31	△11	庄内町	8	13	△5																																																																																																		
その他	34	43	△9	その他	33	41	△8																																																																																																		
合計	1,226	1,776	△550	合計	312	340	△28																																																																																																		
	R03			R02			対前年比																																																																																																		
	(A)患者数	(B)患者数	(A)/(A+B)	(A)患者数	(B)患者数	(A)/(A+B)																																																																																																			
休日日中	938	2,128	30.6 %	1,177	1,294	47.6 %	△17.0 %																																																																																																		
休日夜間	108	469	18.7 %	179	469	27.6 %	△8.9 %																																																																																																		
平日夜間	180	1,694	9.6 %	420	1,639	20.4 %	△10.8 %																																																																																																		
合計	1,226	4,291	22.2 %	1,776	3,402	34.3 %	△12.1 %																																																																																																		
2. 課題	医療機関での診察時間内での受診啓蒙と併せ、地域の救急医療体制を守る観点からも、両診療所をはじめとする救急医療機関の適切な利用促進について、いかにして効果的に住民周知を図っていくかが課題である。																																																																																																								
3. 重要業績評価指標(KPI)	利用者数	現状値(調査時点) 8,891人 (平成28年度)	進捗状況(現時点) 1,226人 (令和3年度)	目標 現状維持																																																																																																					
4. 今後の方向性	二次・三次救急医療機関の医師の負担を軽減する観点からも、両診療所をはじめとする救急医療機関の適切な利用の促進のため、3市町で更に連携を強めながら普及啓発事業に取り組む。																																																																																																								

<p>5. 5年間の評価 (H30～R4)</p>	<p>平成 29 年から令和元年までは、ほぼ現状維持のまま推移していたが、令和 2 年から新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、インフルエンザの患者が居なくなった点、新型コロナウイルスへの対応について症状を有する患者はトリアージに特化した点、医師の負担軽減措置の観点から令和 3 年より診療時間を減少させた点から、令和 2 年、令和 3 年の患者数が減少し、令和 2 年の場合、前年との患者数 5,338 人減となった。 庄内圏域での移動制限はなかったが、三川町、庄内町も鶴岡市同様患者数が減少した。</p>						
<p>6. 事業費見込 (千円)</p>	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
鶴岡市	40	30	30	30	30	30	150
三川町							
庄内町							

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担 当 課 名

庄内病院 地域医療連携室

対象分野名	医療																																																										
具体的取組み項目名	がん緩和ケアの充実																																																										
1. 実施状況及びその評価	<p>厚生労働省の補助事業である、緩和ケア普及のための地域プロジェクトとして、全国4地域のひとつとして、鶴岡・三川地域(事業名:庄内プロジェクト)が選定され、平成20年度から22年度まで3年間、緩和ケアの普及に取り組んだ。平成23年度から「南庄内緩和ケア推進協議会」を立ち上げ事業を引き続き実施している。同協議会では、4つあったワーキンググループを「教育」「啓発」「連携」の3つに集約し、平成25年度からは、緩和ケアの対象疾患を「非がん」にも拡大し、活動を展開している。また、平成29年度からは地域症例検討会、健康塾・スキルアップ研修会、緩和ケアを学ぼう会、看護師連携、市民公開講座の5つアクショングループに再編成した。これらの活動を通じ、医療関係者や介護・福祉関係者の顔の見える関係が構築され、円滑な情報共有、関係者や、市民の理解が図られ、緩和ケアや在宅医療の推進に寄与している。</p> <p>各事業の対象は主に鶴岡・三川地域の施設、住民となっているが、庄内町からの参加も受け入れている。</p> <p>令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、中止となった事業があったが、研修会にオンライン参加を取り入れるなど開催方法の改善を図った。今後も感染対策を行いながら、事業の充実を図っていきたい。</p> <p>活動実績(回、件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動内容</th> <th>H30 年度</th> <th>R元年度</th> <th>R2 年度</th> <th>R3 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域緩和ケア症例検討会</td> <td>11</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアスキルアップ研修会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>つるおか健康塾</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアを学ぼう会</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>出張講演会</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>ストーマ患者と家族の会</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>出張緩和ケア研修会</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>市民公開講座、ほっと広場</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアに関する相談</td> <td>197</td> <td>218</td> <td>393</td> <td>343</td> </tr> <tr> <td>退院前カンファレンス</td> <td>76</td> <td>73</td> <td>69</td> <td>70</td> </tr> </tbody> </table>				活動内容	H30 年度	R元年度	R2 年度	R3 年度	地域緩和ケア症例検討会	11	10	5	8	緩和ケアスキルアップ研修会	3	3	2	2	つるおか健康塾	5	4	2	1	緩和ケアを学ぼう会	3	3	2	3	出張講演会	4	2	0	0	ストーマ患者と家族の会	2	2	0	0	出張緩和ケア研修会	4	1	1	0	市民公開講座、ほっと広場	6	5	2	3	緩和ケアに関する相談	197	218	393	343	退院前カンファレンス	76	73	69	70
活動内容	H30 年度	R元年度	R2 年度	R3 年度																																																							
地域緩和ケア症例検討会	11	10	5	8																																																							
緩和ケアスキルアップ研修会	3	3	2	2																																																							
つるおか健康塾	5	4	2	1																																																							
緩和ケアを学ぼう会	3	3	2	3																																																							
出張講演会	4	2	0	0																																																							
ストーマ患者と家族の会	2	2	0	0																																																							
出張緩和ケア研修会	4	1	1	0																																																							
市民公開講座、ほっと広場	6	5	2	3																																																							
緩和ケアに関する相談	197	218	393	343																																																							
退院前カンファレンス	76	73	69	70																																																							
2. 課題	<p>平成23・24年度は、フォローアップ研究費として、国からの補助を受けることができたが、今後、継続的に事業を展開する上で、安定的な財源の確保が重要となる。</p> <p>緩和ケアや在宅医療に対する需要が増すと見込まれることから、これまでの事業の充実が一層求められるものであり、体制の確保が重要となる。</p>																																																										
3. 重要業績評価指標(KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目 標																																																							
		90 件 (平成 30 年度)	149 件 (令和 3 年度)	150 件																																																							

4. 今後の方向性	体制充実を図り、5つのワーキンググループを中心に事業を展開し、患者やその家族のみならず、在宅医療の担い手に対するサポートにも傾注し、緩和ケアや在宅医療の充実に努める。							
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>南庄内緩和ケア推進協議会による取り組みを継続して行った結果、緩和ケアに関する講演会、研修会等の事業を通じて、医療・介護・福祉関係者の連携強化とスキルアップが図られている。</p> <p>また、地域住民を対象にした緩和ケアの普及・啓発事業の取り組みにより、参加者のアンケート調査では、概ね緩和ケアの理解に繋がったとの結果となっており、緩和ケアに対する正しい理解・普及に一定の成果を上げている。</p>							
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250
三川町	600	600	600	600	600	600	600	3,000

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

健康課

対象分野名	医療														
具体的取組み項目名	がん検診受診率向上に向けた取組の拡大														
1. 実施状況及びその評価	<p>圏域の住民のがん予防及びがんの早期発見・早期治療推進のため、がん検診の受診率向上を目指し、啓発活動の取り組みを行うもの。</p> <p>取り組みは、圏域が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーンの実施により、啓発活動を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診受診向上対策キャンペーン 会場 イオンモール三川 内容 受診啓発ティッシュ・パンフレット等の配布、ポスター展示、がん検診クイズの実施、のぼり旗の設置等</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実施日</th> <th>啓発者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年度</td> <td>10月5日(土)</td> <td>1,727人</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>10月3日(土)</td> <td>1,035人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>10月2日(土)</td> <td>760人</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>評価 令和2年度に続き、令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により実施内容を制限した中での取り組みとなった。 北部定住圏、いきいき健康フェア(庄内保健所主催)、山形県がん総合相談出張相談(山形県庁主催)との同時開催により、広域的に啓発活動ができた。また、がん検診受診率向上に加え、がん予防活動促進・がんに対する健康不安解消の相乗効果が得られた。</li> </ul>			年度	実施日	啓発者数	令和元年度	10月5日(土)	1,727人	令和2年度	10月3日(土)	1,035人	令和3年度	10月2日(土)	760人
年度	実施日	啓発者数													
令和元年度	10月5日(土)	1,727人													
令和2年度	10月3日(土)	1,035人													
令和3年度	10月2日(土)	760人													
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャンペーンについて南部・北部の合同実施としたことで、中心市の役割分担等事務調整が必要である。</li> <li>コロナ禍の中での啓発活動となっており、感染対策を講じながら実施可能な中での取り組みとなっているため、いかにして多くの人に周知啓発できるかが課題である。</li> </ul>														
3. 重要業績評価指標(KPI)	各がん検診受診率	<table border="1"> <thead> <tr> <th>現状値(調査時点)</th> <th>進捗状況(現時点)</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(南部) 平成28年度受診率 (子宮20~69歳) 30~50%台</td> <td>(南部) R3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%</td> <td>現状値以上</td> </tr> </tbody> </table>	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標	(南部) 平成28年度受診率 (子宮20~69歳) 30~50%台	(南部) R3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%	現状値以上							
現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標													
(南部) 平成28年度受診率 (子宮20~69歳) 30~50%台	(南部) R3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%	現状値以上													
4. 今後の方向性	<p>今後はイオンモール三川を会場としたキャンペーンを継続し、庄内南部・北部で更に連携を強め、事務調整を行いながら普及啓発活動の取り組みを推進する。</p> <p>併せてがん予防のための受動喫煙防止も推進する。</p>														
5. 5年間の評価(H30~R4)	<p>がん検診受診率は、令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響で受診機会の減少や受診控えが見られたため低下したものの、それ以外の年度においては圏域全体として現状値(調査時点)をほぼ上回る受診率となっていることから、キャンペーンの実施等による啓発活動の取り組みは一定の効果があつたものと判断する。</p>														

6. 事業費見込		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(千円)	鶴岡市	227	19	19	16	14	30	98
	三川町	29	19	19	16	14	30	98
	庄内町	44	10	10	8	7	15	50

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉						
具体的取組み項目名	病児・病後児保育施設の相互利用						
1. 実施状況及びその 評価	鶴岡市設置の『カトレアキッズルーム』『はなな(ちわら菜の花こども園内)』『らっころー(南部保育園内)』及び三川町設置の『にこっと』、庄内町設置の『ほっと』で、鶴岡市、三川町、庄内町の住民が相互に利用できるようにしている。 ・周知 鶴岡市、三川町、庄内町の各担当課窓口で各施設の紹介をしている。 ・利用実績 (単位:人 下段括弧内は利用者全体に占める比率)						
	年度	事業自治体	鶴岡市民	三川町民	庄内町民	その他	合計
	令和元年度	鶴岡市(カトレア)定員2名	41 (100%)	0	0	0	41
		三川町(にこっと)定員7名	84 (25%)	219 (66%)	1 (1%)	26 (8%)	330
		庄内町(ほっと)定員6名	4 (1%)	1 (1%)	661 (94%)	33 (4%)	699
	令和2年度	鶴岡市(カトレア・はなな・らっこ)定員7名	111 (100%)	0	0	0	111
		三川町(にこっと)定員7名	9 (9%)	83 (88%)	0 (0%)	3 (3%)	94
		庄内町(ほっと)定員6名	3 (1%)	0	299 (96%)	10 (3%)	312
	令和3年度	鶴岡市(カトレア・はなな・らっこ)定員7名	244 (96%)	11 (4%)	0	0	255
		三川町(にこっと)定員7名	17 (9%)	163 (87%)	4 (2%)	4 (2%)	188
庄内町(ほっと)定員6名		6 (1%)	0 (0%)	508 (98%)	5 (1%)	519	
・評価 全体の利用者が増加し、鶴岡市と三川町では相互利用の割合も増加した。相互利用は、病気流行の程度や、保育手段の確保など、外的な要因が影響を及ぼすものであり、居住市町の施設で受け入れができない場合の他自治体の施設で受け入れ手段が確保できることは有益である。							
2. 課題	新型コロナウイルス感染症の影響で利用者の増加が見込みづらい。また、キャンセルが発生した場合、キャンセル待ちの利用希望者に連絡するものの、すでに保育手段を確保していることが多く、結果的に利用人数が減少してしまうため、安定的な運営が課題。						
3. 重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用 延人数	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)			目標	
		201人 (平成29年度)	38人 (令和3年度)			150人	

<p>4. 今後の方向性</p>	<p>今後も3市町の連携を継続していく。          広く圏内の住民への制度周知を図るとともに、より円滑な相互利用に向けて調整を行う。コロナ禍等で今後の状況も不透明であり、市民の利用ニーズの対応、感染対策等へ対応した運営が難しい状況である。          今後、利用定員や運営方法等の検討を行い、利用者のニーズにあった病児保育の提供を行っていく。</p>						
<p>5. 5年間の評価 (H30～R4)</p>	<p>相互利用人数は、平成30年度142人、令和元年度90人、令和2年度12人、令和3年度38人であり、令和元年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響を受けて減少している。今後、利用定員や運営方法等の検討を行い、利用者のニーズにあった病児保育の提供を行っていく。</p>						
<p>6. 事業費見込 (千円)</p>	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
鶴岡市	6,747	6,764	7,109	29,270	28,336	27,333	98,812
三川町	10,940	15,532	15,897	15,897	15,640	16,513	79,479
庄内町	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉																																																																																												
具体的取組項目名	一時保育施設の相互利用																																																																																												
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市の13保育園と三川町の2保育園、庄内町の2保育園が実施する一時預かり事業について、他市町の住民が相互に利用できるようにしている。</p> <p>・一時保育の利用実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">年度</th> <th rowspan="2">事業実施自治体</th> <th colspan="4">利用実績(延人数)</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>鶴岡市民</th> <th>三川町民</th> <th>庄内町民</th> <th>その他</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">令和元年度</td> <td>鶴岡市</td> <td>1,430</td> <td>11</td> <td>18</td> <td>96</td> <td>1,555</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>0</td> <td>243</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>244</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>28</td> <td>0</td> <td>1,162</td> <td>200</td> <td>1,390</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,458</td> <td>254</td> <td>1,180</td> <td>297</td> <td>3,189</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">令和2年度</td> <td>鶴岡市</td> <td>1,217</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,217</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>23</td> <td>36</td> <td>0</td> <td>8</td> <td>67</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>45</td> <td>0</td> <td>669</td> <td>108</td> <td>822</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,285</td> <td>36</td> <td>669</td> <td>116</td> <td>2,106</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">令和3年度</td> <td>鶴岡市</td> <td>1,020</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1,021</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>2</td> <td>50</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>13</td> <td>0</td> <td>486</td> <td>14</td> <td>513</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,035</td> <td>51</td> <td>486</td> <td>14</td> <td>1,586</td> </tr> </tbody> </table> <p>令和元年度 鶴岡市民の庄内町施設利用数は28人</p> <p>令和2年度 鶴岡市民の三川町施設利用数は23人 鶴岡市民の庄内町施設利用数は45人</p> <p>令和3年度 鶴岡市民の三川町施設利用数は2人 鶴岡市民の庄内町施設利用数は13人</p> <p>・評価 全体的な利用人数は減少している。</p>							年度	事業実施自治体	利用実績(延人数)				合計	鶴岡市民	三川町民	庄内町民	その他	令和元年度	鶴岡市	1,430	11	18	96	1,555	三川町	0	243	0	1	244	庄内町	28	0	1,162	200	1,390	合計	1,458	254	1,180	297	3,189	令和2年度	鶴岡市	1,217	0	0	0	1,217	三川町	23	36	0	8	67	庄内町	45	0	669	108	822	合計	1,285	36	669	116	2,106	令和3年度	鶴岡市	1,020	1	0	0	1,021	三川町	2	50	0	0	52	庄内町	13	0	486	14	513	合計	1,035	51	486	14	1,586
年度	事業実施自治体	利用実績(延人数)				合計																																																																																							
		鶴岡市民	三川町民	庄内町民	その他																																																																																								
令和元年度	鶴岡市	1,430	11	18	96	1,555																																																																																							
	三川町	0	243	0	1	244																																																																																							
	庄内町	28	0	1,162	200	1,390																																																																																							
	合計	1,458	254	1,180	297	3,189																																																																																							
令和2年度	鶴岡市	1,217	0	0	0	1,217																																																																																							
	三川町	23	36	0	8	67																																																																																							
	庄内町	45	0	669	108	822																																																																																							
	合計	1,285	36	669	116	2,106																																																																																							
令和3年度	鶴岡市	1,020	1	0	0	1,021																																																																																							
	三川町	2	50	0	0	52																																																																																							
	庄内町	13	0	486	14	513																																																																																							
	合計	1,035	51	486	14	1,586																																																																																							
2. 課題	利用できる人数に限りがあるため、鶴岡市の保育園の一時預かりは鶴岡市の住民だけで定員に達している場合が多いが、三川町・庄内町の住民からの問い合わせもほとんどない状況である。																																																																																												
3. 重要業績評価指標(KPI)	3市町相互利用延人数	現状値(調査時点) 57人 (平成28年度)	進捗状況(現時点) 16人 (令和3年度)	目標 80人																																																																																									
4. 今後の方向性	今後も継続していく。 受け入れ態勢を整えながら、広く圏内の住民へ周知していきたい。保育所等への入所による需要の頭打ちも想定されるが、保育サービスの水準を維持したい。																																																																																												
5. 5年間の評価(H30～R4)	平成30年度は相互利用延人数82人で目標の80人を達成した。しかし、令和元年度57人、令和2年度68人、令和3年度16人となり、新型コロナウイルス感染症の影響があり、目標を達成できていないが、受け入れ態勢を整えながら、広く圏内の住民へ周知していきたい。																																																																																												
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																																																						
(千円)	鶴岡市	22,125	23,869	27,058	31,191	35,647	45,253	163,018																																																																																					
	三川町	1,843	1,722	1,600	2,607	2,676	2,679	11,284																																																																																					
	庄内町	7,785	8,086	9,698	10,221	11,312	6,800	46,117																																																																																					

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

子育て推進課

対象分野名	福祉							
具体的取組項目名	鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用							
1. 実施状況及びその評価	<p>・なかよし広場の利用と育児相談 センター内に併設されているなかよし広場で、午前9時から午後4時まで親子で自由に遊ぶことができる。感染症対策として利用制限実施。 令和3年4月から令和4年3月末までの利用者人数 6,451名 (内、三川町民(30名) 庄内町民(16名)) 令和4年4月から8月末まで5カ月間の利用者人数 2,600名 子どもを遊ばせながら保育士、保健師に相談することができる。また、電話による相談も受けている。 令和3年4月から令和4年3月末までの相談件数 4,065件 令和4年4月から8月末まで5カ月間の相談件数 1,565件</p> <p>・あそびの広場(年4回)の実施 朝陽武道館や出羽庄内国際村などの広い会場で、様々な遊具を使用して親子でのびのびと遊ぶことができる。 令和3年度の参加人数(1回開催) 56名 ※新型コロナウイルス感染症の影響等により2回中止。 令和4年度の参加人数(1回開催) 63名 ※令和4年度は3回実施予定(2回目9月、3回目11月を予定)。</p> <p>・評価 なかよし広場(自由来館型)やあそびの広場は、誰でも利用可能としており、親子で楽しい時間を過ごすことができるようにしている。新型コロナウイルス感染症対策として、定員や時間制限を設け、玩具の共有を避けるなど、安心して利用できるよう配慮している。育児相談については、匿名での相談も受け付けており、身近な相談先として定着している。相談内容によっては関係機関につなぎ、継続した支援に繋がっている。</p>							
2. 課題	今後も少子化の傾向は続くことが予想され、保育園への入園の低年齢化も進んでおり、加えて新型コロナウイルス感染予防のため人数を制限せざるを得ず、低年齢児が利用する施設の性質上、利用者増は難しい。							
3. 重要業績評価指標(KPI)	施設利用者数 (なかよし広場利用者数及びあそびの広場参加者数)	現状値(調査時点) 13,807人 (平成29年度)	進捗状況(現時点) 6,507人 (令和3年度)	目標 13,000人				
4. 今後の方向性	子育て世代にとって魅力ある事業の実施、安心・安全な利用しやすい環境づくり、相談しやすい体制づくり等を行う。令和2年度に三川町・庄内町に子育て支援拠点が整備されたことから、鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用から、各市町の子育て支援拠点の相互利用に方向転換する。							
5. 5年間の評価(H30～R4)	少子化傾向及び低年齢からの保育所等の利用に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、施設利用者数は目標に達しなかった。また、令和2年度には、三川町・庄内町に子育て支援拠点施設が整備されたことも、利用者数に影響していると推察される。							
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	400	416	490	498	300	573	2,277
	三川町							
	庄内町							

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

長寿介護課

対象分野名	福祉							
具体的取組み項目名	介護認定審査事務の連携							
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として実施しており、介護保険事業の効率的な運営が図られている。</p> <p>介護認定審査会は、12の合議体に分かれ、1合議体当たり6名の委員を配置し、うち4名の委員により1回の合議体を構成している。1回当たりの合議体では、40件を基本に審査しており、1週に5回(月2回、火1回、木2回)の開催とし、うち三川町分については、1回で約6件の審査となっている。</p>							
2. 課題								
3. 重要業績評価指標(KPI)	委託事務の達成率	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標				
		100%	100%	100%				
4. 今後の方向性	今後も、継続して鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。							
5. 5年間の評価(H30～R4)	協議書に基づき、受託事務を遂行した。今後も継続する見込みである。							
6. 業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	15,502	13,793	15,954	11,058	14,428	18,000	73,233
	三川町	5,085	4,860	5,079	4,500	4,738	4,800	23,977

※但し鶴岡市事業見込額に職員人件費は含まれていない。

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名	長寿介護課
------	-------

対象分野名	福祉						
具体的取組み項目名	老人福祉施設の広域利用						
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市に2施設ある養護老人ホームについて、重度要介護者の特養等の適正施設への入所替えを進め、適切な定員により安心して生活できる施設環境整備を図る必要がある。</p> <p>市立養護老人ホーム友江荘の整備及び運営には、民間活力を導入するため、移管先法人を募集し、社会福祉法人恵泉会に決定し、国、県、鶴岡市、三川町、庄内町の補助を受けながら施設整備を進め、平成30年度で完了した。</p> <p>社会福祉法人思恩会による養護老人ホーム湯野浜思恩園についても、運営法人に対し国・県・3市町で補助を行い、令和3年度の施設完成により、環境整備を行った。</p> <p>また、要介護3以上の重度要介護者については、併設した特別養護老人ホームに入所替えを進め、円滑な移行を行った。</p>						
2. 課題							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	工事進捗状況	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)			目標	
		0% (R1.8月時点)	100% (R3年10月末)			100% (R3年10月末)	
4. 今後の方向性	<p>圏域内の住民が養護老人ホームへ措置入所が必要になった場合に備え、入所枠については、令和2年1月に「養護老人ホーム入所に関する覚書」を取り交わしており、入所枠の管理は庄内総合支庁保健福祉環境部地域保健福祉課が行っていく。</p> <p>緊急入所や覚書によらない事態には、庄内総合支庁、鶴岡市福祉事務所、酒田市福祉事務所が連携し、協議を行っていく。</p>						
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>鶴岡市に2施設ある養護老人ホームについて、適切な定員により安心して生活できる施設環境整備を行った。</p> <p>圏域内の福祉体制の安定と充実を図るとともに、利用者の生活環境を改善し、地域福祉の向上が図られた。</p>						
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	912,000			73,060		985,060
	三川町	2,632			1,993		4,625
	庄内町	7,379			5,585		12,964

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

中央公民館

対象分野名	教育																																																		
具体的取組項目名	鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用																																																		
1. 実施状況及びその評価	<p>・実施状況 平成25年度から女性センター主催講座について、三川町及び庄内町の住民を利用対象者に加えた。</p> <p>令和3年度実績 (人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>講座名</th> <th>内 容</th> <th>鶴岡市</th> <th>三川町</th> <th>庄内町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>春季講座 (5 講座)</td> <td>マクラメ編み、筆ペン、ふろしき活用、インサイドコンディショニング、青竹ピクス</td> <td>81</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>秋季講座 (4 講座)</td> <td>快眠セルフケア、つまみ細工、タヒチ式エクササイズ、ダンベルトレーニング</td> <td>48</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>短期講座 (13 講座)</td> <td>料理教室、親子ふれあい教室、かがやき女性塾、男性料理教室 他</td> <td>174</td> <td>5</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">職業支援講座</td> <td>調理師試験合格をめざして</td> <td>11</td> <td>0</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>就業支援パソコン講座</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>322</td> <td>7</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> <p>受講生に占める2町の利用者の割合 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>割合</td> <td>3.5</td> <td>7.9</td> <td>3.1</td> <td>6.1</td> </tr> </tbody> </table> <p>・評価 2町の受講生は令和2年度の延べ11人に対し、令和3年度は21人と増加し、受講生全体に占める割合は6.1%と目標を上回った。要因として、令和2年度は新型コロナウイルス感染症による自粛等があったが、令和3年度は感染症の影響を受けながらも、学習活動が再開されたことが考えられる。</p>							講座名	内 容	鶴岡市	三川町	庄内町	春季講座 (5 講座)	マクラメ編み、筆ペン、ふろしき活用、インサイドコンディショニング、青竹ピクス	81	0	1	秋季講座 (4 講座)	快眠セルフケア、つまみ細工、タヒチ式エクササイズ、ダンベルトレーニング	48	2	3	短期講座 (13 講座)	料理教室、親子ふれあい教室、かがやき女性塾、男性料理教室 他	174	5	9	職業支援講座	調理師試験合格をめざして	11	0	1	就業支援パソコン講座	8	0	0	合 計		322	7	14	年度	H30	R1	R2	R3	割合	3.5	7.9	3.1	6.1
講座名	内 容	鶴岡市	三川町	庄内町																																															
春季講座 (5 講座)	マクラメ編み、筆ペン、ふろしき活用、インサイドコンディショニング、青竹ピクス	81	0	1																																															
秋季講座 (4 講座)	快眠セルフケア、つまみ細工、タヒチ式エクササイズ、ダンベルトレーニング	48	2	3																																															
短期講座 (13 講座)	料理教室、親子ふれあい教室、かがやき女性塾、男性料理教室 他	174	5	9																																															
職業支援講座	調理師試験合格をめざして	11	0	1																																															
	就業支援パソコン講座	8	0	0																																															
合 計		322	7	14																																															
年度	H30	R1	R2	R3																																															
割合	3.5	7.9	3.1	6.1																																															
2. 課題	2町の広報誌に毎回受講生募集の掲載依頼を行っているが、紙面が限られている等の理由により掲載率が57.7%(令和3年度)にとどまっている。住民への周知には、広報やチラシなど紙媒体が効果的ではあるが、さらに幅広く周知するためには、新たな周知方法が必要である。																																																		
3. 重要業績評価指標 (KPI)	2町の利用者割合	現状値(調査時点) 1.9% (H31.1年度)	進捗状況(現時点) 6.1% (R3年度)	目 標 5.0%																																															
4. 今後の方向性	今後も2町に対し広報誌への掲載依頼及びチラシ配置を行うほか、市町のホームページや SNS などを活用した周知方法を検討する。講座の受講や情報提供により、学習意欲の向上につなげ、圏域全体の交流と活性化を図り、それぞれの地域の学習活動を促進する。																																																		
5. 5年間の評価 (H30~R4)	新型コロナウイルス感染症の影響により途中目標を下回ったものの、平均では4.9%となり、概ね目標を達成することができた。																																																		
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																												
(千円)	鶴岡市	1,500	1,169	1,169	982	792	1,327	5,439																																											
	三川町	0	0	0	0	0	0	0																																											
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0																																											

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

商工課

対象分野名	産業振興							
具体的取組み項目名	圏域の産業人材育成							
1. 実施状況及びその評価	<p>圏域の産業人材育成のため(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業に対し支援(運営費・受講費の一部補助)を実施している。</p> <p>令和3年度は、階層別、職能別、ビジネススキルの向上、品質管理・生産改善等の分野で24講座の人材育成事業を実施し、延べ270人が受講した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響から、講座の中止や、定員を制限しての募集を行ったため、受講者数は減となっているものの、圏域住民、圏域企業へのPRも積極的に実施し、オンラインも活用しながら広く参加者を募って事業を実施しており、圏域企業間の交流及び圏域内の企業の活性化、さらには人材育成に一定の効果があったと思われる。</p>							
2. 課題	<p>企業数や人口規模等も影響し、鶴岡市からの参加企業、参加者が圧倒的に多い状況にあることから、さらに三川町、庄内町へのPRを強化する必要がある。</p> <p>人材育成事業への参加者は、1市2町からのみでなく、その他の市町からの参加者もいるため、事業費負担の按分割合の算出方法をどのように決定するかが課題である。</p>							
3. 重要業績評価指標(KPI)	受講者数	現状値(調査時点)		進捗状況(現時点)		目標		
		268人		270人(R3年度)		350人		
4. 今後の方向性	関係市町の企業、参加者等のニーズを把握し、講座内容に反映させながら、継続して実施する。							
5. 5年間の評価(H30～R4)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から、直近の受講者数は目標には届かなかったが、コロナ前であるH30年度は441人、R1年度は386人と目標達成しており、企業活動の活性化や人材育成等に効果があったと考える。</p> <p>内容については、参加者へ講座毎にアンケートを実施しており、概ね好評な意見を得ている。また、アンケートの声や社会情勢等をふまえて、次年度の講座内容の見直し等を行っている。</p>							
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	9,805	9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384
	三川町							
	庄内町							

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

商工課

対象分野名	産業振興							
具体的取組み項目名	雇用・就業支援対策の推進							
1. 実施状況及びその評価	<p>鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、鶴岡市と三川町が連携し、在宅での仕事を希望する方のため内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あっせん事務を実施するもの。</p> <p>令和3年度の延相談件数は863件で、うち鶴岡市が860件、三川町が3件となっている。</p> <p>また、内職をあっせんした件数は45件で、うち鶴岡市が45件、三川町が0件となっている。</p> <p>新型コロナウイルスの影響により、コロナ前と比較して相談件数は減少しているが、一方で、コロナの影響で収入が減少し、内職により減少した分の収入を確保することを希望する相談者が多くなっている。</p> <p>圏域内で在宅での仕事を希望する方々へ内職をあっせんすることにより、収入の確保による安定した生活への支援につながっている。</p> <p>また、積極的に内職を募集する企業もあるなど、マッチングを図ることで、企業の経営安定化が図られ、企業支援にもつながっている。</p>							
2. 課題	この事業は、鶴岡市と三川町が連携して行っている事業であるが、相談に訪れる方の中には、庄内町を含む他市町村の方も若干名見受けられる。こうした方の相談を受けることはできるが、他市町村分の内職求人は持ち合わせていないため、内職のあっせんをすることができない状況にある。							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	斡旋件数	現状値(調査時点)		進捗状況(現時点)		目標		
		138件		45件(令和3年度)		145件		
4. 今後の方向性	今後も在宅での仕事を希望する方々に内職をあっせんするため、積極的な求人開拓を行い、継続して事業を実施していく。							
5. 5年間の評価 (H30~R4)	<p>目標値には届かなかった原因の1つとして、新型コロナウイルス感染症の影響により、相談件数が大きく減少していることが挙げられる。</p> <p>一方で、新型コロナウイルスの影響により本来の仕事の収入が減少し、不足分を内職で補填することを目的とする相談者が増加している傾向にあり、新たな求職者側のニーズがあるなど、引き続き内職は求められている状況にある。</p> <p>求人の開拓のため企業訪問も継続して行い、新たな求人の獲得にもつながっており、求職者や及び企業にとって、必要な事業である。</p>							
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	2,529	2,392	2,180	2,064	2,154	2,423	11,213
	三川町	138	138	128	122	127	144	659

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

農政課

対象分野名	産業振興						
具体的取組項目名	水田農業の研究・研修活動等の促進						
1. 実施状況及びその評価	<p>【令和3年度】</p> <p>◆わんぱく農業クラブ</p> <p>稲の生育とその周辺の生きものや植物等を観察し、農業への理解と関心を深めることを目的に、山形大学農学部が主催し小学生を対象とした水田農業体験を実施した。市は広報への掲載等の事業周知、事業実施時スタッフとして参加する等の協力を行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により初回は中止となったが、6月～11月の5回実施した。</p>						
2. 課題							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	ワークショップ・研修会・わんぱく農業クラブ参加者	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)			目 標	
		300名	【参考】 わんぱく農業クラブ 180名(令和3年度)			350名	
4. 今後の方向性	H31年3月に庄内水田農業推進機構が解散したことから、山形大学農学部が実施						
5. 5年間の評価 (H30～R4)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により事業中止、令和3年度は一部中止となったものの、各回児童 30 名程度の参加があり、農業への理解、関心を深めることができた。						
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(千円)							
鶴岡市	370	370	0	0	0	0	370
三川町	21	21	0	0	0	0	21
庄内町	63	63	0	0	0	0	63

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名	農政課
------	-----

対象分野名	産業振興																		
具体的取組項目名	育苗施設等農業施設の相互利用																		
1. 実施状況及びその評価	<p>&lt;庄内南部地域育苗施設利用拡大事業&gt; 庄内町花卉育苗施設、三川町野菜育苗施設の活用による園芸作物の作付け拡大を支援するため補助事業を実施(補助率3分の1以内。ただし、会員価格との差額を上限とする。)</p> <p>・令和3年度実績</p> <table border="1"> <tr> <td>JA 庄内たがわ(価格差 5%)</td> <td>花卉(ストック・トルコギキョウ)</td> <td>1,420 枚</td> </tr> <tr> <td>JA鶴岡(価格差 10%)</td> <td>花卉(トルコギキョウ・金魚草等)</td> <td>1,895 枚</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td>3,315 枚</td> </tr> </table> <p>・令和3年度事業費(補助金額)</p> <table border="1"> <tr> <td>JA 庄内たがわ</td> <td>4,496,382 円(215,000 円)</td> </tr> <tr> <td>JA鶴岡</td> <td>6,166,733 円(604,000 円)</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10,663,115 円(819,000 円)</td> </tr> </table> <p>&lt;庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業&gt; H27 年に大網放牧場を廃止し、庄内広域育成牧場に統合し合理化された。 大網放牧場廃止に伴い、受け入れ頭数の増に対応するため、庄内広域育成牧場の親子放牧用水飲み場の新設及び牧区の整備を H27 年度に支援(8,200 千円)。 H25 年豪雨災害により庄内町放牧場への道路が寸断されたことをきっかけに、庄内町放牧場の牛は H26 年度から庄内広域育成牧場に放牧されることになった。 なお、庄内町放牧場は R2 年度から社会福祉法人月山福祉会に指定管理者が変更されている。</p> <p>R3 年度庄内広域育成牧場運営協議会分担金(市町負担分) 7,482 千円</p>				JA 庄内たがわ(価格差 5%)	花卉(ストック・トルコギキョウ)	1,420 枚	JA鶴岡(価格差 10%)	花卉(トルコギキョウ・金魚草等)	1,895 枚	合計		3,315 枚	JA 庄内たがわ	4,496,382 円(215,000 円)	JA鶴岡	6,166,733 円(604,000 円)	合計	10,663,115 円(819,000 円)
JA 庄内たがわ(価格差 5%)	花卉(ストック・トルコギキョウ)	1,420 枚																	
JA鶴岡(価格差 10%)	花卉(トルコギキョウ・金魚草等)	1,895 枚																	
合計		3,315 枚																	
JA 庄内たがわ	4,496,382 円(215,000 円)																		
JA鶴岡	6,166,733 円(604,000 円)																		
合計	10,663,115 円(819,000 円)																		
2. 課題	<p>&lt;庄内南部地域育苗施設利用拡大事業&gt; 花き栽培を播種から行う場合、多大な労力を費やす他、育苗の失敗や株の品質安定化の課題があるが、苗の状態で購入することで育苗に係るリスクと労力の軽減が可能となる。また、地域内に施設があることで配送コストを削減できることから、安価な花き苗の導入を推進し、施設利用の拡大に繋げる。</p> <p>&lt;庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業&gt; 庄内広域育成牧場への大網放牧場と庄内町放牧場の牛・羊の移行は終了したことから、今後は庄内広域牧場の円滑な運営を維持する必要がある。</p>																		
3. 重要業績評価指標(KPI)	項目名	現状値(調査時点)	進捗状況(R3 実績)	目標															
	施設利用者数	43 人	41 人	50 人															
	牛放牧頭数 (庄内南部/全体)	136 頭/179 頭	133 頭/176 頭	140 頭/200 頭															
	牛放牧戸数 (庄内南部/全体)	38 戸/51 戸	28 戸/40 戸	35 戸/50 戸															
	めん羊放牧頭数	65 頭	76 頭	70 頭															

<p>4. 今後の方向性</p>	<p>&lt;庄内南部地域育苗施設利用拡大事業&gt; 育苗施設の効率的運用による育苗コストの削減の依頼を行いながら、利用者の増加に努める。 &lt;庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業&gt; 庄内広域育成牧場が庄内全域の公共牧場としての役割を果たすためにも、庄内全体の関係機関が結集し均衡のとれた負担体制を構築していく。</p>							
<p>5. 5年間の評価 (H30～R4)</p>	<p>&lt;庄内南部地域育苗施設利用拡大事業&gt; 育苗施設の利用により、労力の軽減と個人で育苗する際のリスクを回避することが出来た。また、高品質かつ安価な花き苗の導入により、経営の安定が図られた。  &lt;庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業&gt; 管内では、畜産農家の廃業や高齢化が進み厳しい状況下にあるが、繁殖・酪農農家の約7割が庄内広域育成牧場を利用し、放牧することにより労務負担・高騰する飼料等コストの軽減がはかられ、農家経営の長寿命化に寄与している。 また、庄内広域育成牧場は高水準の受胎率を維持していることから、県事業を活用している繁殖農家の増頭意欲にも寄与しており、規模拡大を目指す農家当たりの放牧頭数の増に繋がっている。</p>							
<p>6. 事業費見込 &lt;庄内南部地域育苗施設利用拡大事業&gt;</p>	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	515	502	542	914	819	900	3,677
	三川町							
	庄内町							
<p>7. 事業費見込 &lt;庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業&gt;</p>	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	5,252	5,644	5,678	5,062	5,081	5,118	26,583
	三川町	180	180	180	180	180	198	918
	庄内町	3,179	3,179	2,781	2,345	2,221	2,252	12,778

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

農山漁村振興課

対象分野名	産業振興																																																
具体的取組み項目名	内水面漁業の振興対策の充実																																																
1. 実施状況及びその評価	<p>内水面漁業協同組合では、アユやサクラマスなどの釣り人等からの遊漁料収入を財源として、サクラマスやアユ等の種苗放流による増殖と、河川監視や産卵場造成による漁場環境保全の活動を行っている。</p> <p>また、小学生を対象とした稚魚放流による水産資源保護、環境保全意識の啓発の活動を進めている。</p> <p>近年、遊漁料収入が減少傾向にあり、また、組合員の減少と高齢化により運営が厳しい状況にある中、R1年度は夏の渇水と8月中2度の集中豪雨、R2年度は7月豪雨によって長期にわたり濁りが続き、最盛期のアユの遊漁者数が極めて少ない状況が続いている。</p> <p>遊漁者数を増やし、遊漁料収入の増に繋げるには、漁場環境保全活動に取り組むとともに、魚が豊かな川・漁獲量の多い川にしていくことが重要となる。</p> <p>このため、1市2町が連携して種苗放流と漁場環境保全活動に係る補助金を交付して支援することで、内水面漁業の振興が図られている。</p> <p>赤川年度別漁獲量 (単位:kg)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年 度</th> <th>サクラマス</th> <th>アユ</th> <th>その他</th> <th>合 計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 26 年度</td> <td>3, 200</td> <td>2, 000</td> <td>39, 830</td> <td>45, 030</td> </tr> <tr> <td>平成 27 年度</td> <td>2, 000</td> <td>2, 000</td> <td>39, 280</td> <td>43, 280</td> </tr> <tr> <td>平成 28 年度</td> <td>2, 000</td> <td>1, 000</td> <td>33, 900</td> <td>36, 900</td> </tr> <tr> <td>平成 29 年度</td> <td>2, 000</td> <td>1, 000</td> <td>33, 900</td> <td>36, 900</td> </tr> <tr> <td>平成 30 年度</td> <td>1, 500</td> <td>0</td> <td>33, 900</td> <td>35, 400</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>1, 500</td> <td>300</td> <td>33, 550</td> <td>35, 350</td> </tr> <tr> <td>令和 2 年度</td> <td>1, 000</td> <td>500</td> <td>28, 900</td> <td>30, 400</td> </tr> <tr> <td>令和 3 年度</td> <td>500</td> <td>1, 100</td> <td>22, 650</td> <td>24, 250</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「山形県の水産」による統計                  ※その他魚種…にじます、いわな、やまめ、ひめます、ふな、うぐい、やつめうなぎ、かじか、どじょう、なまず、えび、かに等</p>				年 度	サクラマス	アユ	その他	合 計	平成 26 年度	3, 200	2, 000	39, 830	45, 030	平成 27 年度	2, 000	2, 000	39, 280	43, 280	平成 28 年度	2, 000	1, 000	33, 900	36, 900	平成 29 年度	2, 000	1, 000	33, 900	36, 900	平成 30 年度	1, 500	0	33, 900	35, 400	令和元年度	1, 500	300	33, 550	35, 350	令和 2 年度	1, 000	500	28, 900	30, 400	令和 3 年度	500	1, 100	22, 650	24, 250
年 度	サクラマス	アユ	その他	合 計																																													
平成 26 年度	3, 200	2, 000	39, 830	45, 030																																													
平成 27 年度	2, 000	2, 000	39, 280	43, 280																																													
平成 28 年度	2, 000	1, 000	33, 900	36, 900																																													
平成 29 年度	2, 000	1, 000	33, 900	36, 900																																													
平成 30 年度	1, 500	0	33, 900	35, 400																																													
令和元年度	1, 500	300	33, 550	35, 350																																													
令和 2 年度	1, 000	500	28, 900	30, 400																																													
令和 3 年度	500	1, 100	22, 650	24, 250																																													
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊漁者の増加</li> <li>・組合員の減少の歯止め</li> </ul>																																																
3. 重要業績評価指標 (KPI)	赤川の漁獲量	現状値(調査時点) 36,900 kg (平成 29 年度実績値)	進捗状況(現時点) 24,250 kg (令和 3 年度実績値)	目 標 42,900 kg (H25～H28 平均)																																													
4. 今後の方向性	<p>内水面漁業の振興に繋げる取組みとして、水産資源の維持・増大に向け県と1市2町が連携しアユの増殖等を進める。また、組合員の増により安定的な経営体の育成を進める。</p>																																																
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>漁獲量は全体的に減少傾向であるものの、資源増殖については、財政支援により一定の水準が維持されている。また、遊漁者の増加を図るためには、内水面漁業協同組合による遊漁券販売の工夫や情報発信の強化を併せて行うことが重要である。</p>																																																

6. 事業費見込		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(千円)	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

観光物産課

対象分野名	産業振興			
具体的取組項目名	観光推進団体等支援の充実			
1. 実施状況及びその評価	<p>&lt;赤川花火大会への支援&gt; 赤川花火大会の情報発信や来場者の安全対策など実行委員会が行う事業への支援、を行い、交流人口の拡大に向けて取り組んでいる。 令和元年度の第29回大会まではBS朝日での全国生放送のほか、観覧席への導線の改善や三川橋への目隠しフェンスの設置など安心安全な大会運営に向けた取組の充実が図られた。 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止、令和3年度は無観客による30日間の打上げを行い、感染症対策、安心安全を最優先した開催を行っている。 令和4年度補助金額(予算額) 鶴岡市 15,000千円、三川町 300千円</p> <p>&lt;出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金&gt; 月山登山のピークを迎える時期に駐車場の交通誘導を行うとともに、登山道の公衆トイレの維持管理、給水事業など観光客の受入環境の充実に向けて取り組んでいる。 令和4年度負担金額(予算額) 鶴岡市 2,720千円 庄内町 205千円</p>			
2. 課題	<p>赤川花火大会については、全国の花火大会の人気ランキングで上位にランクされ、雑誌やテレビなどの各メディアからの注目も高まっており、引き続き安全対策、事故防止に努めるとともに、交通渋滞や駐車場問題など受け入れに関する対応を充実させる必要がある。また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、新しい生活様式に沿った開催方法が求められる。</p> <p>出羽三山地区においては、月山公園線の狭隘道路箇所や八合目駐車場の容量不足による交通渋滞が課題となっており、給水事業や公衆トイレ管理についても整備する必要がある。</p>			
3. 重要業績評価指標(KPI)	項目名	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標
	観客数	33万人 (平成29年度)	35万人 (令和元年度) <small>直近の通常開催の数値</small>	35万人
	出羽三山への 観光客数	85万8千人 (平成28年度末)	64万8千人 (令和3年度)	90万人
4. 今後の方向性	両事業とも、来年度以降も継続的に実施し、観光推進団体への支援を通じて、観光誘客の拡大に向けた情報発信や観光地の施設整備等に努める。			
5. 5年間の評価(H30~R4)	<p>&lt;赤川花火大会への支援&gt; 「感動日本一」を目指し、鶴岡青年会議所会員を中心とする実行委員会が赤川花火大会を開催。地域の賑わいづくりの創出のほか、観光誘客の拡大に寄与している。</p> <p>&lt;出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金&gt; 登山道の公衆トイレの維持管理や給水事業などの受入環境の整備を行うにあたり、一定の成果が得られたものの、外出や移動制限があったコロナ禍においては、観光客の増加には至らなかった。</p>			

6. 事業費見込 ＜赤川花火大会への支援＞ (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	15,000	15,000	15,000	10,078	15,000	15,000	70,078
	三川町	300	300	300	202	300	300	1,402
7. 事業費見込 ＜出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会負担金＞ (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	2,600	2,600	2,600	2,600	2,720	2,720	13,240
	庄内町	200	200	200	200	205	205	1,010

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

観光物産課

対象分野名	産業振興						
具体的取組み項目名	圏域観光の魅力発信の連携強化						
1. 実施状況及びその評価	<p>&lt;魅力発信事業&gt;</p> <p>・インバウンド観光推進事業</p> <p>欧米諸国を重点的なターゲットとして、外国語版ホームページでの発信やフランス旅行誌への記事掲載、鶴岡駅前の観光案内所への英語対応スタッフの配置、無料 Wi-Fi 環境の整備など、外国人旅行者の受入環境整備や情報発信に取り組んでいる。</p> <p>また、外航クルーズ船の誘致や仙台空港アクセスバスを活用した誘客など、庄内北部の市町を含めた広域連携によるインバウンド誘客の拡大に向け取り組みを行った。</p> <p>令和2年度以降、世界的規模で新型コロナウイルス感染症が拡大したことから、外国人延べ宿泊者数は減少している。(令和3年度 889人)</p> <p>令和4年度事業費 鶴岡市 6,760千円</p>						
2. 課題	<p>広域連携での魅力発信については、現在、庄内観光コンベンション協会、きらきら羽越観光圏に鶴岡市、三川町、庄内町も会員となり庄内地域一体で各種事業を実施しており、今後、こうした組織での活動も踏まえ、圏域観光の魅力発信事業の充実に向けて検討していく必要がある。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、渡航が制限されているが、インバウンド再開に向け、情報発信・受入環境整備などを中心に継続した取り組みが必要である。</p>						
3. 重要業績評価指標 (KPI)	外国人延べ宿泊者数	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目 標			
		10,435人 (H29年11月末)	889人 (令和3年度)	40,000人			
4. 今後の方向性	渡航制限解除による本格的な外国人観光客の受け入れに向けて、県、各自治体と連携しながら観光誘客の拡大を目指す。						
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>広域連携の魅力発信は、きらきら羽越観光圏の会員を中心に継続的な情報発信やキャンペーンを展開しており、域内周遊の促進が図られた。</p> <p>また、インバウンドの状況は、渡航制限により外国人延べ宿泊者数が減少傾向だが、精神文化に興味のある欧米をターゲットに情報発信を継続しており、令和4年度以降の本格的なインバウンドの再開に向け、域内の認知度向上が図られた。</p>						
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721
	三川町	0					0
	庄内町	0					0

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

食文化創造都市推進課

対象分野名	産業振興
具体的取組み項目名	食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成
1. 実施状況及びその評価	<p><b>【食文化や映画を活かした地域文化の発信】</b></p> <p>・令和3年度はSDGsをテーマとした食に関連する映画を上映する「第6回おいしい鶴岡食の映画祭」を開催。「鶴岡まちなかキネマ」の再活用を図る目的で、まちキネでのリアル上映とオンライン配信を組み合わせた形での実施を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、オンライン配信のみでの開催となった。</p> <p>また、ユネスコ創造都市である山形市と白柞市と連携し、それぞれの食に関わる映画を上映するなど、新たな交流事業の展開を図った。</p> <p>■実績・結果</p> <p>映画祭期間 : R4.1.23～29(一週間)</p> <p>上映作品数 : 4作品</p> <p>オープニング上映 ①食と映画でつながるユネスコ創造都市(トークセッション) ②短編映画「山形×和菓子～未来を彩る伝統文化～」</p> <p>オンライン上映 ①100年ごはん(特別映像)おらほの自慢の給食センター</p> <p>観客動員数 : 163人(前年度比-405人)</p> <p>■評価</p> <p>初の試みである山形市、白柞市との創造都市交流も含めた取組であったが、新型コロナウイルスの影響により、まちキネを活用した上映が実施できなかったことは残念であった。また、急遽、リアル上映が出来なくなったこともあり、オンライン上映への切替や周知など、難しかった部分もあり、観客動員数は昨年度より減少となった。しかし、新たな都市交流のきっかけとなる取組を企画出来たことから、今後の交流促進、食文化の発信強化に繋がっている。</p> <p>・郷土料理、地域食材のレシピ集である「つるおかおうち御膳」の改訂版を令和4年6月に発刊。また令和3年12月から冊子版に先行する形でWEB上でのレシピ公開を実施。</p> <p>■評価</p> <p>庄内全域の書店等で「つるおかおうち御膳改訂版」の販売され、またインターネットでの購入対応も可能となっていることから、地域の郷土料理、食材等、食文化の魅力の発信、再認識に繋がっている。</p> <p><b>【創造的人材の育成】</b></p> <p>・映像制作人材の育成にかかる具体的取組みは実施できていないが、山形市の若手映像制作グループに鶴岡市の料理人紹介映像制作を担っていただくなど、都市間交流促進による新たな連携強化が図られつつある。</p> <p><b>【食文化関連交流拠点施設入込客数について】</b></p> <p>・食文化関連交流拠点施設(鶴岡市FOODEVER、三川町マイデル、庄内町クラッセ)への入込客数については、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和2年度に大きく減少したが、令和3年度は入込客数は増えており、改善傾向と捉えている。</p>
2. 課題	<p>国の補助金等を活用しての事業展開を行っている現状のため、継続して実施するための資金の確保が課題となっている。</p>

3. 重要業績評価指標 (KPI)	圏域市町食文化 関連交流拠点 施設入込客 数	現状値(調査時点)		進捗状況(現時点)		目 標	
		254,570 人(H29)		247,627 人(R3)		278,300 人(R4)	
4. 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ収束後の映画祭の会場については、検討が必要。</li> <li>・動画制作や発信に係る人材の発掘・活用については、他都市との交流促進・連携なども検討していく。</li> </ul>						
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食や食文化に関わる映画上映を通して、地域の食文化の発信や食文化への意識醸成が図られた一方、新型コロナウイルスの影響やまちキネの閉館などもあり、リアル上映が出来なかったことで、圏域交流が停滞したと考えられる。</li> <li>・オンラインを活用したことにより、地域文化の発信強化のきっかけづくりになったことから、今後有効的な活用(情報発信)を検討していく必要がある。</li> <li>・創造的な人材育成については、具体的な取組も実施できず、今後の課題と捉えている。</li> </ul>						
6. 事業費見込	H29	H30.	R1	R2	R3	R4	計
(千円)							
鶴岡市	303	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043
三川町	0						0
庄内町	0						0

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

農山漁村振興課

対象分野名	産業振興																																																
具体的取組項目名	林業の振興と木質バイオマスの利用促進																																																
1. 実施状況及びその評価	<p>木質バイオマス発電所が平成27年度から鶴岡市榎引地域で本格稼働をしている。発電所の運転状況は順調で、ほぼ計画通りの出力を確保しているものの、燃料となる間伐材由来の低質木材については、地域内供給が計画量の 20.8%に止まっている。</p> <p>◎地域内木質バイオマス供給量(間伐材由来) 月別入荷量 (単位:t)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年実績</th> <th>R3年4~9月</th> <th>10月</th> <th>11月</th> <th>12月</th> <th>1月</th> <th>2月</th> <th>3月</th> <th>R3年度合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画値</td> <td>33,000</td> <td>16,500</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> <td>2,750</td> <td>33,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>10,024</td> <td>2,746</td> <td>376</td> <td>1,043</td> <td>1,170</td> <td>800</td> <td>520</td> <td>221</td> <td>6,876</td> </tr> <tr> <td>達成率(実績/計画)</td> <td>30.4%</td> <td>16.6%</td> <td>13.7%</td> <td>37.9%</td> <td>42.5%</td> <td>29.1%</td> <td>18.9%</td> <td>8.0%</td> <td>20.8%</td> </tr> </tbody> </table> <p>その他 地域外間伐材由来 7,766t(23.5%)                  一般木質バイオマス(製材端材等) 12,489t(37.8%)                  ※地域外、一般木質バイオマスとの合計でも、計画値の82.2%しか木材を集材できていない。</p>										R2年実績	R3年4~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計	計画値	33,000	16,500	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	33,000	実績	10,024	2,746	376	1,043	1,170	800	520	221	6,876	達成率(実績/計画)	30.4%	16.6%	13.7%	37.9%	42.5%	29.1%	18.9%	8.0%	20.8%
	R2年実績	R3年4~9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	R3年度合計																																								
計画値	33,000	16,500	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	33,000																																								
実績	10,024	2,746	376	1,043	1,170	800	520	221	6,876																																								
達成率(実績/計画)	30.4%	16.6%	13.7%	37.9%	42.5%	29.1%	18.9%	8.0%	20.8%																																								
2. 課題	<p>現在、山形県内では7つの木質バイオマス発電所が稼働中で、森林組合等事業者が発電所へ搬入した C・D 材を買取り、発電の燃料としている。しかし、買取価格が均一でないことから、地域外の買取価格の高い発電所へ搬入する場合もあり、森林資源の地域内循環が機能していない状況がみられる。</p> <p>そのため、地域内の発電事業者からは、安定した木材供給を望まれているが、現状の素材生産量の約 2.3 倍となっている需要見込みに対して、供給体制の整備が遅れている。</p>																																																
3. 重要業績評価指標(KPI)	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	現状値(調査時点) 15,400 トン/年 (平成29年度実績値)	進捗状況(現時点) 6,876 トン/年 (令和3年度実績値)	目標 33,000 トン/年 (目標発電量を賄える数量)																																													
4. 今後の方向性	<p>森林資源とバイオマスエネルギー、資金が地域内で循環可能となるよう、林内路網等の生産基盤の整備によって、木材生産量の拡大と低コスト化を進め、安定した木材供給を目指す。また、森林資源の地域循環の必要性について、林業事業者の理解と協力を求め、出荷量の増大を図っていく。</p>																																																
5. 5年間の評価(H30~R4)	<p>木質バイオマスの原材料となるC・D材の生産量を拡大するため、間伐に対する補助金の嵩上げや路網整備を実施してきたが、間伐に対する国庫補助配分率の低下等で木材生産量が伸びず、目標値の達成には至らなかった。令和3年度から森林環境譲与税を財源とする補助金の創設や見直しなどで事業費の増額を行っており、今後の生産量拡大を期待したい。</p>																																																
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																										
(千円)	鶴岡市	46,438	37,676	23,586	31,742	32,786	94,980	220,770																																									
	庄内町	915	1,477	1,386	1,384	1,462	6,747	12,456																																									

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

下水道課

対象分野名	生活機能の強化 その他						
具体的取組項目名	下水道事業の連携						
1. 実施状況及びその評価	<p>「庄内南部定住自立圏共生ビジョン 下水道事業連携プラン」に基づき、下水道事業連携ワーキング部会を開催し、情報交換を行う。</p> <p>(1) 令和3年度 下水道事業連携ワーキング部会 第1回:令和3年10月1日 【協議内容】 ①事業スケジュールの確認 ②共有データの更新 ・災害時貸出可能機器・資材リストの更新 ・水洗化率の調査 第2回:令和4年3月17日 【協議内容】 ①第1回ワーキング部会の資料確認 ②各河川水質の実態把握 ③次期共生ビジョンを見据えた事業の検討について</p> <p>(2) 下水道事業連携プランの計画課題に基づく令和3年度の事業計画 (ア) 公共用水域の保全(地域を流れる河川水質の向上及び維持) (イ) 生活環境改善の促進について(下水道の普及啓蒙と接続率の向上) (ウ) 災害時の対応策の検討について(災害時の情報共有・連携による迅速化及び業務継続力の強化)</p>						
2. 課題	災害時は、下水道施設だけでなく道路・電力施設等の被災により、交通遮断や電力供給の停止なども想定されることから、事業連携プランを進める上で、当該施設管理者から施設管理や復旧計画等に関する情報を入手するとともに、関係機関との調整が必要となる。						
3. 重要業績評価指標(KPI)	最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)		目標		
		91.1% (H29年度末)	92.8% (R3年度末)	91.6% (R4年度末)			
4. 今後の方向性	下水道事業連携プランに基づき、構成市町が相互に連携するとともに、下水道事業への効率的・効果的な取組により、公共用水域の水質保全及び生活環境の向上を図る。						
5. 5年間の評価(H30～R4)	下水道等の整備が概ね計画どおり進み、KPI 指標となる最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率が当初目標の 91.6%を上回り、一定の取組成果があったと考えられる。						
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
(千円)							
鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0	0	0

第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名	地域振興課
------	-------

対象分野名	地域公共交通																																							
具体的取組項目名	圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進																																							
1. 実施状況及びその評価	<p>圏域の公共交通ネットワーク強化のため、地域公共交通の実態を踏まえ、交通事業者等関係機関と適宜協議を重ね、公共交通ネットワークの確保維持及びダイヤ改正など利便性の向上を図り、圏域内の交流の活性化に努めた。</p> <p>路線バス運行については、モータリゼーションの進展や少子高齢化、加えて新型コロナウイルス感染症の影響や、また過疎化の進行等により利用率の低迷が続き、バス事業者の経営環境は年々厳しさを増している。また、運転手不足も深刻化しつつある。このため、路線維持に係る関係市町の財政負担は重い。</p> <p>路線別では、鶴岡(押切)酒田線は利用者ニーズと実態を踏まえ、平成 26 年度より既存の国県補助路線と統合することで財政負担の軽減を図った。</p> <p>また、鶴岡(モール)清川線は病院や介護施設、藤島駅等を経由する経路変更等の効果もあり、一時的に輸送人員が増加したものの依然運行収支は厳しい状況にある。このため、平成27年度からは地域内フィーダー系統確保維持計画に位置付けている。</p> <p>・鶴岡(押切)酒田線 ※鶴岡市、三川町に係る分</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H24</th> <th>H25</th> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>25,493 人</td> <td>11,545 人</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>1,922 千円</td> <td>1,554 千円</td> </tr> </table> <p>※平成26年度から国県補助路線へ統合のため市町負担なし。</p> <p>鶴岡(モール)清川線 ※鶴岡市、庄内町に係る分</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> <tr> <td>輸送人員</td> <td>6,563 人</td> <td>7,048 人</td> <td>6,443 人</td> <td>5,086 人</td> <td>3,679 人</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>7,751 千円</td> <td>9,499 千円</td> <td>10,562 千円</td> <td>12,900 千円</td> <td>9,847 千円</td> </tr> <tr> <td>国補助金</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> <td>0 千円</td> </tr> </table> <p>※国補助金:地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金</p>							項目	H24	H25	輸送人員	25,493 人	11,545 人	補助金	1,922 千円	1,554 千円	項目	H29	H30	R1	R2	R3	輸送人員	6,563 人	7,048 人	6,443 人	5,086 人	3,679 人	補助金	7,751 千円	9,499 千円	10,562 千円	12,900 千円	9,847 千円	国補助金	0 千円				
項目	H24	H25																																						
輸送人員	25,493 人	11,545 人																																						
補助金	1,922 千円	1,554 千円																																						
項目	H29	H30	R1	R2	R3																																			
輸送人員	6,563 人	7,048 人	6,443 人	5,086 人	3,679 人																																			
補助金	7,751 千円	9,499 千円	10,562 千円	12,900 千円	9,847 千円																																			
国補助金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円																																			
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共交通ネットワークの確保・維持</li> <li>・高齢者等の通院、買物や高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくり</li> <li>・利用者ニーズの把握によるダイヤ改正など、利便性向上の取組み</li> <li>・お得な割引定期券など利用促進のための情報発信</li> <li>・モビリティマネジメントによる公共交通に対する市民意識の醸成</li> <li>・地域、交通事業者、行政の協働による利用促進の取組み</li> <li>・コロナ禍での消毒や換気など、安全性のPR強化</li> </ul>																																							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	乗車密度 (鶴岡・清川線)	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目標																																				
		1.0(H28)	0.7	1.4(※H20 実績)																																				
4. 今後の方向性	<p>路線バスの利便性の向上と路線の確保維持のため、圏域での連携した取組みを強化する。特に、高齢者等の通院、買物や高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりとして、地域の利用実態やニーズを踏まえた経路の見直しやモビリティマネジメント、バス情報の分かりやすい提供策等について交通事業者と検討し実施する。</p> <p>また、国、県への補助制度拡充についての働きかけを継続して行う。</p>																																							
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>自治体から支援することにより、交通事業者の運行を継続し、市民の生活の足を確保することができた。</p> <p>しかしながら利用者数が年々減少しており、コロナ禍の影響も考慮しつつ、注視する必要がある。</p>																																							
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																	

(千円)	鶴岡市	4,953	6,070	6,749	7,773	5,613	6,446	32,651
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	2,798	3,429	3,813	5,127	4,234	4,446	21,049

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

土木課

対象分野名	道路等の交通インフラの整備							
具体的取組み項目名	道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上							
1. 実施状況及びその評価	<p>交通インフラの中でも、地域間ネットワークとして特に重要な「橋梁」については、「長期的な維持管理コスト縮減」と「予算の平準化」を目的とする「橋梁長寿命化修繕計画」が三市町全てにおいて策定済みとなっており、当該計画に基づき、「点検⇒診断⇒措置⇒記録」を順次繰り返していくことで、安全で円滑な交通の確保を図っている。</p> <p>橋梁長寿命化修繕計画による効果として、鶴岡市の場合には今後50年間の総事業費で約20%の縮減が見込まれるのと同様に、庄内町では約49%、三川町の計画では今後100年間で約29%の縮減効果が見込まれております。</p>							
2. 課題	<p>近接目視による点検診断の結果、早期に修繕が必要とされる橋梁が年々増加しており、補修費用の財源確保も然る事ながら、修繕か架け替えかを判断する場合には、新設以上に高い技術力と経験が必要な場合も多く、これに対応していく土木技術職員の育成も課題である。</p>							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目 標				
		86% (321橋/371橋) H29.3 現在	91% (763橋/838橋) R4.3現在	95% (796橋/838橋) R5.3予定				
4. 今後の方向性	<p>近接目視による橋梁点検が一巡したため、今後は長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁や重要な橋梁から順次補修を行う。</p>							
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>目標に対し遅延しているが、優先順位の高い橋梁から着実に修繕を実施しており、長寿命化に向けた維持管理を推進しているものと評価される。</p> <p>今後は目標達成に向けた財源の確保、土木技術者の育成が重要な課題となる。</p>							
6. 事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	381,884	336,667	377,803	507,296	336,143	477,569	2,035,478
	三川町	18,031	53,125	51,891	89,709	30,267	13,500	238,492
	庄内町	17,944	6,382	18,419	109,320	9,712	56,114	199,947

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

農山漁村振興課・建築課

対象分野名	地域の生産者・消費者等の連携による地産地消							
具体的取組み項目名	地域産材利活用の推進							
1. 実施状況及びその評価	<p>地域材住宅の普及啓発の促進を図るため、鶴岡田川地域における新築住宅を対象に、庄内森林ネット鶴岡・田川の会員が住宅設計木材の調達、住宅建築のいずれかに関する場合に、スギ1等材 120mm×120mm×3.00mの天然乾燥材50本プレゼントを実施してきた。平成21年度3棟、平成22年度5棟、平成23年度3棟、平成24年度3棟、平成25年度3棟、平成26年度3棟と6年間で1,000本、20棟の建築に関わってきたことは大きな成果といえる。</p> <p>また、鶴岡市内の住宅建設関連事業者で構成されたつるおか住宅活性化ネットワークでは、地域産木材で構造材 80%以上を使用し、地元職人によって建てられた住宅を「つるおか住宅」とし、平成23年度から25年度まで、年3棟1棟当たり100万円補助を実施してきた。(合計9棟)</p> <p>平成27年度からは、若者世帯で婚姻出産や子育て、市外からの移住者が「つるおか住宅」を新築した場合に30万円補助(移住世帯は40万円)を行っており、初年度は13件の新築補助を実施、平成28年度は16件、平成29年度は15件、平成30年度は18件、令和元年度は19件、令和2年度は21件、令和3年度は19件で、合計121件実施している。令和4年度は補助金額を20万円に減額するものの、募集件数を増加(20件→22件)し、加算項目についても移住世帯加算を15万円に増額した。</p> <p>本事業にて、「つるおか住宅」として、平成21年度から助成した住宅の地域産木材の使用量は、13年間で130戸の受注があったことから、立木約1,854本(約1,854m<sup>3</sup>)以上使用したこととなる。</p>							
2. 課題	<p>つるおか住宅活性化ネットワーク(鶴岡・田川地区にて目的に賛同する方も加入可能)で実施している若者世帯への新築支援事業については、鶴岡市限りとなっている。</p> <p>三川町、庄内町については、鶴岡市の実績による「地場産木材の良さ」について、新築される建て主にもその良さを感じてもらえるよう、引き続き、情報交換をしながら対応していく必要がある。</p>							
3. 重要業績評価指標(KPI)	地域産木材の利活用	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)			目標		
		215m <sup>3</sup> /年	300m <sup>3</sup> (R4.3.31)			250m <sup>3</sup> /年		
4. 今後の方向性	<p>それぞれの地域に住宅新築支援補助制度があり、実施しているが、地域産木材の利活用や地元技能技術者の育成からも「地域産型住宅」の普及促進のため、引き続き、お互いに情報交換を行いながら、より良い支援制度としていく。</p>							
5. 5年間の評価(H30～R4)	<p>市内の建築関係者や鶴岡産木材をはじめ、地域が有する人、物、自然、環境などの資源を活用した住宅建設を促進することにより、地域循環型の住宅関連産業の振興と、良好な住環境形成が図られ、併せて若者世帯の居住支援により人口減少対策、住宅産業活性化による雇用創出、森林資源活用も図られた。</p>							
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	5,000	6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

地域振興課

対象分野名	地域内外の住民との交流・移住促進							
具体的取組項目名	婚活対策の拡大							
1. 実施状況及びその 評価	<p>「つるおか婚活支援ネットワーク」の対象を庄内町、三川町を含めた圏域全体に拡大し、関係市町及び企業・団体等が連携しながら、圏域内の独身男女に出会いの場を提供するとともに、結婚に関するイベントやセミナー等の情報提供に努めた。そして、加盟団体が主催する婚活イベント等に対し補助金を交付するなどの支援を行った。また、鶴岡市が主催する婚活イベント「つるおか恋するデイキャンプ」では、男性参加者を庄内町、三川町を含めた圏域全体に拡大し、圏域内の人口流出対策として取り組んだ。</p> <p>より効果的な婚活対策としては、独身男女の出会いを創出すると同時に、若者における結婚・交際に対する意識の向上が求められており、関係市町が協力し地域の企業・団体等との連携を深め、社会全体で婚姻しやすい環境づくりに取り組む必要がある。</p> <p>昨年度圏域内での行政が主催する婚活イベント(交流会・研修会・相談会等) 17回(内訳:鶴岡市16回、県・庄内5市町連携1回)</p> <p>※参考 やまがたハッピーサポートセンターHPより</p>							
2. 課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・圏域における多様な出会いの創出</li> <li>・地域の企業や団体等との連携強化</li> <li>・「つるおか婚活支援ネットワーク」への登録促進</li> <li>・「つるおか世話焼き委員会」への婚シェルジュ及び結婚希望者の登録促進</li> <li>・婚活イベント及び結婚に関するポジティブイメージの発信強化</li> <li>・コミュニケーションスキルやライフデザインを学ぶ機会の創設</li> </ul>							
3. 重要業績評価指標 (KPI)	行政主催の婚活イベント等開催数	現状値(調査時点)	進捗状況(現時点)	目 標				
		10回	17回	15回				
4. 今後の方向性	<p>「つるおか婚活支援ネットワーク」を中心に、婚活イベントの情報提供や開催支援を行い、地域の企業や団体等との連携を一層図りながら、独身男女に出会いの機会を提供する。加えて、ボランティア仲人「つるおか婚シェルジュ」による世話焼き活動を通じ、個別の婚活支援にも積極的に取り組む。</p>							
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>圏域内の人口流出対策として「つるおか婚活支援ネットワーク」及び「つるおか世話焼き委員会」、各種婚活イベントの対象を庄内町、三川町へと拡大し、行政主催の婚活イベント等開催数としては、目標値を上回ることができた。</p>							
6. 事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	3,204	3,138	3,244	2,627	9,705	12,316	31,030
	三川町	185	185	185	19	15	215	619
	庄内町	1,241	922	572	1,154	948	1,779	5,375

## 第2次共生ビジョン取組及び実績整理調書

担当課名

職員課・政策企画課

対象分野名	圏域内市町の職員等の交流																																																																																																	
具体的取組項目名	圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成																																																																																																	
1. 実施状況及びその評価	<p>&lt;合同研修事業&gt;                  地域課題に対応していく能力を身につけることを目的に、市民協働・競争社会の構築に向けた「ファシリテーション」と「コーディネーション」のスキルとマインドを学ぶため、圏域市町で合同研修を実施した。</p> <p>(1)受講者……圏域の職員</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>全体</th> <th>鶴岡市</th> <th>三川町</th> <th>庄内町</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25年度</td> <td>24名</td> <td>17名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>平成26年度</td> <td>24名</td> <td>17名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>24名</td> <td>17名</td> <td>3名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>23名</td> <td>17名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>24名</td> <td>19名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>24名</td> <td>19名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>23名</td> <td>18名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td colspan="4">新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>30名</td> <td>25名</td> <td>2名</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16名</td> <td>11名</td> <td>3名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>212名</td> <td>160名</td> <td>22名</td> <td>30名</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2)テーマ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>テーマ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25～26年度</td> <td>地方における人口減少対策</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>庄内地域が抱える複合型課題</td> </tr> <tr> <td>平成28～令和元年度</td> <td>地域を取り巻く環境と課題の真因を踏まえた上で、各市町の事業として行っていないもの、又はそこまで手が回っていないものを選択</td> </tr> <tr> <td>令和2～4年度</td> <td>多様なメンバー間の対話を促進するための技法である「ファシリテーション」と、多様な主体間の連携・協働を推進する「コーディネーション」の理論とスキルを学ぶ</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3)日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成25～27年度</td> <td>4.0日</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>4.5日</td> <td>事務局対応0.5日×1回を含む5回</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>5.0日</td> <td>事務局対応0.5日×2回を含む6回</td> </tr> <tr> <td>平成30～令和元年度</td> <td>5.5日</td> <td>事務局対応1.0日+0.5日を含む6回</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>6.0日</td> <td>新型コロナウイルス感染症の影響により未実施</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>4.5日</td> <td>事務局対応0.5日を含む4回</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>4.5日</td> <td>事務局対応0.5日を含む4回</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4)進め方                  ファシリテーション及びコーディネーションへの理解とスキル習得を図り、模擬ワークショップ発表会の場で実践する。講師は東北公益文科大学地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会に協力を依頼する。</p> <p>(5)評価                  令和4年度は新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら実施できた。グループワークを中心に活動することで職員間の活発な交流が生まれ、相互啓発が図られている。</p>					全体	鶴岡市	三川町	庄内町	平成25年度	24名	17名	3名	4名	平成26年度	24名	17名	3名	4名	平成27年度	24名	17名	3名	4名	平成28年度	23名	17名	2名	4名	平成29年度	24名	19名	2名	3名	平成30年度	24名	19名	2名	3名	令和元年度	23名	18名	2名	3名	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施				令和3年度	30名	25名	2名	3名	令和4年度	16名	11名	3名	2名	合計	212名	160名	22名	30名		テーマ	平成25～26年度	地方における人口減少対策	平成27年度	庄内地域が抱える複合型課題	平成28～令和元年度	地域を取り巻く環境と課題の真因を踏まえた上で、各市町の事業として行っていないもの、又はそこまで手が回っていないものを選択	令和2～4年度	多様なメンバー間の対話を促進するための技法である「ファシリテーション」と、多様な主体間の連携・協働を推進する「コーディネーション」の理論とスキルを学ぶ		日数	備考	平成25～27年度	4.0日		平成28年度	4.5日	事務局対応0.5日×1回を含む5回	平成29年度	5.0日	事務局対応0.5日×2回を含む6回	平成30～令和元年度	5.5日	事務局対応1.0日+0.5日を含む6回	令和2年度	6.0日	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施	令和3年度	4.5日	事務局対応0.5日を含む4回	令和4年度	4.5日	事務局対応0.5日を含む4回
		全体	鶴岡市	三川町	庄内町																																																																																													
	平成25年度	24名	17名	3名	4名																																																																																													
	平成26年度	24名	17名	3名	4名																																																																																													
	平成27年度	24名	17名	3名	4名																																																																																													
	平成28年度	23名	17名	2名	4名																																																																																													
	平成29年度	24名	19名	2名	3名																																																																																													
	平成30年度	24名	19名	2名	3名																																																																																													
	令和元年度	23名	18名	2名	3名																																																																																													
	令和2年度	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施																																																																																																
令和3年度	30名	25名	2名	3名																																																																																														
令和4年度	16名	11名	3名	2名																																																																																														
合計	212名	160名	22名	30名																																																																																														
	テーマ																																																																																																	
平成25～26年度	地方における人口減少対策																																																																																																	
平成27年度	庄内地域が抱える複合型課題																																																																																																	
平成28～令和元年度	地域を取り巻く環境と課題の真因を踏まえた上で、各市町の事業として行っていないもの、又はそこまで手が回っていないものを選択																																																																																																	
令和2～4年度	多様なメンバー間の対話を促進するための技法である「ファシリテーション」と、多様な主体間の連携・協働を推進する「コーディネーション」の理論とスキルを学ぶ																																																																																																	
	日数	備考																																																																																																
平成25～27年度	4.0日																																																																																																	
平成28年度	4.5日	事務局対応0.5日×1回を含む5回																																																																																																
平成29年度	5.0日	事務局対応0.5日×2回を含む6回																																																																																																
平成30～令和元年度	5.5日	事務局対応1.0日+0.5日を含む6回																																																																																																
令和2年度	6.0日	新型コロナウイルス感染症の影響により未実施																																																																																																
令和3年度	4.5日	事務局対応0.5日を含む4回																																																																																																
令和4年度	4.5日	事務局対応0.5日を含む4回																																																																																																
2. 課題	長期間の研修参加に対する職場からの理解や、研修で学んだスキルを業務で積極的に実践できる仕掛けづくりが必要である。																																																																																																	
3. 重要業績評価指標(KPI)	延べ受講者数	現状値(調査時点) 119名 (H29年度未現在)	進捗状況(現時点) 212名	目標 240名 (R4年度未現在)																																																																																														
	外部人材専門家による研修等の実施	0回 (平成28年度)	0回	年1回																																																																																														

4. 今後の方向性	<p>学びを業務に生かしていくためにも、研修内容や運営面の改善をしながら、当該研修を継続していく。</p>						
5. 5年間の評価 (H30～R4)	<p>令和元年度まで政策立案研修、令和3年度からはファシリテーション・コーディネーション研修を実施し、地域課題やニーズに向き合う力や、地域との協働やコーディネートする意識づけが図れたとともに、班ごとのグループワークを中心として実施したことで、受講者間の活発な交流ができた。</p> <p>今後は、さらなる研修効果が発揮できるように、東北公益文科大学地域共創コーディネーター養成プログラム運営委員会からの指導、助言を受けながら、業務への活用や職場での波及性を期待したプログラム開発を検討する。あわせて、研修日程の短縮と受講者負担の軽減を図り、職員の積極的な参加を促す。</p> <p>外部人材の活用については、引き続き関係課と検討を行っていく。</p>						
6. 事業費見込 ＜合同研修事業＞ (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
鶴岡市	1,258	1,280	1,280	0	178	160	2,898
三川町	100	100	100	0	100	100	400
庄内町	100	100	100	0	100	100	400
7. 事業費見込 ＜外部人材活用事業＞ (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0
三川町	0	0	0	0	0	0	0
庄内町	0	0	0	0	0	0	0

# 庄内南部定住自立圏共生ビジョン (第 2 次)

平成 3 0 年	3 月	策定
平成 3 1 年	3 月	改定
令和 2 年	3 月	改定
令和 3 年	3 月	改定
令和 4 年	3 月	改定

(令和 4 年 1 1 月 時点修正)

鶴 岡 市

# 目 次

1 定住自立圏及び市町の名称	
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 圏域を形成する市町の名称	1
2 定住自立圏の将来像	
(1) 圏域の状況	1
(2) 圏域の将来像	4
(3) 圏域人口等の将来展望	4
(4) 市町の役割分担	5
3 定住自立圏共生ビジョンの期間	5
4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	
① 医療	6
② 福祉	10
③ 教育	15
④ 産業振興	16
⑤ その他	28
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
① 地域公共交通	29
② 道路等の交通インフラの整備	30
③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	31
④ 地域内外の住民との交流・移住促進	32
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	33
② 圏域内市町の職員等の交流	34
5 共生ビジョン事業一覧表	35

## 1 定住自立圏及び市町の名称

### (1) 定住自立圏の名称

庄内南部定住自立圏

### (2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称

鶴岡市、三川町、庄内町

## 2 定住自立圏の将来像

### (1) 圏域の状況

本圏域は、山形県庄内地方の中央から南部に位置しており、圏域の北部から中央部には広大な庄内平野が広がり、日本三大急流の最上川、最上川水系の立谷沢川、京田川、藤島川、赤川水系の赤川、大山川等の河川が貫流している。東部から南部にかけては、磐梯朝日国立公園に指定されている羽黒山、月山、湯殿山からなる出羽三山、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯である。西部は日本海に面して長い磯浜が形成されている。

圏域を構成する鶴岡市、三川町、庄内町は、寛文四年（1664年）に田川郡として一つの区域になるなど、昔から生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している。

圏域の人口は15万人であり、面積は1594平方キロメートルと山形県全体のそれぞれ14.1%、17.1%を占める。庄内空港、山形自動車道、日本海東北自動車道、羽越本線など、各高速交通網の整備が進んでいるが、一層の整備充実が望まれる。

近年は、こうした交通網の整備等により、圏域住民の交流は活発化しており、通勤・通学や買い物、医療・福祉など日常生活の結びつきはますます強まっている。その一方で、地方全体の傾向として少子高齢化を伴った人口減少が進んでおり、当圏域も例外でない状況にある。

今後は、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていく必要がある。

### 【構成市町の概況】

#### 鶴岡市

鶴岡市は、江戸初期に庄内藩14万石を領有した酒井家の城下町として発達し、本圏域における行政機能の中核を担い、文化の薫り高いまちを形成してきた。

現在は、平成17年10月の市町村合併を経て東北一広い行政面積を有し、四季折々の豊かな自然のなか、農林水産業を基幹とした産業を営み、鶴岡、藤島、羽黒、

櫛引、朝日、温海の各地域の多彩な特性を反映した様々な伝統文化や生活文化を築いている。

近年は、高速交通基盤の整備や高等教育機関の集積など、将来の発展に不可欠な基盤整備が進む一方、市域における安全安心な生活環境の整備、高等教育機関の活動と連携した産業振興や人材育成、広大な森林資源のもたらす恵み豊かな自然との共生の取組み、食をはじめ地域の歴史や文化を活かした活動などを力強く展開している。

鶴岡市は、庄内の中心的都市として、真の豊かさを求める新しい時代にふさわしい、人と暮らしと自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる地域の創造に努めている。

### 三川町

三川町は、庄内平野のほぼ中央、鶴岡市の北部に隣接する純農村地域にあって、永く稲作を中心とした農業に支えられ豊かな農村文化を育んできた。

現在は、農業を基幹産業にする一方、国道7号三川バイパスなどの国県道が縦横断し、庄内空港や高速道路インターチェンジに接する交通の要衝の地として、また、県総合支庁や消防学校、地方卸売市場や大規模商業施設など、行政や経済物流の機能が集積する町として、庄内圏域での役割を担っている。

豊かな田園風景と赤川・藤島川、大山川の三つの河川に象徴される三川町は、人と環境と産業が真に調和した元気あふれるまちづくりに努めている。

### 庄内町

庄内町は、旧余目町と旧立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要衝であり、今後は最上地域とを結ぶ高速交通網の整備も期待されている。

霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取組みを展開している。

現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉及び教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつづけたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。

## <庄内南部定住自立圏における将来推計人口等>

1 総人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(単位:人 下段は対前期比増減率)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	149,509	147,546	142,384	136,623	129,652	122,347	113,800	105,651	97,494	89,194
		-1.3%	-3.5%	-4.0%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.7%	-8.5%
三川町	8,188	7,879	8,003	7,731	7,728	7,601	7,168	6,745	6,321	5,869
		-3.8%	1.6%	-3.4%	0.0%	-1.6%	-5.7%	-5.9%	-6.3%	-7.2%
庄内町	26,251	25,489	24,677	23,158	21,666	20,151	18,560	17,049	15,588	14,121
		-2.9%	-3.2%	-6.2%	-6.4%	-7.0%	-7.9%	-8.1%	-8.6%	-9.4%
圏域合計	183,948	180,914	175,064	167,512	159,046	150,099	139,528	129,445	119,403	109,184
		-1.6%	-3.2%	-4.3%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.8%	-8.6%

2 年少・高齢人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(上段:年少人口割合/下段:高齢人口割合)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	16.8%	15.2%	13.8%	12.8%	11.8%	11.0%	10.5%	10.1%	9.6%	9.3%
	20.5%	23.7%	26.4%	28.7%	31.9%	35.1%	37.4%	39.2%	40.6%	43.1%
三川町	16.2%	14.9%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.1%	12.5%	12.0%	11.7%
	22.3%	25.9%	29.6%	30.7%	33.1%	35.0%	37.7%	38.4%	38.8%	40.1%
庄内町	16.2%	14.8%	13.8%	12.8%	11.6%	10.7%	10.1%	9.8%	9.4%	9.2%
	21.3%	25.1%	28.4%	30.6%	34.2%	37.6%	40.0%	41.8%	43.0%	44.5%
圏域合計	16.7%	15.1%	13.8%	12.8%	11.9%	11.1%	10.6%	10.2%	9.7%	9.4%
	20.7%	24.0%	26.9%	29.1%	32.2%	35.5%	37.8%	39.5%	40.9%	43.1%

3 圏域内の通勤通学者の動向 (単位:人、下段は通勤通学割合)

	鶴岡市へ	三川町へ	庄内町へ	通勤通学者の総数	圏域内の他市町へ
鶴岡市	52,339	1,625	773	59,720	4.0%
	87.6%	2.7%	1.3%		
三川町	1,587	1,017	147	3,410	50.9%
	46.5%	29.8%	4.3%		
庄内町	2,259	448	3,737	9,823	27.6%
	23.0%	4.6%	38.0%		

資料:1、2については令和2年国勢調査より算出(ただし、社人研推計ベースの令和7年以降は平成27年国勢調査の実績により推計)、3については平成27年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない

## (2) 圏域の将来像

我が国では、人口減少と少子高齢化が進行し、産業・経済のグローバル化、国民生活やニーズの多様化などが相まって、従来の社会構造に著しい変化が生じている。

特に、地方においては、依然として若年層を中心とした転出超過に歯止めがかからず、労働人口の減少、地域経済の停滞など、地域社会を取り巻く環境はさらに厳しさを増すとともに、地方自治体では、新しい時代の多様化する行政ニーズに応えるため、効率的な行財政運営のもと、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが求められている。

庄内南部地域の鶴岡市、三川町、庄内町は、昔から生活・経済・文化などを一にする圏域として密接な関係を有し、これまでも各般の行政推進において多様な連携・協力を図ってきた。しかし、圏域全体の人口減少、少子高齢化が進み、活力低下が懸念されるなかにおいては、今後も連携・協力を深め、必要な生活基盤を確保しつつ魅力ある地域づくりを進める必要がある。

本市は、三川町、庄内町とともに、平成25年3月に「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として、都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を活かした地域づくりと、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、圏域全体として定住環境の整備にこれからも努めていく。

今後とも、市民、地域、行政が互いに協働し、さらに3市町の連携・協力による総合的な力の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限に活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。

## (3) 圏域人口等の将来展望

前頁資料のとおり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、圏域の人口は今後も減少の一途をたどり、令和22年には11万人を下回るものと予測されている。また、同年には、圏域全体で、年少人口割合が10%を下回るなか、高齢人口割合は40%を超え、少子高齢化が著しく進行すると予測されている。

将来の人口減少や少子高齢化に備えながら、持続可能な圏域の形成を図るためには、自然動態と社会動態の両面に対する取組が必要不可欠となる。

このため、各市町においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組を着実に進めるとともに、圏域全体においては、以下の中長期的な指標を設定し、庄内南部定住自立圏形成協定に基づく子育て環境の充実や生活基盤の強化など、人口動態の改良等に向けた取組を推進するものとする。

なお、中長期の指標の設定にあたっては、国や県における目標、並びに構成市町の人口ビジョンを踏まえるものとする。

〈圏域全体における指標〉

項目	平成27年実数	令和2年実数	令和7年目標値	令和22年目標値
圏域人口	159,046人	150,099人	141,922人	127,154人
高齢化率	32.2%	35.5%	36.9%	38.3%
合計特殊出生率	鶴岡市 1.59 三川町 2.17 庄内町 1.36	鶴岡市 1.41 三川町 1.69 庄内町 1.22	鶴岡市 1.73 三川町 1.68 庄内町 1.80	2.07

(4) 市町の役割分担

**鶴岡市**

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

**連携する三川町・庄内町**

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

**3 定住自立圏共生ビジョンの期間**

平成30年度から令和4年度までの5年間とする。

ただし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

#### 4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

##### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

###### ① 医療

###### ア 医師等の確保対策の充実

圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院は、地域に根ざした急性期病院、また救急医療・高度医療の中核として、鶴岡地区医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し圏域全体の医療の充実に貢献しているが、医師不足の解消が課題であり、圏域で連携・協力して説明会や情報収集・発信等様々な確保対策を講じる。

###### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。

###### 具体的な連携事業

事業名	医師等の確保対策事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。 老朽化した荘内看護専門学校の整備を検討し、看護師の養成・確保に取り組む。							
期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	医学生への修学資金の貸与	→						
	オープンホスピタルの開催	→						
	病院説明会への参加	→						
	臨床実習医学生の受入れ	→						
	医師・医学生への働き掛け	→						
	医師公舎の管理運営委託	→						
	荘内看護専門学校の検討整備	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	35,000	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)				目標		
		70人 (平成29年度末)				75人		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組みを行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## イ 休日及び夜間における診療体制の充実

鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の住民が安心して利用できる初期救急医療施設として、適切な利用と利用者拡大のため、機能充実と普及啓発の取組みを行う。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の診療体制の充実を図るため、休日及び夜間における初期救急医療体制の確立を目的に甲が開設する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所(以下「休日夜間診療所等」という。)の機能の充実に努めるとともに、圏域内の住民の利用に関する普及啓発を図る。
甲(鶴岡市)の役割	休日夜間診療所等について、関係機関と連携・調整を行い円滑な運営を図るとともに、乙と協議しながら機能の充実に努める。 甲の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	休日及び夜間における診療体制の充実							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	関係市町及び医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日夜間診療所等の利用に関するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、普及啓発活動を行う。							
期待される効果	圏域全体として、利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	普及啓発活動の実施	—————▶						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	40	30	30	30	30	30	150
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		8,891 人 (平成 28 年度)			現状維持			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町及び医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。</li> <li>・各市町は共同して住民に対する普及啓発活動を行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ がん緩和ケアの充実

鶴岡市が設置する「緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川」を鶴岡市と三川町が継続して運営し、講座や講演会等の啓発活動や医療福祉関係者の研修等をとおり、2市町が連携してがん緩和ケアの普及啓発を推進する。

### 形成協定の内容

取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。
乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。							
期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	啓発事業(講座・出張講演会)	→						
	スキルアップ研修会の開催	→						
	医療と福祉の連携事業	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250
	三川町	600	600	600	600	600	600	3,000
重要業績評価 指標 (KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)			目 標			
		90 件 (平成 30 年度)			150 件			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

がんの早期発見・早期治療に有効な検診について、圏域の住民の生命を守り健康寿命の延伸を図るため、圏域で連携・協力して受診の啓発活動を行い、がん検診受診率の向上をめざす。

### 形成協定の内容

取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。
甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。

### 具体的な連携事業

事業名	がん検診受診向上対策啓発事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。							
事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーンを実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。							
期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	啓発事業(キャンペーン等)	→						
	職域の実態調査・受診勧奨	→						
事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	227	19	19	16	14	30	98
	三川町	29	19	19	16	14	30	98
	庄内町	44	10	10	8	7	15	50
重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標			
		平成28年度受診率 (子宮 20～69 歳) 30～50%台			現状値以上			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ② 福祉

### ア 病児・病後児保育施設の相互利用

圏域の各市町で実施している病児・病後児保育施設のサービスについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労を支援する。
甲(鶴岡市)の役割	甲において設置する病児・病後児保育施設を乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙において設置する病児・病後児保育施設を甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	病児・病後児保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	病児・病後児保育施設『カトレアキッズルーム』、『はなな』、『らっこルーム』、『にこっと』、『ほっと』が実施する病児・病後児保育について、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実を図る。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	→						
	運営体制の一部見直し・調整	→			→		→	
	事業の拡大・調整				→			
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	6,747	6,764	7,109	29,270	28,336	27,333	98,812
	三川町	10,940	15,532	15,897	15,897	15,640	16,513	79,479
	庄内町	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760
重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用 延人数		現状値(調査時点)			目標		
			201人 (平成29年度)			150人		
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国 1/3)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・各施設の運営経費に対する委託料及び補助金は施設の所在市町が負担する。</li> <li>・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## イ 一時保育施設の相互利用

圏域の認可保育所が実施している一時預かりについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の認可保育所が実施する一時預かりについて、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲の認可保育所が実施する一時預かりを乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の認可保育所が実施する一時預かりを甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	一時保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	各市町の認可保育所が実施する一時預かりについて、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目		H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
	事業実施		→					
	事業の拡大・調整				→			
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	22,125	23,869	27,058	31,191	35,647	45,253	163,018
	三川町	1,843	1,722	1,600	2,607	2,676	2,679	11,284
	庄内町	7,785	8,086	9,698	10,221	11,312	6,800	46,117
重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用 延人数		現状値(調査時点)			目 標		
			57人 (平成28年度)			80人		
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) ・一時預かり事業(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・各施設の運営経費に対する費用は施設の設置市町が負担する。</li> <li>・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用

圏域の各市町で実施している子育て支援センターの事業について、圏域の子育て環境の充実を図るため、各市町の住民が相互に利用できるようにする。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、甲が設置する鶴岡市子ども家庭支援センターについて、甲及び乙の住民を対象に、子育て支援や育児発達相談等を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市子ども家庭支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市子ども家庭支援センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市の子育て支援センターで実施する子育て支援事業や育児相談事業について、市以外の各町の住民も利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	—————▶						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	400	416	490	498	300	573	2,277
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数 (なかよし広場利用者数及びあそびの広場参加者数)	現状値(調査時点)			目 標			
		13,807 人 (平成 29 年度)			13,000 人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) (国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・講座等に係る開催経費及び活動広報経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## エ 介護認定審査事務の連携

鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施し、介護保険事業の効率的な運営を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	介護保険事業の効率的運営を図るため、甲が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象として実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、乙の住民の要介護認定審査事務を受託する。
乙(三川町)の役割	甲に乙の住民の要介護認定審査事務を委託する。

### 具体的な連携事業

事業名	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象とするよう、乙は甲に事務を委託する。							
期待される効果	効率的な要介護認定審査事務が行われる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	—————▶						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	15,502	13,793	15,954	11,058	14,428	18,000	73,233
	三川町	5,056	4,860	5,079	4,500	4,738	4,800	23,977
重要業績評価指標 (KPI)	委託事務の達成率	現状値(調査時点)			目 標			
		100%			100%			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## オ 老人福祉施設の広域利用

圏域内の福祉体制の安定と充実を図るとともに、利用者の生活環境を改善するため、養護老人ホームの整備に努める。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、社会福祉法人が設置する養護老人ホームの整備事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行うとともに、取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	養護老人ホーム整備事業						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する。						
期待される効果	新たな養護老人ホームの設置により、利用者の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
	養護老人ホーム整備	→			→		
事業費見込み (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	912,000			73,060		985,060
	三川町	2,632			1,993		4,625
	庄内町	7,379			5,585		12,964
重要業績評価指標 (KPI)	工事進捗状況	現状値(調査時点)			目 標		
		0% (R01.8月時点)			100% (R3年10月末)		
活用を想定する補助制度	県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金						
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡調整を行う。</li> <li>・整備支援に係る経費等については、各市町が応分の負担を行う。</li> </ul>						

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### ③ 教育

#### ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

鶴岡市が設置・運営する鶴岡市中央公民館女性センターについて、圏域内の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、2町に対して同センターの事業展開の拡大と住民の利用促進を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、甲が設置する鶴岡市中央公民館女性センターについて、甲及び乙の住民を対象に、事業を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市中央公民館女性センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	鶴岡市中央公民館女性センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する、就業を支援する講座や女性の企画力向上をめざす講座、その他各種講座等について、鶴岡市以外の各町住民が利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体において、女性の職業生活、家庭生活支援と女性の学習活動意欲を向上させることが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業範囲の拡大	→						
	事業の継続	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	1,500	1,169	1,169	982	792	1,327	5,439
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	2町の利用者割合	現状値(調査時点)				目 標		
		1.9% (H31年1月末)				5.0%		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

#### ④ 産業振興

##### ア 圏域の産業人材の育成

(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業に対し、圏域における産業の技術力向上と事業の高度化に資する人材を育成するため、各市町が連携して支援を行うとともに地元企業に対する情報提供等を行う。

##### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の産業人材の育成のため、(公財)庄内地域産業振興センター(以下「センター」という。)が実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資する人材育成事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。
甲(鶴岡市)の役割	地元企業や高等教育機関等の関係機関に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 センターの人材育成事業を乙と連携して支援するとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	地元企業等に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 甲と連携してセンターの人材育成事業を支援する。

##### 具体的な連携事業

事業名	産業人材育成支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する、地域産業の技術力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業の共同支援(運営費・受講費の一部補助)を行なう。							
期待される効果	事業へ共同支援することにより、安定した事業が遂行できる。 より多くの企業が参加することにより、企業間の交流及び圏域内の企業の活性化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	→						
	各事業所への周知・検討	→						
	事業負担	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	9,805	9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	受講者数	現状値(調査時点)			目標			
		268人			350人			
活用を想定する補助制度	-							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内産業振興センターの事業に係る経費(運営費・受講費の一部補助)等については、関係市町が応分の負担を行う。</li> <li>・各市町の負担については、企業の参加状況を踏まえ按分を検討する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## イ 雇用・就業支援対策の推進

鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームについて、鶴岡市と三川町が連携して支援し、同市町の住民が求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務等のサービスを適切に受けられるようにし、求職者の選択肢の確保、安定した生活への支援を行う。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の雇用・就業支援の充実のため、甲が設置する鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業について、甲及び乙の地域で実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡ワークサポートルームにおいて、甲と乙の住民に対して雇用・就業支援事業を実施する。
乙(三川町)の役割	乙の地域住民や事業所に対し、甲が実施する雇用・就業支援事業の適切な利用に関する普及啓発を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	内職相談事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	甲が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、在宅での仕事を希望する方のための内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務を行なう。							
期待される効果	より多くの内職求人・求職募集が見込めるとともに、求職者の選択肢が広がり、安定した生活への助成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	内職相談・求人開拓・あつ旋	—————▶						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	2,529	2,392	2,180	2,064	2,154	2,423	11,213
	三川町	138	138	128	122	127	144	659
重要業績評価 指標 (KPI)	幹旋件数	現状値(調査時点)				目 標		
		138 件				145 件		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	相談業務に係る経費(人件費・事務費)等については、各市町が応分の負担(人口割合等)を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進

庄内水田農業推進機構が行う農業者を対象とした生産技術や加工・販売等や消費者・企業等を含めた研修会、さらに鶴岡市が実施する水田農業体験などについて、圏域の水田農業の振興を図るため、市と2町が連携し、事業範囲を拡大して実施する。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の基幹産業である農業、特に水田農業を振興するため、JA、試験研究機関、山形大学農学部及び行政で構成する庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で推進し、支援する。
甲(鶴岡市)の役割	庄内水田農業推進機構の取組について、事務局として関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。 水田農業の推進に関する事業を拡大して実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	庄内水田農業推進機構支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	平成 11 年設立の庄内水田農業推進機構については、庄内南部の水田農業を推進するため、圏域の自治体で連携した取り組みを実施してきたが、全国的な高齢化や人口減少の進行など、水田農業を取り巻く環境の変化もあり、当初の目的を概ね達成したことから、平成 30 年度末をもって同機構を解散した。これまで機構が実施してきた水田農業の振興・発展を図るための関係機関・団体及び地域農業のリーダーや意欲の高い農業者を対象とした生産技術や加工・販売等に関するフォーラム・ワークショップと、広く住民・消費者や企業等との連携・交流を図るための研修会については鶴岡市が必要に応じてフォーラムやワークショップ等を開催するとともに、小学生を対象とした水田農業体験(わんぱく農業クラブ)については、山大農学部が主催して行う。							
期待される効果	庄内南部の関係者が連携し事業を拡充することで、水田農業の情報発信と担い手農家の生産技術・経営力の向上が図られる。 小学生・保護者の水田農業への理解関心を高めることができる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	ワークショップ・研修会の開催	→						
	わんぱく農業クラブの拡大実施	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	370	370	0	0	0	0	370
	三川町	21	21	0	0	0	0	21
	庄内町	63	63	0	0	0	0	63
重要業績評価指標 (KPI)	ワークショップ・研修会・わんぱく農業クラブ参加者	現状値 (調査時点)			目 標			
		300 名			350 名			
活用を想定する補助制度	-							

役割分担の 考え方	<ul style="list-style-type: none"><li>・鶴岡市がフォーラムやワークショップを開催する場合、各町は事業の告知や PR に協力する。</li><li>・山大農学部が実施する農業体験においては、管内小学校への事業の周知などに対し、市町は協力する。</li></ul> <p>事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</p>
--------------	---

## エ 育苗施設等農業施設の相互利用

圏域の産地化の拡大・強化を図るため、圏域自治体等が設置、又は指定管理などにより管理運営する花卉育苗施設などを圏域の住民・組織が利用できるようにし、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給等を促進する。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の産地化の拡大・強化を図るため、花卉育苗施設などの農業施設について、甲乙の協議の上、圏域全体で利用できるよう調整し利用拡大を図る。
甲(鶴岡市)の役割	農業施設の相互利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	農業施設の相互利用について甲と協議し、乙の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。

### 具体的な連携事業

事業名その1	庄内南部地域育苗施設利用拡大事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	庄内町、三川町に設置された花卉及び野菜育苗施設を広域で利用拡大することにより、高品質かつ低価格な苗の供給を促進する。							
期待される効果	庄内南部地域の花生産の拡大と関係農家の経営の安定化が促進される。新規生産者(特に、若者農業者)の花生産への円滑な参画が促進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	広域利用の調整	→						
	利用拡大策の実施		→	→	→	→	→	
事業費見込	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	515	502	542	914	819	900	3,677
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		43 人			50 人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・30年度から市町の利用状況に応じた負担とする。							

事業名その2	庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	<p>畜産農家が減少する中で、鶴岡市管内にある庄内広域育成牧場と大網放牧場及び庄内町放牧場について、庄内広域育成牧場を核とした施設連携や一体的利用の検討を進め、放牧事業の合理化・効率化を推進する。(なお、大網放牧場は平成27年に廃止している。)</p> <p>庄内町放牧場は、令和2年度から令和4年度まで社会福祉法人月山福祉会に指定管理されている。</p> <p>庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧している。</p>							
期待される効果	施設の統合と一体的利用による役割分担の明確化により、効率的な放牧事業の促進が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	利用調整の検討	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	5,252	5,644	5,678	5,062	5,081	5,118	26,583
	三川町	180	180	180	180	180	198	918
	庄内町	3,179	3,179	2,781	2,345	2,221	2,252	12,778
重要業績評価指標 (KPI)	現状値(調査時点)H28			目 標 H34				
	牛放牧頭数 (庄内南部/全体)	136 頭/179 頭			140 頭/200 頭			
	牛放牧戸数 (庄内南部/全体)	38 戸/51 戸			35 戸/50 戸			
	めん羊放牧頭数	65 頭			70 頭			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内広域育成牧場の整備については、設置場所である鶴岡市が支援を行う。</li> <li>・庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧する。</li> </ul> <p>庄内町放牧場の指定管理がR4年度までとなっており、その後の利用方法について検討する必要がある。</p>							

## オ 内水面漁業の振興対策の充実

内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組みに対し、内水面漁業の振興を図るため、圏域の各市町が継続して支援する。

### 形成協定の内容

取組の内容	内水面漁業の一層の振興を図るため、甲の区域に所在する内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組について、圏域で連携して支援し活動を推進する。
甲(鶴岡市)の役割	内水面漁業協同組合に対し、乙と連携して支援を行うとともに、支援の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、内水面漁業協同組合に対し支援を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	内水面漁業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	河川環境を検討し、種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視等による漁場環境の保全を行うため、内水面漁業協同組合へ補助金を交付し、振興支援に努める。							
期待される効果	魚族の増殖と漁場環境の整備により、圏域内外から多くの釣り客が訪れることで、河川流域の活性化が図られる。 子供の体験学習として種苗放流を実施することで、水産業や魚食、河川環境等についての関心が向上する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	—————▶						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235
重要業績評価指標 (KPI)	赤川の漁獲量	現状値(調査時点)				目 標		
		36,900 kg (平成 28 年度実績値)				42,900 kg (H25～H28 平均)		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・内水面漁業協同組合への補助は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## カ 観光推進団体等支援の充実

圏域の一層の観光振興のため、全国有数の花火大会である赤川花火大会と、全国有数の観光地であり山岳信仰の地である出羽三山地区の受入環境の整備について、鶴岡市と関係町が連携・協力し、推進団体への支援を継続強化する。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の観光による誘客を強化するため、観光推進団体等が行う事業に対し、甲乙の協議の上、連携して支援する。
甲(鶴岡市)の役割	観光推進団体の企画運営に必要なに応じて協力するとともに、その取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、観光推進団体の企画運営に協力する。

### 具体的な連携事業

事業名その1	赤川花火大会への支援							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	赤川花火大会への補助金支出							
期待される効果	赤川花火大会を支援することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	補助金の維持、拡充	—————→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	15,000	15,000	15,000	10,078	15,000	15,000	70,078
	三川町	300	300	300	202	300	300	1,402
重要業績評価指標 (KPI)	観客数	現状値(調査時点)			目 標			
		33万人 (平成29年度)			35万人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

事業名その2	出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	現地調査等観光開発事業、月山八合目・九合目・山頂の公衆トイレ管理事業、県道月山公園線交通混雑対策事業、月山八合目給水事業及び要望活動							
期待される効果	全国有数の観光地であり山岳信仰で有名な出羽三山地区の受入環境を整備することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目		H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
	負担金の拡充		—————▶					
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	2,600	2,600	2,600	2,600	2,720	2,720	13,240
	庄内町	200	200	200	200	205	205	1,010
重要業績評価指標 (KPI)	出羽三山への観光客数	現状値(調査時点)				目 標		
		85万8千人 (平成28年度末)				90万人		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## キ 圏域観光の魅力発信の連携強化

圏域の一層の観光振興のため、新たな観光資源の掘り起こしや、古くから育んできた伝統芸能の発信、観光推進団体等への支援などを各市町で連携・協力して行い、圏域の魅力発信の強化を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の一層の観光振興を図るため、新たな観光資源を掘り起こし広くPRするほか、古くから育んできた伝統芸能の発信を圏域全体で連携して行い、圏域の魅力発信を強化する。
甲(鶴岡市)の役割	観光資源の掘り起こしと魅力発信のため、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	インバウンド観光推進事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	訪日外国人観光客等の増加に対応し、庄内北部地域等の市町村とも連携して外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。							
期待される効果	当圏域への外国人観光客の増加							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業内容の調整							→
	事業実施							→
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721	
	三川町	0					0	
	庄内町	0					0	
重要業績評価指標 (KPI)	外国人延べ宿泊者数	現状値(調査時点)			目 標			
		10,435 人(H29年11月末)			40,000 人			
活用を想定する補助制度	東北観光復興対策交付金							
役割分担の考え方	・鶴岡市は、三川町、庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成

圏域の豊かな食文化資源と、大型ロケ施設やコミュニティ型映画館、映像制作人材などの映画資源を基盤に、地域文化情報の発信や創造的人材の育成、創造的文化産業の創出に取組み、食関連産業や観光の振興、商店街の活性化などにつなげる。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の交流人口の拡大、定住促進を図るため、庄内南部地域の豊かな食文化を活かした食文化創造の活動と映画・映像など地域の新たな資源の相乗効果により、特色ある地域文化の発信、創造的人材の育成等を進める。
甲(鶴岡市)の役割	食文化や映画の関係機関・団体との調整及び事業の企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び事業への協力を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	食文化発信事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信							
期待される効果	圏域内外での認知度の向上							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	アーカイブ化と情報発信	—————▶						
事業費見込み (千円)	H29	H30.	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	303	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043
	三川町	0						0
	庄内町	0						0
重要業績評価指標 (KPI)	圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数		現状値(調査時点)			目 標		
			254,570 人(H29)			278,300 人(R4)		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町がそれぞれの食文化を記録・保存し、圏域での効果的な情報発信など活用方法を検討する。</li> <li>鶴岡市は、事業に関する各町との連絡、調整を担当する。</li> </ul>							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

圏域内において間伐等の適正な森林施業を推進することで、豊かな森林環境を保全するとともに、豊富な森林資源を有効活用し林業を振興するため、木質バイオマスの利用促進と安定的な供給システムの構築を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の豊富な森林資源を活用した木質バイオマスの安定的な供給システムの構築と地域産材の利用促進により、林業の振興を図る。
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。
乙(庄内町)の役割	甲と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。

### 具体的な連携事業

事業名	木質バイオマス利用促進事業							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	出羽庄内森林組合等が実施する間伐事業や作業道開設を支援し、木質バイオマスの供給体制整備と搬出間伐の低コスト化を図る。 また、皆伐を促進するとともに再生林後の保育等に対する支援を行うことにより、資源の循環を図る。							
期待される効果	木質バイオマスの利用拡大により、森林の整備が促進され、林業の振興と森林のもつ多面的な機能が維持される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	間伐・皆伐促進	→						
	作業道整備	→						
事業費見込み	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
(千円)	鶴岡市	46,438	37,676	23,586	31,742	32,786	94,980	220,770
	庄内町	915	1,477	1,386	1,384	1,462	6,747	12,456
重要業績評価指標 (KPI)	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	現状値(調査時点)			目 標			
		15,400 トン/年 (平成 29 年度実績値)			33,000 トン/年 (目標発電量を賅える数量)			
活用を想定する補助制度	美しい森林づくり基盤整備事業補助金(国 1/2) 林道開設事業費補助金(国 1/2、県 15%)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。</li> <li>鶴岡市は鶴岡バイオマス協議会に参画し、安定供給体制の構築を図る。</li> <li>間伐、作業道・林業専用道整備等の事業支援経費は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ その他

ア 下水道事業の連携

地震等の自然災害が頻発するなか、圏域の各市町における汚水処理の連携及び下水道施設の横断的活用により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るとともに、災害時の汚水処理の確保に努める。

形成協定の内容

取組の内容	最上川下流流域下水道事業を基幹とした汚水処理の連携により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、圏域の下水道施設の横断的活用により、災害時の汚水処理を確保する。
甲(鶴岡市)の役割	圏域における下水道事業連携プランを乙の協力のもと策定し、乙と連携して効率的、効果的な下水道事業に取り組む。 県管理の流域下水道事業による広域処理の円滑な管理運営を維持確保するための連携を強化する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲の下水道事業連携プランに基づき、下水道事業の横断的整備促進を図るとともに、最上川下流流域下水道事業の適切な維持管理の確保のため圏域の連携の強化に努める。

具体的な連携事業

事業名	下水道事業連携プランの実施と汚水処理の連携								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	平成27年2月に完成した事業連携プランに基づき、関係市町と連携しながら、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、災害時の汚水処理確保に向けた対応策及び連携についてワーキング部会を開催し調査・検討を進める。								
期待される効果	圏域全体の公共用水域の水質保全と生活環境の向上が期待される。 災害時の汚水処理の迅速な対応が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4		
	事業連携プランの策定(随時ブラッシュアップ)	→							
	プランの実施	→							
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計		
	鶴岡市	0							
	三川町	0							
	庄内町	0							
重要業績評価指標 (KPI)	最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	現状値(調査時点)			目 標				
		91.1%(H29年度末)			91.6%(R4年度末)				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町の協力により事業連携プランを策定(ブラッシュアップ)し、事業の推進を図る。</li> <li>・最上川下流流域下水道事業促進協議会の運営は庄内町が事務局として連絡・調整を担当し、経費は県を含め各市町が負担する。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ① 地域公共交通

#### ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

圏域の公共交通ネットワークの維持強化のため、圏域内の行政関与バス運行体制の確保に努めるとともに、地域の利用実態やニーズを踏まえた経路の見直し等の検討や、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し住民の一層の利用促進を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市地域公共交通計画や山形県地域公共交通計画との整合を図りながら、乙及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に取り組む。

#### 具体的な連携事業

事業名	圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、特に、高齢者等の通院や買物、高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりと、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。							
期待される効果	圏域内公共交通ネットワークの利便性向上と、移動手段の確保維持が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	圏域内バス路線運行事業 (鶴岡・清川線、鶴岡・酒田線)	→						
	バス路線利用促進事業 (時刻・ルート・運賃見直し及び情報発信の強化)	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	4,953	6,070	6,749	7,773	5,613	6,446	32,651
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	2,798	3,429	3,813	5,127	4,234	4,446	21,049
重要業績評価指標 (KPI)	乗車密度 (鶴岡・清川線)	現状値(調査時点)				目 標		
		1.0(H28)				1.4(※H20実績)		
活用を想定する補助制度	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統) 県総合交付金							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市が企画・調整を担当し、各町の協力のもと実施する。</li> <li>・事業経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ② 道路等の交通インフラの整備

### ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

老朽化の進んでいる道路インフラについて、圏域の地域間ネットワークを恒久的に維持していくため、市町間を結ぶ橋梁など市町道全ての橋梁について健全度を把握し、予防保全的な補修・補強を計画的に進めることで、道路インフラ・交通ネットワークの維持向上を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙との境界部が河川となっている箇所に架かる市道橋梁について、乙との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲との境界部が河川となっている箇所に架かる町道橋梁について、甲との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	地域間ネットワークの維持向上に寄与する道路インフラの長寿命化対策							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	地域内の市町道に架かる橋梁の現状を把握し、計画的に補修補強を行うことにより、地域間道路ネットワークの維持向上を図る。							
期待される効果	いつでも安全・安心して通れる道路ネットワークが構築されることや、更新時期の平準化を図ることで、道路維持管理予算の平準化と世代間の負担差を最小限に抑える事が可能となる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	橋梁点検・診断	→	→	→	→	→	→	→
	橋梁長寿命化修繕計画見直し	→	→	→	→	→	→	→
	補修・補強工事の実施	→	→	→	→	→	→	→
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	211,900	336,667	377,803	507,296	336,143	477,569	2,035,478
	三川町	10,000	53,125	51,891	89,709	30,267	13,500	238,492
	庄内町	17,944	6,382	18,419	109,320	9,712	56,114	199,947
重要業績評価指標 (KPI)	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	現状値(調査時点)			目 標			
		86%(321橋/371橋) H29.3 現在			95%(792橋/834橋) R5.3 予定			
活用を想定する補助制度	防災・安全交付金(5.5/10) 起債(9/10)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・橋梁調査、計画策定、補修工事等については、関係市町それぞれが負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### ③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

#### ア 地域産材利活用の推進

圏域の林業再生及び関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し圏域全体で支援するとともに、各市町それぞれが地域産材を使った家づくりの普及促進に努める。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の林業及び地域住宅関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、甲及び乙が連携して支援し、地域産木材の利活用の推進に努める。
甲(鶴岡市)の役割	ネットワーク組織への支援を継続して行うとともに、圏域全体での支援について乙と協議し連携して行い、その充実に努める。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、乙の住民に対し、ネットワーク組織の活動に関する普及啓発活動を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	地域産材及び住宅関連産業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	森林所有者、製材業者、設計業者、住宅関連業者で組織するネットワーク組織(「つるおか住宅活性化ネットワーク」(鶴岡・田川地区にて目的に賛同する方も加入可能)が、地域産木材を使った家づくりを推進するのに際し、圏域全体で支援する。							
期待される効果	優良材の利用拡大を図ることによって、森林所有者へ利益を還元し、森林整備を促進する。 地域産材を使った家づくりを推進することにより圏域の住宅関連産業の振興を図る。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	展開拡大に向けた調整	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	5,000	6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標 (KPI)	地域産木材の利活用	現状値(調査時点)				目標		
		215m <sup>3</sup> /年				250m <sup>3</sup> /年		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は事務局事務を行うとともに、各町との連絡、調整を行う。</li> <li>・住民への情報提供、地域産材を使った家づくりの啓発等は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

#### ④ 地域内外の住民との交流・移住促進

##### ア 婚活対策の拡大

圏域の若者の成婚を促進し地域の活力向上を図るため、鶴岡市の行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、各市町が連携・協力してより広範囲で効果的な婚活対策を展開する。

##### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の若者の成婚を促進するため、甲が行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、より広範囲での効果的な婚活対策を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等もりようできるよう、乙と協議しその内容を拡大するとともに、取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、甲の行う婚活支援事業について乙の住民及び団体等に周知を図るとともに婚活支援事業を実施する。

##### 具体的な連携事業

事業名	婚活支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し、情報を共有するとともに、婚活支援事業補助金の対象を各町の企業及び団体等に拡大する。また各町はその周知に努め補助を行うとともに、自ら婚活事業を実施する。							
期待される効果	圏域全体での婚活事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、及び成婚率の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	制度の見直し検討	→						
	事業実施(範囲拡大)		→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	3,204	3,138	3,244	2,627	9,705	12,316	31,030
	三川町	185	185	185	19	15	215	619
	庄内町	1,241	922	572	1,154	948	1,779	5,375
重要業績評価指標 (KPI)	行政主催の婚活イベント等開催数	現状値(調査時点)			目 標			
		10 回			15 回			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市が事務局を担当し、各町と連絡、調整する。</li> <li>・各町の企業及び団体等への補助は各町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

#### ② 圏域内市町の職員等の交流

#### ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成

鶴岡市が実施している各種職員研修を基本に、研修の企画立案・運営を1市2町で行い、研修の質的充実と圏域の職員間の交流を図るとともに、外部より専門家を招聘し、課題解決能力、政策立案能力等の一層の向上を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の市町職員の課題解決能力、政策立案能力等を向上させ、圏域内のマネジメント能力を強化するため、圏域内外の専門家等を講師として招聘するなどし、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を実施するとともに、必要に応じ市町間での人的な交流を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行い、その調整を図る。 甲の職員等への周知、参加取りまとめを行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行う。 乙の職員等への周知、参加取りまとめを行う。

#### 外部人材の活用方針

活用する主な政策分野	市民生活、健康福祉、教育文化、農林水産、商工観光、社会基盤
活用期間	平成30年度から令和2年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	平成30年度以降の専門家の招聘に関する費用については、関係市町の負担割合は、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と鶴岡市が事前に協議して決定する。

#### 具体的な連携事業

事業名その1	合同研修事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で企画・開催し、職員の資質向上を図ると共に圏域内職員等の交流を推進する。								
期待される効果	職員の資質向上、圏域内職員等の交流・連携の推進等により、圏域マネジメント能力の強化が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4		
	運営組織・事業内容等の検討	→							
	合同研修の企画・開催	→							
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	1,258	1,280	1,280	0	178	160	2,898	
	三川町	100	100	100	0	100	100	400	
	庄内町	100	100	100	0	100	100	400	
重要業績評価指標 (KPI)	延べ受講者数	現状値(調査時点)				目標			
		119名(H29年度末現在)				240名(R4年度末現在)			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市、庄内町、三川町が合同で研修の企画・運営を行う。</li> <li>鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。</li> </ul>								

事業名その2	外部人材活用事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、指導・助言を受けながら地域の振興及び産業の活性化に関する研修を実施する。								
期待される効果	職員の課題解決能力、政策立案能力の向上が図られるとともに、圏域内の振興と産業の活性化が推進される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4		
	研修等の実施		—————▶						
事業費見込み (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	3,000	0	0	0	0	0	0	
	三川町								
	庄内町								
重要業績評価指標 (KPI)	外部人材専門家による研修等の実施	現状値(調査時点)				目 標			
		0回 (平成 28 年度)				年1回			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。								

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

5 共生ビジョン事業一覧表

1 生活機能の強化に係る政策分野

(1)医療

ア 医師等の確保対策の充実

H30	R1	R2	R3	R4	計
33,328	35,628	42,620	35,036	116,301	262,913

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)					活用を想定する 補助制度等	備考	
				H30	R1	R2	R3	R4			計
鶴岡市	1-①-ア	医師の確保 対策事業	荘内病院の医師等の確保に 向けた取組みを協力して実施 する。	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267		
三川町	1-①-ア	同上	同上								
庄内町	1-①-ア	同上	同上								
計				29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267		

イ 休日及び夜間における診療体制の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)					活用を想定する 補助制度等	備考	
				H30	R1	R2	R3	R4			計
鶴岡市	1-①-イ	休日及び夜 間における診 療体制の充 実	圏域の初期救急医療施設とし て、機能充実と普及啓発を連 携して行う。	30	30	30	30	30	150		
三川町	1-①-イ	同上	同上								
庄内町	1-①-イ	同上	同上								
計				30	30	30	30	30	150		

## ウ がん緩和ケアの充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-①-ウ	南庄内がん 緩和ケアの充 実	「緩和ケアサポートセンター鶴 岡・三川」への支援を通しがん 緩和ケアの普及啓発を推進す る。	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250		
三川町	1-①-ウ	同上	同上	600	600	600	600	600	3,000		
計				4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	21,250		

## エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-①-エ	がん検診受 診向上対策 啓発	圏域で連携して受診の啓発活 動や職域への働きかけを行 う。	19	19	16	14	30	98		
三川町	1-①-エ	同上	同上	19	19	16	14	30	98		
庄内町	1-①-エ	同上	同上	10	10	8	7	15	50		
計				48	48	40	35	75	246		

(2)福祉

H30	R1	R2	R3	R4	計
1,009,605	95,437	105,583	188,440	111,579	1,510,644

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-ア	病児・病後児 保育事業の 相互利用	各市町の病児・病後児保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	6,764	7,109	29,270	28,336	27,333	98,812	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-ア	同上	同上	15,532	15,897	15,897	15,640	16,513	79,479	同上	
庄内町	1-②-ア	同上	同上	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760	同上	
計				34,848	35,558	57,719	56,528	56,398	241,051		

イ 一時保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-イ	一時保育施 設の相互利 用	各市町の一時保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	23,869	27,058	20,956	20,956	20,956	113,795	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-イ	同上	同上	1,722	1,600	1,600	1,600	1,600	8,122	同上	
庄内町	1-②-イ	同上	同上	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540	同上	
計				33,677	38,356	31,808	31,808	31,808	167,457		

ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-ウ	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充	市子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等を圏域全体で利用できるようにする。	416	490	498	300	573	2,277	子ども・子育て支援交付金(国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ウ	同上	同上								
庄内町	1-②-ウ	同上	同上								
計				416	490	498	300	573	2,277		

エ 介護認定審査事務の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-エ	要介護認定審査事務	鶴岡市介護認定審査会において、三川町の要介護認定審査事務を受託する。	13,793	15,954	11,058	14,428	18,000	73,233		
三川町	1-②-エ	同上	同上	4,860	5,079	4,500	4,738	4,800	23,977		
計				18,653	21,033	15,558	19,166	22,800	97,210		

オ 老人福祉施設の広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-オ	養護老人ホーム整備事業	社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する	912,000	0	0	73,060	0	985,060	県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金	H29 繰越明許費でH30に事業実施 R2 繰越明許でR3に事業完了
三川町	1-②-オ	同上	同上	2,632	0	0	1,993	0	4,625		
庄内町	1-②-オ	同上	同上	7,379	0	0	5,585	0	12,964		
計				922,011	0	0	80,638	0	1,002,649		

(3)教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

H30	R1	R2	R3	R4	計
1,169	1,169	982	792	1,327	5,439

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-③-ア	鶴岡市中央 公民館女性 センターの機 能拡充	女性センターで実施する資格 取得準備講座や女性講座、相 談等を圏域全体で利用できる ようにする。	1,169	1,169	982	792	1,327	5,439		
三川町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				1,169	1,169	982	792	1,327	5,439		

(4)産業振興

H30	R1	R2	R3	R4	計
110,833	84,718	83,402	83,654	148,947	511,554

ア 圏域の産業人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ア	産業人材育成支援	(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業を連携して支援する。	9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384		
三川町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384		

イ 雇用・就業支援対策の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-イ	雇用・就業支援(内職相談)	鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業を連携して支援する。	2,392	2,180	2,064	2,154	2,423	11,213		
三川町	1-④-イ	同上	同上	138	128	122	127	144	659		
計				2,530	2,308	2,186	2,281	2,567	11,872		

ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ウ	庄内水田農業推進機構支援	庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で支援する。	370	0	0	0	0	370		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	21	0	0	0	0	21		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	63	0	0	0	0	63		
計				454	0	0	0	0	454		

エ 育苗施設等農業施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-エ	庄内南部地域育苗施設等利用拡大	育苗施設などの農業施設を圏域全体で利用できるようにする。	502	542	914	819	900	3,677		
三川町	1-④-エ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-エ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				502	542	914	819	900	3,677		
鶴岡市	1-④-エ	放牧場の合理化	放牧場の施設統合と一体的な利用を進め、効率的な放牧事業を推進する。	5,644	5,678	5,062	5,081	5,118	26,583		
三川町	1-④-エ	同上	同上	180	180	180	180	198	918		
庄内町	1-④-エ	同上	同上	3,179	2,781	2,345	2,221	2,252	12,778		
計				9,003	8,639	7,587	7,482	7,568	40,279		
合計				9,505	9,181	8,501	8,301	8,468	43,956		

オ 内水面漁業の振興対策の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-オ	内水面漁業 振興	内水面漁業協同組合が行う取 組みに対し圏域全体で支援す る。	380	380	380	380	380	1,900		
三川町	1-④-オ	同上	同上	48	48	48	48	48	240		
庄内町	1-④-オ	同上	同上	47	47	47	47	47	235		
計				475	475	475	475	475	2,375		

カ 観光推進団体等支援の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-カ	赤川花火大 会への支援	赤川花火大会実行委員会に 対し圏域の市町が連携して支 援する。	15,000	15,000	10,078	15,000	15,000	70,078		
三川町	1-④-カ	同上	同上	300	300	202	300	300	1,402		
計				15,300	15,300	10,280	15,300	15,300	71,480		
鶴岡市	1-④-カ	出羽三山地 区観光開発 への支援	出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会に対し圏域の市町 が連携して支援する。	2,600	2,600	2,600	2,720	2,720	13,240		
庄内町	1-④-カ	同上	同上	200	200	200	205	205	1,010		
計				2,800	2,800	2,800	2,925	2,925	14,250		
合計				18,100	18,100	13,080	18,225	18,225	85,730		

キ 圏域観光の魅力発信の連携強化

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-キ	インバウンド 観光推進	外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。	30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721	東北観光復興 対策交付金	
三川町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721		

ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ク	食文化発信 事業	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043	○化芸術創造拠点 形成事業補助金 ○地方創生推進交 付金	
三川町	1-④-ク	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ク	同上		0	0	0	0	0	0		
計				700	472	2,824	3,044	1,003	8,043		

ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ケ	木質バイオマス利用促進事業	木質バイオマス発電所の整備推進と、木質バイオマスの供給体制整備を連携して行う。	37,676	23,586	31,742	32,786	94,980	220,770	美しい森づくり基盤整備事業補助金(県)	
庄内町	1-④-ケ	同上	同上	1,477	1,386	1,384	1,462	6,747	12,456	同上	
計				39,153	24,972	33,126	34,248	101,727	233,226		

(5)その他

H30	R1	R2	R3	R4	計
0	0	0	0	0	0

ア 下水道事業の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-⑤-ア	下水道事業連携プランの策定と汚水処理の連携	事業連携プランを策定し実施するとともに災害時等の汚水処理を連携して行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### (1) 地域公共交通

#### ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

H30	R1	R2	R3	R4	計
9,499	10,562	12,900	9,847	10,892	53,700

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-①-ア	圏域内バス路線の確保維持と利用促進	既存バス路線の確保維持への支援と情報提供の向上による利用促進を連携して行う。	6,070	6,749	7,773	5,613	6,446	32,651	地域公共交通確保維持事業 山形県総合交付金	
三川町	2-①-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0	同上	
庄内町	2-①-ア	同上	同上	3,429	3,813	5,127	4,234	4,446	21,049	同上	
計				9,499	10,562	12,900	9,847	10,892	53,700		

### (2) 道路等の交通インフラの整備

#### ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

H30	R1	R2	R3	R4	計
396,174	448,113	706,325	376,122	547,183	2,473,917

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-②-ア	橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強	市町道に架かる橋梁の現状把握、修繕計画に基づく補修・補強を連携して行い、長寿命化を進める。	336,667	377,803	507,296	336,143	477,569	2,035,478	防災安全交付金 地方債	
三川町	2-②-ア	同上	同上	53,125	51,891	89,709	30,267	13,500	238,492	同上	
庄内町	2-②-ア	同上	同上	6,382	18,419	109,320	9,712	56,114	199,947	同上	
計				396,174	448,113	706,325	376,122	547,183	2,473,917		

(3)地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

ア 地域産材利活用の推進

H30	R1	R2	R3	R4	計
6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-③-ア	地域産材及び住宅関連産業振興	地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し連携して支援を行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050		
三川町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050		

(4)地域内外の住民との交流・移住促進

ア 婚活対策の拡大

H30	R1	R2	R3	R4	計
4,245	4,001	3,800	10,668	14,310	37,024

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-④-ア	婚活支援	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し各市町が婚活事業を実施する。	3,138	3,244	2,627	9,705	12,316	31,030		
三川町	2-④-ア	同上	同上	185	185	19	15	215	619		
庄内町	2-④-ア	同上	同上	922	572	1,154	948	1,779	5,375		
計				4,245	4,001	3,800	10,668	14,310	37,024		

### 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等  
職員の人材育成

H30	R1	R2	R3	R4	計
1,480	1,480	0	378	160	2,898

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	3-①②-ア	合同研修・交流	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修及び外部人材の活用を連携して行う。	1,280	1,280	0	178	160	2,898		
三川町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	0	100	100	400		
庄内町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	0	100	100	400		
計				1,480	1,480	0	378	360	3,698		
鶴岡市	3-①②-ア	外部人材活用	圏域外から専門家を招へいし、地域振興・産業の活性化に資する研修を行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	3-①②-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	3-①②-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		
合計				1,480	1,480	0	378	360	3,698		

## 第2次共生ビジョンKPIの達成状況調査票

資料4

評価	A	B	C
合計	8	6	15 <small>(内、コロナの影響があるもの 9)</small>

A：目標としていたKPI（成果指標）を達成できた。（効果が十分に得られた。）  
 B：目標としていたKPI（成果指標）を達成できなかったものの、現状値（調査時点）を上回った。（一定の効果が得られた。）  
 C：現状値（調査時点）と同じ又は下回った。

※現状値（調査時点）とは、第2次共生ビジョン策定時の初期値

1 事業名	2 担当課	3 KPI	4 第2次共生ビジョン				9 達成状況がCとなった理由	10 コロナによる影響	11 第3次共生ビジョン 目標	12 第3次共生ビジョンで目標を下方修正した理由	13 第3次共生ビジョンで目標を達成するための具体的方針
			現状値（調査時点）	進捗状況（現時点）	目標	達成状況					
1 医師等の確保対策事業	荘内病院総務課	荘内病院医師数	70人	72人	75人	B			75人		1年に1人の増を目標として、管理者や院長等による医局への派遣の働きかけなどの取り組みにより、医師確保をすすめる。
2 休日及び夜間における診療体制の充実	健康課	利用者数	8,891人	1,226人	現状維持	C	インフルエンザの流行を踏まえた数値であったが、新型コロナウイルスによる影響とインフル流行が無かった為、診療人数が激減した。	有	現状維持		コロナもインフルも対応できる体制を構築することで、感染対策の影響から以前より患者数の受け入れ人数を制限せざるを得ない状況。
3 南庄内がん緩和ケアの拡充	荘内病院地域医療連携室	PCT相談依頼件数	90件	149件	150件	B			150件		早期から緩和ケアを取り入れることにより、少しでも患者さんとご家族の苦痛を取り除き、希望を叶えられるようにするため、患者さんに関わっている主治医をはじめとした医療従事者と緩和ケアチームが協力しながら支援してゆく体制の充実を図る。
4 がん検診受診向上対策啓発事業	健康課	各がん検診受診率	20～69歳子宮がん 30～50%台	胃がん 31.3% 大腸がん 40.8% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%	現状値以上	B			現状値以上		市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成や大型店舗でのがん検診受診啓発キャンペーン等を実施することにより、がん検診受診率の向上を目指す。
5 病児・病後児保育施設の相互利用事業	子育て推進課	3市町相互利用延人数	201人	38人	150人	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、受入れ施設が休園となるなど、利用できない期間があったこと、感染防止の観点から利用控えもあったものと考えられる。	有	150人		広く圏内の住民へ制度の周知を図るとともに、より円滑な相互利用に向けて、運営方法等の検討を行う。
6 一時保育施設の相互利用事業	子育て推進課	3市町相互利用延人数	57人	16人	80人	C	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、受入れ施設が休園となるなど、利用できない期間があったことに加え、本事業は保育園等に入所していない方が利用するため、入所率が高くなっている状況から、全体的な利用対象者が減少しているためと考えられる。	有	80人		広く圏内の住民へ周知していく。
7 鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充事業	子育て推進課	施設利用者数	13,807人	6,507人	13,000人	C	少子化傾向及び低年齢からの保育所等の利用に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限や利用控えがあったため。また、三川町、庄内町に新たな子育て支援拠点施設が整備されたことも影響したと推察される。	有	10,000人 (相互利用人数)		令和2年度に三川町、庄内町に子育て支援拠点施設が整備されたことから、各市町の施設の相互利用に方向転換する。
8 鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務	長寿介護課	委託事務の達成率	100%	100%	100%	A			100%		連携して現状維持を継続する
9 養護老人ホーム整備事業	長寿介護課	工事進捗状況	0%	100%	100%	A			100名 (入所定員数)		連携して現状維持を継続する
10 鶴岡市中央公民館女性センターの機能拡充事業	中央公民館女性センター	2町の利用者割合	1.9%	6.1%	5.0%	A			10.00%		2町に対して情報提供及びチラシ配布を行うほか、ホームページやSNSなどを活用した周知方法を検討する。
11 産業人材育成支援事業	商工課	受講者数	268人	270人	350人	B			350人		アンケート等により企業・受講者のニーズを捉え、講座の内容をブラッシュアップしながら、より多くの方に参加してもらえよう周知を図る。
12 内職相談事業	商工課	斡旋件数	138件	45件	145件	C	・新型コロナウイルスの影響に加えて、物価高騰や原油高の影響が続いていること。 ・新型コロナウイルスの影響で来所者数（相談者数）が減少したこと。 ・内職に対する意識の変化。相談者について、特段の配慮が必要な対象者、ケースが増加し、斡旋に繋がりにくい状態になっている。	有	60件	以下の理由 (雇用環境の変化) ・定年延長などの雇用条件の変化、これまで利用の多かった女性を中心に育児・産休の取得などが容易になるなどの働き方改革、在宅ワークなどの働き方の多様化のため。 (相談者の変化) ・相談者がひきこもりや精神障害等特段の配慮を必要とするケースが増加し、斡旋に繋がりにくく、企業からの求人に対し適した求職者を紹介しにくい状況にあるため	・企業訪問を積極的に行い、募集を確保する。 ・特に時間を要する相談者への対策について、関係機関と協議・連携し、斡旋数の増加につなげる。
13 庄内水田農業推進機構支援事業	農政課	ワークショップ等参加者	300名		350名						

1	2	3	5				7	9	10	11	12	13							
			事業名	担当課	KPI	第2次共生ビジョン							達成状況がCとなった理由	コロナによる影響	第3次共生ビジョン 目標	第3次共生ビジョンで目標を下方修正した理由	第3次共生ビジョンで目標を達成するための具体的方針		
						現状値(現時点)												進捗状況(現時点)	目標
14	庄内南部地域育苗施設利用拡大事業	農政課	施設利用者数	43人	41人	50人	C	花き栽培農家の高齢化や施設の老朽化により作付面積が減少しているため	無	50人		機械導入による省力化と施設の長寿命化を推進するとともに、育苗施設を利用する市内の花き栽培農家への差額補助を継続し、作付面積の維持拡大を図る。							
15	庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業	農政課	牛放牧頭数 (庄内南部/ 全体)	136頭/179頭	133頭/176頭	140頭/200頭	C	これまで預託していた農家が自前で繁殖も行う一貫経営に変わったことで、預託する農家数が減少したことによる。 また、これまで牧場に預託があった月山福祉会が庄内町牧場を運営することで、20頭以上の預託需要が無くなったことも大きく響いている。	無	140頭/200頭		放牧の飼料代の負担軽減による経済的なメリットと、肥育効果や繁殖効率の向上などの健康面でのメリットについて、農家への周知を行い育成牛の受入れを増やす。飼料価格が高騰している情勢を受け、牧区整備による良質な草地の更新を行い、放牧の経済的なメリットを高める。							
16		農政課	牛放牧戸数 (庄内南部/ 全体)	38戸/51戸	28戸/40戸	35戸/50戸	C	これまで預託していた農家が自前で繁殖も行う一貫経営に変わったことで、預託する農家数が減少したことによる。 地理的な要因から遠方(特に庄内北部)の農家からの預託が増えないため。	無	35戸/50戸		放牧の飼料代の負担軽減による経済的なメリットと、肥育効果や繁殖効率の向上などの健康面でのメリットについて、農家への周知を行い育成牛の受入れを増やす。飼料価格が高騰している情勢を受け、牧区整備による良質な草地の更新を行い、放牧の経済的なメリットを高める。							
17		農政課	めん羊放牧頭数	65頭	76頭	70頭	A				70頭		放牧することでの労務負担の軽減や飼料代の低減などのメリットを農家に周知することで放牧頭数の維持を図る。						
18	内水面漁業振興事業	農山漁村振興課	赤川の漁獲量	36,900kg	24,250kg	42,900kg	C	資源増殖に資する稚魚放流や内水面団体への補助金交付を継続しているが、社会情勢の変化による遊漁者の減少や組合員の高齢化により、従前の取組みでは達成が困難な状況となっている。	無	42,900kg		現在、県と協調して進めている資源増殖事業の強化をはじめ、遊漁者増加につながる新たな環境整備や仕組みづくり等を支援する。							
19	赤川花火大会への支援	観光物産課	観客数	33万人	35万人	35万人	A				35万人		安心安全な大会運営及び観光誘客の推進を目指し、実行委員会と連携しながら開催に向けた支援を行う。						
20	出羽三山地区観光開発促進期同盟会負担金	観光物産課	出羽三山への観光客数	85万8千人	64万8千人	90万人	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響による移動制限があったため	有	90万人			関係機関や団体等と連携し、国内外に向けた観光PRを図り、誘客を促進する。						
21	インバウンド観光推進事業	観光物産課	外国人延べ宿泊者数	10,435人	889人	40,000人	C	感染症拡大による渡航制限があったため	有	40,000人			渡航制限解除後、国内外で旅行商談会等に参加し、誘客を強化する。						
22	食文化発信事業	食文化創造都市推進課	圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	254,570人	247,627人	278,300人	C	新型コロナウイルスの影響が大きい。令和3年度は前年度より改善しているものの、目標値には届いていない。	有	278,300人			伝統的な食文化や郷土料理等のアーカイブの活用による情報発信強化を図る。 また、映像による情報発信を推進することで、創造的な人材育成を図っていく。						
23	木質バイオマス利用促進事業	農山漁村振興課	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	15,400トン/年	6,876トン/年	33,000トン/年	C	近年、間伐事業が国県補助の予算縮小の影響により減少となっており、木質バイオマス発電の原材料となる低湿材の生産が減少となったためと考えられる。	無	20,000トン/年		最近の地域内木質バイオマス供給量の実績を考慮し、実現可能な目標設定にするため、令和2年度実績値の2倍程度に設定する。	関係事業量を増加に転じるため、令和3年度より間伐事業に対する補助金の嵩上げ事業を創設し、支援を拡充している。						
24	下水道事業連携プランの実施と汚水処理の連携	下水道課	最上川下流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	91.1%	92.8%	91.6%	A				93.5%		接続率の向上に向け、構成市町が引き続き相互連携して普及啓発事業を展開するとともに、未接続世帯の実情に即した効果的な接続勧奨を推進する。						
25	圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築	地域振興課	乗車密度	1.0	0.7	1.4	C	運行地域の人口減少及びコロナ禍により、集団での移動が敬遠されたため。	有	1.0		減少した利用者の回復に努めることを重要と判断したため。	ゴールドバスの割引制度の周知や清川線へ乗り継ぐデマンドや町営バスの時刻表の検討を行うと共に、利用者が少ない地域での需要の掘り起こしに務める。						
26	地域間ネットワークの維持向上に寄与する道路インフラの長寿命化対策	土木課	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	86%	91%	95%	B				98%		長寿命化修繕計画に基づき、健全度の低い橋梁や重要な橋梁から順次補修を行う。						
27	地域産材及び住宅関連産業振興事業	農山漁村振興課・建築課	地域産材材の利活用	215㎡/年	300㎡/年	250㎡/年	A				320㎡/年		地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、圏域全体で支援するとともに、各市町でそれぞれが地域産材を使った家づくりの普及推進に努める。						
28	婚活支援事業	地域振興課	行政主催の婚活イベント等開催数	10回	17回	15回	A				17回		三川町・庄内町も周知や企画に参加していただきながら結婚を希望する男女の出会いの機会を創出する。						
29	合同研修事業	職員課	延べ受講者数	119名	212名	240名	B				312名		1市2町担当課が定期的な意見交換を行い、外部研修機関等から指導助言を受けながら、より業務での活用や職場への波及効果が期待でき、域内職員が一層交流を図れるような企画を開発していくとともに、研修に参加しやすいような研修日程や受講対象の範囲等を検討していく。						
30	外部人材活用事業	政策企画課	外部人材専門家による研修等の実施	0回	0回	1回	C	毎年関係課へ外部人材の活用に係る照会を行っているが、未だ活用には至っていない。活用に係る財政的措置が3年間の限定であることも一因となっている。	無	1回			引き続き、情報収集を行い関係課と連携し実施の検討を行っていく。						

## 庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次）からの主な変更点について

1. 連携項目数 24項目・27事業（前年度25項目・28事業）

### 2. 主な変更内容

#### （1）前文の修正

- ①令和2年国勢調査実績の数値を反映【P3】
- ②圏域全体における目標値を更新【P5】
- ③新型コロナウイルス感染症対策について記載【P5】

#### （2）協定の変更 3協定

- ①鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用（協定名及び内容の変更）【P12】

三川町、庄内町にも子育て支援センターが整備されたことから、「鶴岡市子ども家庭支援センター」の広域利用から「子育て支援センター」の「相互利用」に変更
- ②老人福祉施設の広域利用（内容の変更）【P14】

養護老人ホームの整備事業が完了したことから、協定内容を「養護老人ホームの整備事業の支援」から「養護老人ホームの措置入所」に変更
- ③食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成（協定名及び内容の変更）【P24】

協定名及び協定内容の映画部分について削除

協定締結時（H24年度）は大型ロケ施設や映画制作人材などの映画資源を活用した連携事業も想定していたが、現状は食文化に係る映像等の情報発信の事業に特化した取組を行っており、映画資源の活用に特化した連携事業については、協定締結時からの時代の変遷や社会環境の変化により、今後も見込まないため。

ただし、食文化の情報発信としての「食の映画祭」や「映像制作人材の育成」については引き続き行う。

#### （3）協定の削除 1協定

- ①水田農業の研究・研修活動等の促進

「庄内水田農業推進機構」が行う事業を支援するものであるが全国的な高齢化や人口減少の進行など、水田農業を取り巻く環境の変化もあり、当初の目的を概ね達成したことから、H30年度末に同機構が解散したため削除する。

なお、これまで機構が実施してきた小学生を対象とした水田農業体験事業（わんぱく農業クラブ）については、山大農学部が事業を主催し、継続して実施している。

#### (4) その他

##### 事業内容の修正及び KPI の見直し等

##### 主なもの

###### ①医師等の確保対策事業【P6】

事業内容及び実施スケジュールに荘内看護専門学校の整備を反映

###### ②鶴岡市中央公民館女性センターの機能拡充事業【P15】

各町の住民が使用できようになり、機能拡充については完了し、現在、広域利用を行っていることから事業名の「機能拡充」を「広域利用」に変更

###### ③庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業【P19】

大網放牧場が平成27年に廃止したため、事業名から「大網遊牧場」を削除

庄内南部定住自立圏の形成に関する協定 新旧対照表

旧			新				
連携事項一覧			連携事項一覧				
定住自立圏全体の活性化を通じた人口定住の促進	3つの視点	対象分野	具体的な連携の取組み	3つの視点	対象分野	具体的な連携の取組み	
	(1) 生活機能の強化に係る政策分野	①医療	ア 医師等の確保対策の充実 イ 休日及び夜間における診療体制の充実 ウ がん緩和ケアの充実 エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大	ア 医師等の確保対策の充実 イ 休日及び夜間における診療体制の充実 ウ がん緩和ケアの充実 エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大	(1) 生活機能の強化に係る政策分野	①医療	ア 医師等の確保対策の充実 イ 休日及び夜間における診療体制の充実 ウ がん緩和ケアの充実 エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大
		②福祉	ア 病児・病後児保育施設の相互利用 イ 一時保育施設の相互利用 ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用 エ 介護認定審査事務の連携 オ 老人福祉施設の広域利用	ア 病児・病後児保育施設の相互利用 イ 一時保育施設の相互利用 ウ 子育て支援センターの相互利用 エ 介護認定審査事務の連携 オ 老人福祉施設の広域利用		②福祉	ア 病児・病後児保育施設の相互利用 イ 一時保育施設の相互利用 ウ 子育て支援センターの相互利用 エ 介護認定審査事務の連携 オ 老人福祉施設の広域利用
		③教育	ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用	ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用		③教育	ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用
		④産業振興	ア 圏域の産業人材の育成 イ 雇用・就業支援対策の推進 ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進 エ 育苗施設等農業施設の相互利用 オ 内水面漁業の振興対策の充実 カ 観光推進団体等支援の充実 キ 圏域観光の魅力発信の連携強化 ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成 ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進	ア 圏域の産業人材の育成 イ 雇用・就業支援対策の推進 ウ 育苗施設等農業施設の相互利用 エ 内水面漁業の振興対策の充実 カ 観光推進団体等支援の充実 キ 圏域観光の魅力発信の連携強化 ク 食文化 —— を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成 ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進		④産業振興	ア 圏域の産業人材の育成 イ 雇用・就業支援対策の推進 ウ 育苗施設等農業施設の相互利用 エ 内水面漁業の振興対策の充実 カ 観光推進団体等支援の充実 キ 圏域観光の魅力発信の連携強化 ク 食文化 —— を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成 ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進
		⑤その他	ア 下水道事業の連携	ア 下水道事業の連携		⑤その他	ア 下水道事業の連携
	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	①地域公共交通	ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進	ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進	(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	①地域公共交通	ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進
		②道路等の交通インフラの整備	ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上	ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上		②道路等の交通インフラの整備	ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上
		③地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	ア 地域産材利活用の推進	ア 地域産材利活用の推進		③地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	ア 地域産材利活用の推進
		④地域内外の住民との交流・移住促進	ア 婚活対策の拡大	ア 婚活対策の拡大		④地域内外の住民との交流・移住促進	ア 婚活対策の拡大
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	①中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保 ②圏域内市町の職員等の交流	ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成	ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成	(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	①中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保 ②圏域内市町の職員等の交流	ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成	
定住自立圏全体の活性化を通じた人口定住の促進			定住自立圏全体の活性化を通じた人口定住の促進				

# 庄内南部定住自立圏共生ビジョン (第3次)

令和5年 3月 策定

鶴岡市

# 目 次

1 定住自立圏及び市町の名称	
(1) 定住自立圏の名称	1
(2) 圏域を形成する市町の名称	1
2 定住自立圏の将来像	
(1) 圏域の状況	1
(2) 圏域の将来像	4
(3) 圏域人口等の将来展望	4
(4) 市町の役割分担	5
3 定住自立圏共生ビジョンの期間	5
4 新型コロナウイルス感染症対策	5
5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組	
(1) 生活機能の強化に係る政策分野	
① 医療	7
② 福祉	11
③ 教育	16
④ 産業振興	17
⑤ その他	27
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野	
① 地域公共交通	28
② 道路等の交通インフラの整備	29
③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消	30
④ 地域内外の住民との交流・移住促進	31
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野	
① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保	32
② 圏域内市町の職員等の交流	33
6 共生ビジョン事業一覧表	34

## 1 定住自立圏及び市町の名称

### (1) 定住自立圏の名称

庄内南部定住自立圏

### (2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称

鶴岡市、三川町、庄内町

## 2 定住自立圏の将来像

### (1) 圏域の状況

本圏域は、山形県庄内地方の中央から南部に位置しており、圏域の北部から中央部には広大な庄内平野が広がり、日本三大急流の最上川、最上川水系の立谷沢川、京田川、藤島川、赤川水系の赤川、大山川等の河川が貫流している。東部から南部にかけては、磐梯朝日国立公園に指定されている羽黒山、月山、湯殿山からなる出羽三山、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯である。西部は日本海に面して長い磯浜が形成されている。

圏域を構成する鶴岡市、三川町、庄内町は、寛文四年（1664年）に田川郡として一つの区域になるなど、昔から生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している。

圏域の人口は15万人であり、面積は1594平方キロメートルと山形県全体のそれぞれ14.1%、17.1%を占める。庄内空港、山形自動車道、日本海東北自動車道、羽越本線など、各高速交通網の整備が進んでいるが、一層の整備充実が望まれる。

近年は、こうした交通網の整備等により、圏域住民の交流は活発化しており、通勤・通学や買い物、医療・福祉など日常生活の結びつきはますます強まっている。その一方で、地方全体の傾向として少子高齢化を伴った人口減少が進んでおり、当圏域も例外でない状況にある。

今後は、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていく必要がある。

### 【構成市町の概況】

#### 鶴岡市

鶴岡市は、江戸初期に庄内藩14万石を領有した酒井家の城下町として発達し、本圏域における行政機能の中核を担い、文化の薫り高いまちを形成してきた。

現在は、平成17年10月の市町村合併を経て東北一広い行政面積を有し、四季折々の豊かな自然のなか、農林水産業を基幹とした産業を営み、鶴岡、藤島、羽黒、

櫛引、朝日、温海の各地域の多彩な特性を反映した様々な伝統文化や生活文化を築いている。

近年は、高速交通基盤の整備や高等教育機関の集積など、将来の発展に不可欠な基盤整備が進む一方、市域における安全安心な生活環境の整備、高等教育機関の活動と連携した産業振興や人材育成、広大な森林資源のもたらす恵み豊かな自然との共生の取組み、食をはじめ地域の歴史や文化を活かした活動などを力強く展開している。

鶴岡市は、庄内の中心的都市として、真の豊かさを求める新しい時代にふさわしい、人と暮らしと自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる地域の創造に努めている。

### 三川町

三川町は、庄内平野のほぼ中央、鶴岡市の北部に隣接する純農村地域にあって、永く稲作を中心とした農業に支えられ豊かな農村文化を育んできた。

現在は、農業を基幹産業にする一方、国道7号三川バイパスなどの国県道が縦横断し、庄内空港や高速道路インターチェンジに接する交通の要衝の地として、また、県総合支庁や消防学校、地方卸売市場や大規模商業施設など、行政や経済物流の機能が集積する町として、庄内圏域での役割を担っている。

豊かな田園風景と赤川・藤島川、大山川の三つの河川に象徴される三川町は、人と環境と産業が真に調和した元気あふれるまちづくりに努めている。

### 庄内町

庄内町は、旧余目町と旧立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要衝であり、今後は最上地域とを結ぶ高速交通網の整備も期待されている。

霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取組みを展開している。

現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉及び教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつづけたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。

## <庄内南部定住自立圏における将来推計人口等>

### 1 総人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(単位:人 下段は対前期比増減率)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	149,509	147,546	142,384	136,623	129,652	122,347	113,800	105,651	97,494	89,194
		-1.3%	-3.5%	-4.0%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.7%	-8.5%
三川町	8,188	7,879	8,003	7,731	7,728	7,601	7,168	6,745	6,321	5,869
		-3.8%	1.6%	-3.4%	0.0%	-1.6%	-5.7%	-5.9%	-6.3%	-7.2%
庄内町	26,251	25,489	24,677	23,158	21,666	20,151	18,560	17,049	15,588	14,121
		-2.9%	-3.2%	-6.2%	-6.4%	-7.0%	-7.9%	-8.1%	-8.6%	-9.4%
圏域合計	183,948	180,914	175,064	167,512	159,046	150,099	139,528	129,445	119,403	109,184
		-1.6%	-3.2%	-4.3%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.8%	-8.6%

### 2 年少・高齢人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(上段:年少人口割合/下段:高齢人口割合)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	16.8%	15.2%	13.8%	12.8%	11.8%	11.0%	10.5%	10.1%	9.6%	9.3%
	20.5%	23.7%	26.4%	28.7%	31.9%	35.1%	37.4%	39.2%	40.6%	43.1%
三川町	16.2%	14.9%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.1%	12.5%	12.0%	11.7%
	22.3%	25.9%	29.6%	30.7%	33.1%	35.0%	37.7%	38.4%	38.8%	40.1%
庄内町	16.2%	14.8%	13.8%	12.8%	11.6%	10.7%	10.1%	9.8%	9.4%	9.2%
	21.3%	25.1%	28.4%	30.6%	34.2%	37.6%	40.0%	41.8%	43.0%	44.5%
圏域合計	16.7%	15.1%	13.8%	12.8%	11.9%	11.1%	10.6%	10.2%	9.7%	9.4%
	20.7%	24.0%	26.9%	29.1%	32.2%	35.5%	37.8%	39.5%	40.9%	43.1%

### 3 圏域内の通勤通学者の動向 (単位:人、下段は通勤通学割合)

	鶴岡市へ	三川町へ	庄内町へ	通勤通学者の総数	圏域内の他市町へ
鶴岡市	57,322	1,806	801	64,715	4.0%
	88.6%	2.8%	1.2%		
三川町	1,616	1,495	131	3,960	44.1%
	40.8%	37.8%	3.3%		
庄内町	2,214	432	4,901	10,837	24.4%
	20.4%	4.0%	45.2%		

資料:令和2年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない

## (2) 圏域の将来像

我が国では、人口減少と少子高齢化が進行し、産業・経済のグローバル化、国民生活やニーズの多様化などが相まって、従来の社会構造に著しい変化が生じている。

特に、地方においては、依然として若年層を中心とした転出超過に歯止めがかからず、労働人口の減少、地域経済の停滞など、地域社会を取り巻く環境はさらに厳しさを増すとともに、地方自治体では、新しい時代の多様化する行政ニーズに応えるため、効率的な行財政運営のもと、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが求められている。

庄内南部地域の鶴岡市、三川町、庄内町は、昔から生活・経済・文化などを一にする圏域として密接な関係を有し、これまでも各般の行政推進において多様な連携・協力を図ってきた。しかし、圏域全体の人口減少、少子高齢化が進み、活力低下が懸念されるなかにおいては、今後も連携・協力を深め、必要な生活基盤を確保しつつ魅力ある地域づくりを進める必要がある。

本市は、三川町、庄内町とともに、平成25年3月に「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として、都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を活かした地域づくりと、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、圏域全体として定住環境の整備にこれからも努めていく。

今後とも、市民、地域、行政が互いに協働し、さらに3市町の連携・協力による総合的な力の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限に活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。

## (3) 圏域人口等の将来展望

前頁資料のとおり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、圏域の人口は今後も減少の一途をたどり、令和22年には11万人を下回るものと予測されている。また、同年には、圏域全体で、年少人口割合が10%を下回るなか、高齢人口割合は40%を超え、少子高齢化が著しく進行すると予測されている。

将来の人口減少や少子高齢化に備えながら、持続可能な圏域の形成を図るためには、自然動態と社会動態の両面に対する取組が必要不可欠となる。

このため、各市町においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組を着実に進めるとともに、圏域全体においては、以下の中長期的な指標を設定し、庄内南部定住自立圏形成協定に基づく子育て環境の充実や生活基盤の強化など、人口動態の改良等に向けた取組を推進するものとする。

なお、中長期の指標の設定にあたっては、国や県における目標、並びに構成市町の人口ビジョンを踏まえるものとする。

〈圏域全体における指標〉

項目	令和2年実数	令和7年目標値	令和12年目標値	令和22年目標値
圏域人口	150,099人	142,511人	136,181人	127,880人
高齢化率	35.5%	36.9%	37.7%	38.2%
合計特殊出生率	鶴岡市 1.41 三川町 1.69 庄内町 1.61	鶴岡市 1.73 三川町 2.13 庄内町 1.61	鶴岡市 1.84 三川町 2.12 庄内町 1.80	2.07 <small>※国で示している目標値</small>

(4) 市町の役割分担

鶴岡市

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する三川町・庄内町

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とする。  
ただし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

4 新型コロナウイルス感染症対策

庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）に掲載する事業については、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じ、実施するものとする。

## 5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組

### (1) 生活機能の強化に係る政策分野

#### ① 医療

#### ア 医師等の確保対策の充実

圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院は、地域に根ざした急性期病院、また救急医療・高度医療の中核として、鶴岡地区医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し圏域全体の医療の充実に貢献しているが、医師不足の解消が課題であり、圏域で連携・協力して説明会や情報収集・発信等様々な確保対策を講じる。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。

#### 具体的な連携事業

事業名	医師等の確保対策事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	<p>医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。</p> <p>老朽化した荘内看護専門学校の整備を令和7年4月の開校に向けて事業をすすめ、看護師の養成・確保に取り組む。</p>								
期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	医学生への修学資金の貸与	→							
	オープンホスピタルの開催	→							
	病院説明会への参加	→							
	臨床実習医学生の受入れ	→							
	医師・医学生への働き掛け	→							
	医師公舎の管理運営委託	→							
	荘内看護専門学校の整備	→							
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	111,946	402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230	
	三川町								
	庄内町								
重要業績評価指標 (KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)				目 標			
		72人 (令和3年度末)				75人			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## イ 休日及び夜間における診療体制の充実

鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の住民が安心して利用できる初期救急医療施設として、適切な利用と利用者拡大のため、機能充実と普及啓発の取組みを行う。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の診療体制の充実を図るため、休日及び夜間における初期救急医療体制の確立を目的に甲が開設する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所(以下「休日夜間診療所等」という。)の機能の充実に努めるとともに、圏域内の住民の利用に関する普及啓発を図る。
甲(鶴岡市)の役割	休日夜間診療所等について、関係機関と連携・調整を行い円滑な運営を図るとともに、乙と協議しながら機能の充実に努める。 甲の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	休日及び夜間における診療体制の充実							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	関係市町及び医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日夜間診療所等の利用に関するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、普及啓発活動を行う。							
期待される効果	圏域全体として、利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	普及啓発活動の実施	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	40	30	30	30	30	30	150
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		1,538人(令和3年度)			現状維持値以上			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町及び医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。</li> <li>・各市町は共同して住民に対する普及啓発活動を行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ がん緩和ケアの充実

鶴岡市が設置する「緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川」を鶴岡市と三川町が継続して運営し、講座や講演会等の啓発活動や医療福祉関係者の研修等をとおり、2市町が連携してがん緩和ケアの普及啓発を推進する。

### 形成協定の内容

取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。
乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。								
期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	啓発事業(講座・出張講演会)	→							
	スキルアップ研修会の開催	→							
	医療と福祉の連携事業	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250	
	三川町	600	600	600	600	600	600	3,000	
重要業績評価 指標 (KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)				目 標			
		149 件 (令和3年度)				150 件			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

がんの早期発見・早期治療に有効な検診について、圏域の住民の生命を守り健康寿命の延伸を図るため、圏域で連携・協力して受診の啓発活動を行い、がん検診受診率の向上をめざす。

### 形成協定の内容

取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。
甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。

### 具体的な連携事業

事業名	がん検診受診向上対策啓発事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。							
事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーン等を実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。							
期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	啓発事業(キャンペーン等)	→						
事業費見込	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
(千円)	鶴岡市	30	30	30	30	30	30	150
	三川町	30	30	30	30	30	30	150
	庄内町	15	15	15	15	15	15	75
重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標			
		令和3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%			現状値以上			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。



## イ 一時保育施設の相互利用

圏域の認可保育所が実施している一時預かりについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の認可保育所が実施する一時預かりについて、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図る。
甲(鶴岡市)の役割	甲の認可保育所が実施する一時預かりを乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の認可保育所が実施する一時預かりを甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	一時保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	各市町の認可保育所が実施する一時預かりについて、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	226,265
	三川町	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	13,395
	庄内町	6,800	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540
重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用延人数	現状値(調査時点)			目 標			
		16人(令和3年度) 【参考】82人(平成30年度)			80人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) ・一時預かり事業(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・各施設の運営経費に対する費用は施設の設置市町が負担する。</li> <li>・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ 子育て支援センターの相互利用

圏域の各市町で実施している子育て支援センターの事業について、圏域の子育て環境の充実を図るため、各市町の住民が相互に利用できるようにする。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、 <b>圏域内の子育て支援センター事業</b> について、 <b>甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整し</b> 、子育て支援や育児相談等を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市子ども家庭支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業 <b>及び鶴岡市内の地域子育て支援センターとの共催により実施する事業</b> について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施するとともに、 <b>取組の調整を図る</b> 。
乙(三川町、庄内町)の役割	<b>乙が設置する子育て支援センターの事業</b> について、甲の住民も利用できるようにする。

### 具体的な連携事業

事業名	子育て支援センターの相互利用							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域の子育て支援センターで実施する子育て支援事業や育児相談事業について、 <b>甲及び乙の住民が相互に利用できる</b> ようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目		R4	R5	R6	R7	R8	R9
	事業実施		—————▶					
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	573	800	800	800	800	800	4,000
	三川町	20,761	20,770	20,770	20,770	20,770	20,770	103,850
	庄内町	1,460	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	7,400
重要業績評価指標 (KPI)	施設の相互利用者数	現状値(調査時点)				目 標		
		9,700 人 (令和3年度) <small>※各市町の住民が、圏域内の他市町の施設を利用した人数の合算値</small>				10,000 人		
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) (国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・講座等<b>事業</b>に係る経費及び活動広報経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各<b>市町</b>がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。  
鶴岡市は直営のため人件費相当分を含んでいない。(三川町、庄内町は事業委託)

## エ 介護認定審査事務の連携

鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施し、介護保険事業の効率的な運営を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	介護保険事業の効率的運営を図るため、甲が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象として実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、乙の住民の要介護認定審査事務を受託する。
乙(三川町)の役割	甲に乙の住民の要介護認定審査事務を委託する。

### 具体的な連携事業

事業名	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象とするよう、乙は甲に事務を委託する。								
期待される効果	効率的な要介護認定審査事務が行われる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	事業実施	→							
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	18,000	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	78,000	
	三川町	4,800	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	24,500	
重要業績評価指標 (KPI)	委託事務の達成率	現状値(調査時点)				目 標			
		100%				100%			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。  
**鶴岡市事業費見込額に職員人件費は含まれていない。**

## オ 老人福祉施設の広域利用

圏域内の福祉体制の安定と充実を図るため、養護老人ホームの措置入所に努める。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、措置入所を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙及び関係機関と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	養護老人ホーム入所措置事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	令和3年度までに整備された養護老人ホームに対し、措置入所を行い、またその入所調整を図るもの。								
期待される効果	令和3年度までに整備された養護老人ホームに措置を行うことで、圏域内居住者等の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	養護老人ホーム入所措置	→							
事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	1,155,035	
	三川町	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	49,710	
	庄内町	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	98,000	
重要業績評価指標 (KPI)	養護老人ホーム措置入所定員数	現状値(調査時点)				目 標			
		100名 (ともえ70名、思恩園30名)				現状維持			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市は関係機関と連携し、各町との連絡調整を行う。								

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### ③ 教育

#### ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

鶴岡市が設置・運営する鶴岡市中央公民館女性センターについて、圏域内の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、2町に対して同センターの事業展開の拡大と住民の利用促進を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、甲が設置する鶴岡市中央公民館女性センターについて、甲及び乙の住民を対象に、事業を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市中央公民館女性センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	鶴岡市中央公民館女性センターの <b>広域利用</b> 事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、鶴岡市以外の各町住民が利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体において、女性の職業生活や家庭生活を支援することで、学習意欲及び能力の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業の継続	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	1,339	1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標 (KPI)	2町の利用者割合	現状値(調査時点)			目 標			
		6.1% (令和3年度)			10.0%			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

#### ④ 産業振興

##### ア 圏域の産業人材の育成

(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業に対し、圏域における産業の技術力向上と事業の高度化に資する人材を育成するため、各市町が連携して支援を行うとともに地元企業に対する情報提供等を行う。

##### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の産業人材の育成のため、(公財)庄内地域産業振興センター(以下「センター」という。)が実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資する人材育成事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。
甲(鶴岡市)の役割	地元企業や高等教育機関等の関係機関に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 センターの人材育成事業を乙と連携して支援するとともに、その調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	地元企業等に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 甲と連携してセンターの人材育成事業を支援する。

##### 具体的な連携事業

事業名	産業人材育成支援事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する、地域産業の技術力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業の共同支援(運営費・受講費の一部補助)を行なう。								
期待される効果	事業へ共同支援することにより、安定した事業が遂行できる。 より多くの企業が参加することにより、企業間の交流及び圏域内の企業の活性化が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	事業実施	→							
	事業費負担按分検討	→							
	事業負担					→			
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610	
	三川町								
	庄内町								
重要業績評価指標 (KPI)	受講者数	現状値(調査時点)				目 標			
		270人(令和3年度)				350人			
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)庄内地域産業振興センターの事業に係る経費(運営費・受講費の一部補助)等については、関係市町が応分の負担を行う。</li> <li>・各市町の負担については、企業の参加状況を踏まえ按分を検討する。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## イ 雇用・就業支援対策の推進

鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームについて、鶴岡市と三川町が連携して支援し、同市町の住民が求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務等のサービスを適切に受けられるようにし、求職者の選択肢の確保、安定した生活への支援を行う。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の雇用・就業支援の充実のため、甲が設置する鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業について、甲及び乙の地域で実施する。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡ワークサポートルームにおいて、甲と乙の住民に対して雇用・就業支援事業を実施する。
乙(三川町)の役割	乙の地域住民や事業所に対し、甲が実施する雇用・就業支援事業の適切な利用に関する普及啓発を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	内職相談事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	甲が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、在宅での仕事を希望する方のための内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務を行なう。							
期待される効果	より多くの内職求人・求職募集が見込めるとともに、求職者の選択肢が広がり、安定した生活への助成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	内職相談・求人開拓・あつ旋	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	12,115
	三川町	144	144	144	144	144	144	720
重要業績評価指標 (KPI)	幹旋件数	現状値(調査時点)				目 標		
		45 件(令和3年度)				60 件		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	相談業務に係る経費(人件費・事務費)等については、各市町が応分の負担(人口割合等)を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ウ 育苗施設等農業施設の相互利用

圏域の産地化の拡大・強化を図るため、圏域自治体等が設置、又は指定管理などにより管理運営する花卉育苗施設などを圏域の住民・組織が利用できるようにし、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給等を促進する。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の産地化の拡大・強化を図るため、花卉育苗施設などの農業施設について、甲乙の協議の上、圏域全体で利用できるよう調整し利用拡大を図る。
甲(鶴岡市)の役割	農業施設の相互利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	農業施設の相互利用について甲と協議し、乙の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。

### 具体的な連携事業

事業名その1	庄内南部地域育苗施設利用拡大事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	庄内町、三川町に設置された花卉及び野菜育苗施設を広域で利用拡大することにより、高品質かつ低価格な苗の供給を促進する。							
期待される効果	庄内南部地域の花生産の拡大と関係農家の経営の安定化が促進される。新規生産者(特に、若者農業者)の花生産への円滑な参画が促進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	利用拡大策の実施	—————→						
事業費見込	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
(千円)	鶴岡市	900	900	900	900	900	900	4,500
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数	現状値			目 標			
		41人(令和3年度)			50人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・市町の利用状況に応じた負担とする。							

事業名その2	庄内広域育成牧場_____・庄内町放牧場合理化事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	<p>畜産農家が減少する中で、鶴岡市管内にある庄内広域育成牧場と_____庄内町放牧場について、庄内広域育成牧場を核とした施設連携や一体的利用の検討を進め、放牧事業の合理化・効率化を推進する。_____</p> <p>庄内町放牧場は、令和2年度から令和4年度まで社会福祉法人月山福祉会に指定管理されている。</p> <p>庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧している。</p>							
期待される効果	施設の統合と一体的利用による役割分担の明確化により、効率的な放牧事業の促進が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	利用調整の検討	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	5,252	5,044	5,044	5,044	4,936	4,828	24,896
	三川町	180	198	198	198	197	196	987
	庄内町	3,179	2,190	2,190	2,190	2,226	2,273	11,069
重要業績評価指標 (KPI)	現状値(調査時点)			目 標				
	牛放牧頭数 (庄内南部/全体)	133 頭/176 頭(令和3年度)			140 頭/200 頭			
	牛放牧戸数 (庄内南部/全体)	28 戸/40 戸(令和3年度)			35 戸/50 戸			
	めん羊放牧頭数	76 頭(令和3年度)			70 頭			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内広域育成牧場の整備については、設置場所である鶴岡市が支援を行う。</li> <li>・庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧する。</li> </ul>							

## エ 内水面漁業の振興対策の充実

内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組みに対し、内水面漁業の振興を図るため、圏域の各市町が継続して支援する。

### 形成協定の内容

取組の内容	内水面漁業の一層の振興を図るため、甲の区域に所在する内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組について、圏域で連携して支援し活動を推進する。
甲(鶴岡市)の役割	内水面漁業協同組合に対し、乙と連携して支援を行うとともに、支援の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、内水面漁業協同組合に対し支援を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	内水面漁業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	河川環境を検討し、種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視等による漁場環境の保全を行うため、内水面漁業協同組合へ補助金を交付し、振興支援に努める。							
期待される効果	魚族の増殖と漁場環境の整備により、圏域内外から多くの釣り客が訪れることで、河川流域の活性化が図られる。 子供の体験学習として種苗放流を実施することで、水産業振興や魚食普及、河川環境保全等への関心が向上する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235
重要業績評価指標 (KPI)	赤川の漁獲量	現状値(調査時点)				目 標		
		24,250 kg (令和3年度実績値)				42,900 kg		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・内水面漁業協同組合への補助は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## オ 観光推進団体等支援の充実

圏域の一層の観光振興のため、全国有数の花火大会である赤川花火大会と、全国有数の観光地であり山岳信仰の地である出羽三山地区の受入環境の整備について、鶴岡市と関係町が連携・協力し、推進団体への支援を継続強化する。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の観光による誘客を強化するため、観光推進団体等が行う事業に対し、甲乙の協議の上、連携して支援する。
甲(鶴岡市)の役割	観光推進団体の企画運営に必要な応じて協力するとともに、その取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、観光推進団体の企画運営に協力する。

### 具体的な連携事業

事業名その1	赤川花火大会への支援								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	赤川花火大会への補助金支出								
期待される効果	赤川花火大会を支援することにより、誘客の増加が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	補助金の維持、拡充	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000	
	三川町	300	300	300	300	300	300	1,500	
重要業績評価指標 (KPI)	観客数	現状値(調査時点)				目 標			
		35 万人(令和元年度)				35 万人			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。								

事業名その2	出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	現地調査等観光開発事業、月山八合目・九合目・山頂の公衆トイレ管理事業、県道月山公園線交通混雑対策事業、月山八合目給水事業及び要望活動							
期待される効果	全国有数の観光地であり山岳信仰で有名な出羽三山地区の受入環境を整備することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	負担金の拡充	—————▶						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	13,600
	庄内町	205	205	205	205	205	205	1,025
重要業績評価指標 (KPI)	出羽三山への観光客数	現状値(調査時点)			目 標			
		64万8千人(令和3年度) 【参考】88万7千人(平成30年度)			90万人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## カ 圏域観光の魅力発信の連携強化

圏域の一層の観光振興のため、新たな観光資源の掘り起こしや、古くから育んできた伝統芸能の発信、観光推進団体等への支援などを各市町で連携・協力して行い、圏域の魅力発信の強化を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の一層の観光振興を図るため、新たな観光資源を掘り起こし広くPRするほか、古くから育んできた伝統芸能の発信を圏域全体で連携して行い、圏域の魅力発信を強化する。
甲(鶴岡市)の役割	観光資源の掘り起こしと魅力発信のため、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	インバウンド観光推進事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	訪日外国人観光客等の増加に対応し、庄内北部地域等の市町村とも連携して外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。								
期待される効果	当圏域への外国人観光客の増加								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	事業内容の調整	→							
	事業実施	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	6,760	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	
	三川町								
	庄内町								
重要業績評価指標 (KPI)	外国人延べ宿泊者数	現状値(調査時点)			目 標				
		889人(令和3年度) 【参考】7,886人(平成30年度)			40,000人				
活用を想定する補助制度	東北観光復興対策交付金								
役割分担の考え方	・鶴岡市は、三川町、庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## キ 食文化\_\_\_\_\_を活かした地域文化の情報発信、創造的人材の育成

圏域の豊かな食文化資源\_\_\_\_\_を基盤に、地域文化情報の発信や創造的人材の育成、創造的文化産業の創出に取組み、食関連産業や観光の振興、商店街の活性化などにつなげる。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の交流人口の拡大、定住促進を図るため、庄内南部地域の豊かな食文化を活かした食文化創造の活動と_____映像など地域の新たな資源の相乗効果により、特色ある地域文化の発信、創造的人材の育成等を進める。
甲(鶴岡市)の役割	食文化_____の関係機関・団体との調整及び事業の企画運営を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び事業への協力を行う。

### 具体的な連携事業

事業名	食文化情報発信事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信								
期待される効果	圏域内外での認知度の向上								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	アーカイブ化と情報発信	—————▶							
事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	1,003	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	
	三川町	0						0	
	庄内町	0						0	
重要業績評価指標 (KPI)	圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	現状値(調査時点)				目 標			
		247,627 人(令和3年度) 【参考】264,286 人(平成30年度)				278,300 人			
活用を想定する補助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興費補助金</li> <li>地方創生推進交付金</li> </ul>								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町がそれぞれの食文化を記録・保存し、圏域での効果的な情報発信など活用方法を検討する。</li> <li>鶴岡市は、事業に関する各町との連絡、調整を担当する。</li> </ul>								

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ク 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

圏域内において間伐等の適正な森林施業を推進することで、豊かな森林環境を保全するとともに、豊富な森林資源を有効活用し林業を振興するため、木質バイオマスの利用促進と安定的な供給システムの構築を図る。

### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の豊富な森林資源を活用した木質バイオマスの安定的な供給システムの構築と地域産材の利用促進により、林業の振興を図る。
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。
乙(庄内町)の役割	甲と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。

### 具体的な連携事業

事業名	木質バイオマス利用促進事業							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	出羽庄内森林組合等が実施する間伐事業や作業道開設を支援し、木質バイオマスの供給体制整備と搬出間伐の低コスト化を図る。 また、皆伐を促進するとともに再生林後の保育等に対する支援を行うことにより、資源の循環を図る。							
期待される効果	木質バイオマスの利用拡大により、森林の整備が促進され、林業の振興と森林のもつ多面的な機能が維持される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	間伐・皆伐促進	→						
	作業道整備	→						
事業費見込み	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
(千円)	鶴岡市	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	474,900
	庄内町	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	33,735
重要業績評価指標(KPI)	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	現状値(調査時点)				目 標		
		6,876 トン/年 (令和3年度)				20,000 トン/年		
活用を想定する補助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい森林づくり基盤整備事業補助金(国1/2)</li> <li>森林環境譲与税</li> </ul>							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。</li> <li>鶴岡市は鶴岡バイオマス協議会に参画し、安定供給体制の構築を図る。</li> <li>間伐、作業道・林業専用道整備等の事業支援経費は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

⑤ その他

ア 下水道事業の連携

地震等の自然災害が頻発するなか、圏域の各市町における汚水処理の連携及び下水道施設の横断的活用により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るとともに、災害時の汚水処理の確保に努める。

形成協定の内容

取組の内容	最上川下流流域下水道事業を基幹とした汚水処理の連携により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、圏域の下水道施設の横断的活用により、災害時の汚水処理を確保する。
甲(鶴岡市)の役割	圏域における下水道事業連携プランを乙の協力のもと策定し、乙と連携して効率的、効果的な下水道事業に取り組む。 県管理の流域下水道事業による広域処理の円滑な管理運営を維持確保するための連携を強化する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲の下水道事業連携プランに基づき、下水道事業の横断的整備促進を図るとともに、最上川下流流域下水道事業の適切な維持管理の確保のため圏域の連携の強化に努める。

具体的な連携事業

事業名	下水道事業連携プランの実施と汚水処理の連携								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	平成27年2月に完成した事業連携プランに基づき、関係市町と連携しながら、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、災害時の汚水処理確保に向けた対応策及び連携についてワーキング部会を開催し調査・検討を進める。								
期待される効果	圏域全体の公共用水域の水質保全と生活環境の向上が期待される。 災害時の汚水処理の迅速な対応が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	事業連携プランの策定(随時ブラッシュアップ)	→							
	プランの実施	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	三川町	0	0	0	0	0	0	0	
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0	
重要業績評価指標 (KPI)	最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	現状値(調査時点)			目 標				
		92.8%(令和3年度末)			93.5%				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町の協力により事業連携プランを策定(ブラッシュアップ)し、事業の推進を図る。</li> <li>最上川下流流域下水道事業促進協議会の運営は庄内町が事務局として連絡・調整を担当し、経費は県を含め各市町が負担する。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## (2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### ① 地域公共交通

#### ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

圏域の公共交通ネットワークの維持強化のため、圏域内の行政関与バス運行体制の確保に努めるとともに、地域の利用実態やニーズを踏まえた経路の見直し等の検討や、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し住民の一層の利用促進を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市地域公共交通計画や山形県地域公共交通計画との整合を図りながら、乙及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に取り組む。

#### 具体的な連携事業

事業名	圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、特に、高齢者等の通院や買物、高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりと、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。								
期待される効果	圏域内公共交通ネットワークの利便性向上と、移動手段の確保維持が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	圏域内バス路線運行事業 (鶴岡・清川線、鶴岡・酒田線)	→							
	バス路線利用促進事業 (時刻・ルート・運賃見直し及び情報発信の強化)	→							
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	6,446	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	38,946	
	三川町	0	0	0	0	0	0	0	
	庄内町	4,446	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	26,946	
重要業績評価 指標 (KPI)	乗車密度 (鶴岡・清川線)	現状値(調査時点)				目 標			
		0.7(令和3年度)				1.0			
活用を想定する補助制度	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統) 県総合交付金								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市が企画・調整を担当し、各町の協力のもと実施する。</li> <li>・事業経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## ② 道路等の交通インフラの整備

### ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

老朽化の進んでいる道路インフラについて、圏域の地域間ネットワークを恒久的に維持していくため、市町間を結ぶ橋梁など市町道全ての橋梁について健全度を把握し、予防保全的な補修・補強を計画的に進めることで、道路インフラ・交通ネットワークの維持向上を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙との境界部が河川となっている箇所に架かる市道橋梁について、乙との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲との境界部が河川となっている箇所に架かる町道橋梁について、甲との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	地域間ネットワークの維持向上に寄与する道路インフラの長寿命化対策							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	地域内の市町道に架かる橋梁の現状を把握し、計画的に補修補強を行うことにより、地域間道路ネットワークの維持向上を図る。							
期待される効果	いつでも安全・安心して通れる道路ネットワークが構築されることや、更新時期の平準化を図ることで、道路維持管理予算の平準化と世代間の負担差を最小限に抑える事が可能となる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	橋梁点検・診断	→	→	→	→	→	→	→
	橋梁長寿命化修繕計画見直し	→	→	→	→	→	→	→
	補修・補強工事の実施	→	→	→	→	→	→	→
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	477,569	550,200	542,300	487,000	475,000	495,500	2,550,000
	三川町	13,500	37,000	16,000	30,000	15,000	10,000	108,000
	庄内町	26,640	366,000	220,000	220,000	220,000	30,000	1,056,000
重要業績評価指標 (KPI)	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	現状値(調査時点)			目 標			
		91%(763橋/838橋) R4.3 現在			98%(821橋/838橋) R10.3 予定			
活用を想定する補助制度	道路メンテナンス事業費補助金(5.61/10) 起債(9/10)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・橋梁調査、計画策定、補修工事等については、関係市町それぞれが負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### ③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

#### ア 地域産材利活用の推進

圏域の林業再生及び関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し圏域全体で支援するとともに、各市町それぞれが地域産材を使った家づくりの普及促進に努める。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の林業及び地域住宅関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、甲及び乙が連携して支援し、地域産木材の利活用の推進に努める。
甲(鶴岡市)の役割	ネットワーク組織への支援を継続して行うとともに、圏域全体での支援について乙と協議し連携して行い、その充実に努める。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、乙の住民に対し、ネットワーク組織の活動に関する普及啓発活動を行う。

#### 具体的な連携事業

事業名	地域産材及び住宅関連産業振興事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	森林所有者、製材業者、設計業者、住宅関連業者で組織するネットワーク組織(「つるおか住宅活性化ネットワーク」(鶴岡・田川地区にて目的に賛同する方も加入可能)が、地域産木材を使った家づくりを推進するのに際し、圏域全体で支援する。								
期待される効果	優良材の利用拡大を図ることによって、森林所有者へ利益を還元し、森林整備を促進する。 地域産材を使った家づくりを推進することにより圏域の住宅関連産業の振興を図る。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	展開拡大に向けた調整	→							
	事業実施	→							
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	5,000	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500	
	三川町	0	0	0	0	0	0	0	
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0	
重要業績評価指標 (KPI)	地域産木材の利活用	現状値(調査時点)				目標			
		300 m <sup>3</sup> (令和3年度)				320 m <sup>3</sup> /年			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は事務局事務を行うとともに、各町との連絡、調整を行う。</li> <li>・住民への情報提供、地域産材を使った家づくりの啓発等は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

#### ④ 地域内外の住民との交流・移住促進

##### ア 婚活対策の拡大

圏域の若者の成婚を促進し地域の活力向上を図るため、鶴岡市の行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、各市町が連携・協力してより広範囲で効果的な婚活対策を展開する。

##### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の若者の成婚を促進するため、甲が行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、より広範囲での効果的な婚活対策を展開する。
甲(鶴岡市)の役割	甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等もりようできるように、乙と協議しその内容を拡大するとともに、取組の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、甲の行う婚活支援事業について乙の住民及び団体等に周知を図るとともに婚活支援事業を実施する。

##### 具体的な連携事業

事業名	婚活支援事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し、情報を共有するとともに、婚活支援事業補助金の対象を各町の企業及び団体等に拡大する。また各町はその周知に努め補助を行うとともに、自ら婚活事業を実施する。								
期待される効果	圏域全体での婚活支援事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、 <b>結婚・交際に対する意識</b> 及び成婚率の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	制度の見直し検討	→							
	事業実施(範囲拡大)	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	12,312	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000	
	三川町	215	215	215	215	215	125	985	
	庄内町	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	8,895	
重要業績評価 指標 (KPI)	行政主催の婚活イベント等開催数	現状値(調査時点)				目 標			
		17回(令和3年度)				17回			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市が事務局を担当し、各町と連絡及び調整を行う。</li> <li>・各町の企業及び団体等への補助は各町がそれぞれ行う。</li> </ul>								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

### (3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

#### ① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

#### ② 圏域内市町の職員等の交流

#### ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成

鶴岡市が実施している各種職員研修を基本に、研修の企画立案・運営を1市2町で行い、研修の質的充実と圏域の職員間の交流を図るとともに、外部より専門家を招聘し、課題解決能力、政策立案能力等の一層の向上を図る。

#### 形成協定の内容

取組の内容	圏域の市町職員の課題解決能力、政策立案能力等を向上させ、圏域内のマネジメント能力を強化するため、圏域内外の専門家等を講師として招聘するなどし、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を実施するとともに、必要に応じ市町間での人的な交流を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行い、その調整を図る。 甲の職員等への周知、参加取りまとめを行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行う。 乙の職員等への周知、参加取りまとめを行う。

#### 外部人材の活用方針

活用する主な政策分野	市民生活、健康福祉、教育文化、農林水産、商工観光、社会基盤
活用期間	令和5年度から令和9年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	平成30年度以降の専門家の招聘に関する費用については、関係市町の負担割合は、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と鶴岡市が事前に協議して決定する。

#### 具体的な連携事業

事業名その1	合同研修事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で企画・開催し、職員の資質向上を図ると共に圏域内職員等の交流を推進する。								
期待される効果	職員の資質向上、圏域内職員等の交流・連携の推進等により、圏域マネジメント能力の強化が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	運営組織・事業内容等の検討	→							
	合同研修の企画・開催	→							
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	160	305	305	305	305	305	1,525	
	三川町	100	100	100	100	100	100	500	
	庄内町	100	100	100	100	100	100	500	
重要業績評価指標 (KPI)	延べ受講者数	現状値(調査時点)				目標			
		212名(令和4年度末現在)				312名			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市、庄内町、三川町が合同で研修の企画・運営を行う。</li> <li>・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。</li> </ul>								

事業名その2	外部人材活用事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、指導・助言を受けながら地域の振興及び産業の活性化に関する研修を実施する。								
期待される効果	職員の課題解決能力、政策立案能力の向上が図られるとともに、圏域内の振興と産業の活性化が推進される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	研修等の実施・検討	—————▶							
事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0	
	三川町								
	庄内町								
重要業績評価指標 (KPI)	外部人材専門家による研修等の実施	現状値(調査時点)				目 標			
		0回(令和3年度)				年1回			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。								

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

## 6 共生ビジョン事業一覧表

### 1 生活機能の強化に係る政策分野

#### (1) 医療

##### ア 医師等の確保対策の充実

R5	R6	R7	R8	R9	計
407,201	708,001	93,601	50,601	56,601	1,316,005

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-ア	医師の確保 対策事業	荘内病院の医師等の確保に 向けた取組みを協力して実施 する。	402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230		
三川町	1-①-ア	同上	同上								
庄内町	1-①-ア	同上	同上								
計				402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230		

##### イ 休日及び夜間における診療体制の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-イ	休日及び夜 間における診 療体制の充 実	圏域の初期救急医療施設とし て、機能充実と普及啓発を連 携して行う。	30	30	30	30	30	150		
三川町	1-①-イ	同上	同上								
庄内町	1-①-イ	同上	同上								
計				30	30	30	30	30	150		

## ウ がん緩和ケアの充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-ウ	南庄内がん 緩和ケアの充 実	「緩和ケアサポートセンター鶴 岡・三川」への支援を通しがん 緩和ケアの普及啓発を推進す る。	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250		
三川町	1-①-ウ	同上	同上	600	600	600	600	600	3,000		
計				4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	21,250		

## エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-エ	がん検診受 診向上対策 啓発	圏域で連携して受診の啓発活 動や職域への働きかけを行 う。	30	30	30	30	30	150		
三川町	1-①-エ	同上	同上	30	30	30	30	30	150		
庄内町	1-①-エ	同上	同上	15	15	15	15	15	75		
計				75	75	75	75	75	375		

(2)福祉

R5	R6	R7	R8	R9	計
412,793	414,405	413,959	413,959	413,959	2,069,075

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)					活用を想定する 補助制度等	備考	
				R5	R6	R7	R8	R9			計
鶴岡市	1-②-ア	病児・病後児 保育事業の 相互利用	各市町の病児・病後児保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	23,611	23,611	23,611	23,611	23,611	118,055	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ア	同上	同上	16,513	16,513	16,513	16,513	16,513	82,565	同上	
庄内町	1-②-ア	同上	同上	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760	同上	
計				52,676	52,676	52,676	52,676	52,676	263,380		

イ 一時保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)					活用を想定する 補助制度等	備考	
				R5	R6	R7	R8	R9			計
鶴岡市	1-②-イ	一時保育施設 の相互利用	各市町の一時保育施設のサービスが相互に利用できるようにする。	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	226,265	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-イ	同上	同上	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	13,395	同上	
庄内町	1-②-イ	同上	同上	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540	同上	
計				56,018	57,630	57,184	57,184	57,184	285,200		

## ウ 子育て支援センターの相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-ウ	子育て支援センターの相互利用	各市町で実施している子育て支援センターの事業について相互に利用できるようにする。	800	800	800	800	800	4,000	子ども・子育て支援交付金(国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ウ	同上	同上	20,770	20,770	20,770	20,770	20,770	103,850		
庄内町	1-②-ウ	同上	同上	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	7,400		
計				23,050	23,050	23,050	23,050	23,050	115,250		

## エ 介護認定審査事務の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-エ	要介護認定審査事務	鶴岡市介護認定審査会において、三川町の要介護認定審査事務を受託する。	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	78,000		
三川町	1-②-エ	同上	同上	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	24,500		
計				20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	102,500		

オ 老人福祉施設の広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-オ	養護老人ホーム 入所措置 事業	広域型施設の養護老人ホーム に対し、措置入所を行い、ま たその入所調整を図る。	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	1,155,035		
三川町	1-②-オ	同上	同上	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	49,710		
庄内町	1-②-オ	同上	同上	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	98,000		
計				260,549	260,549	260,549	260,549	260,549	1,302,745		

(3)教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

R5	R6	R7	R8	R9	計
1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-③-ア	鶴岡市中央 公民館女性 センターの広 域利用	女性センターで実施する資格 取得準備講座や女性講座、相 談等を圏域全体で利用できる ようにする。	1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605		
三川町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605		

(4)産業振興

R5	R6	R7	R8	R9	計
149,048	149,048	149,048	148,975	148,913	745,032

ア 圏域の産業人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ア	産業人材育成支援	(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業を連携して支援する。	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610		
三川町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610		

イ 雇用・就業支援対策の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-イ	雇用・就業支援(内職相談)	鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業を連携して支援する。	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	12,115		
三川町	1-④-イ	同上	同上	144	144	144	144	144	720		
計				2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	12,835		

ウ 育苗施設等農業施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ウ	庄内南部地 域育苗施設 等利用拡大	育苗施設などの農業施設を圏 域全体で利用できるようにす る。	900	900	900	900	900	4,500		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				900	900	900	900	900	4,500		
鶴岡市	1-④-ウ	放牧場の合 理化	放牧場の施設統合と一体的な 利用を進め、効率的な放牧事 業を推進する。	5,044	5,044	5,044	4,936	4,828	24,896		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	198	198	198	197	196	987		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	2,190	2,190	2,190	2,226	2,273	11,069		
計				7,432	7,432	7,432	7,359	7,297	36,952		
合計				8,332	8,332	8,332	8,259	8,197	41,452		

## 工 内水面漁業の振興対策の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-工	内水面漁業 振興	内水面漁業協同組合が行う取 組みに対し圏域全体で支援す る。	380	380	380	380	380	1,900		
三川町	1-④-工	同上	同上	48	48	48	48	48	240		
庄内町	1-④-工	同上	同上	47	47	47	47	47	235		
計				475	475	475	475	475	2,375		

## オ 観光推進団体等支援の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-オ	赤川花火大 会への支援	赤川花火大会実行委員会に 対し圏域の市町が連携して支 援する。	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
三川町	1-④-オ	同上	同上	300	300	300	300	300	1,500		
計				15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	76,500		
鶴岡市	1-④-オ	出羽三山 地区観光開 発への支援	出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会に対し圏域の市町 が連携して支援する。	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	13,600		
庄内町	1-④-オ	同上	同上	205	205	205	205	205	1,025		
計				2,925	2,925	2,925	2,925	2,925	14,625		
合計				18,225	18,225	18,225	18,225	18,225	91,125		

カ 圏域観光の魅力発信の連携強化

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-カ	インバウンド 観光推進	外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	東北観光復興 対策交付金	
三川町	1-④-カ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-カ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000		

キ 食文化\_\_\_\_\_を活かした地域文化の情報発信、創造的人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-キ	食文化情報発 信 事業	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	○文化芸術振興費 補助金 ○地方創生推進交 付金	
三川町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000		

ク 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ク	木質バイオマス利用促進事業	木質バイオマス発電所の整備推進と、木質バイオマスの供給体制整備を連携して行う。	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	474,900	美しい森づくり基盤整備事業補助金(県)	
庄内町	1-④-ク	同上	同上	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	33,735	同上	
計				101,727	101,727	101,727	101,727	101,727	508,635		

(5)その他

R5	R6	R7	R8	R9	計
0	0	0	0	0	0

ア 下水道事業の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-⑤-ア	下水道事業連携プランの策定と汚水処理の連携	事業連携プランを策定し実施するとともに災害時等の汚水処理を連携して行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		

## 2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

### (1) 地域公共交通

#### ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

R5	R6	R7	R8	R9	計
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-①-ア	圏域内バス路線の確保維持と利用促進	既存バス路線の確保維持への支援と情報提供の向上による利用促進を連携して行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500	地域公共交通確保維持事業 山形県総合交付金	
三川町	2-①-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0	同上	
庄内町	2-①-ア	同上	同上	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500	同上	
計				11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000		

### (2) 道路等の交通インフラの整備

#### ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

R5	R6	R7	R8	R9	計
953,200	778,300	737,000	710,000	535,500	3,714,000

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-②-ア	橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強	市町道に架かる橋梁の現状把握、修繕計画に基づく補修・補強を連携して行い、長寿命化を進める。	550,200	542,300	487,000	475,000	495,500	2,550,000	道路メンテナンス事業費補助金 地方債	
三川町	2-②-ア	同上	同上	37,000	16,000	30,000	15,000	10,000	108,000	同上	
庄内町	2-②-ア	同上	同上	366,000	220,000	220,000	220,000	30,000	1,056,000	同上	
計				953,200	778,300	737,000	710,000	535,500	3,714,000		

(3)地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

ア 地域産材利活用の推進

R5	R6	R7	R8	R9	計
6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-③-ア	地域産材及び住宅関連産業振興	地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し連携して支援を行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500		
三川町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500		

(4)地域内外の住民との交流・移住促進

ア 婚活対策の拡大

R5	R6	R7	R8	R9	計
16,994	16,994	16,994	16,994	16,904	84,880

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-④-ア	婚活支援	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し各市町が婚活事業を実施する。	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
三川町	2-④-ア	同上	同上	215	215	215	215	125	985		
庄内町	2-④-ア	同上	同上	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	8,895		
計				16,994	16,994	16,994	16,994	16,904	84,880		

### 3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

(1) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保

(2) 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等  
職員の人材育成

R5	R6	R7	R8	R9	計
505	505	505	505	505	2,525

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	3-①②-ア	合同研修・交流	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修及び外部人材の活用を連携して行う。	305	305	305	305	305	1,525		
三川町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	100	100	100	500		
庄内町	3-①②-ア	同上	同上	100	100	100	100	100	500		
計				505	505	505	505	505	2,525		
鶴岡市	3-①②-ア	外部人材活用	圏域外から専門家を招へいし、地域振興・産業の活性化に資する研修を行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	3-①②-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	3-①②-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		
合計				505	505	505	505	505	2,525		

庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第2次→第3次） 新旧対照表

旧	新
<p data-bbox="83 317 148 348">表紙</p> <p data-bbox="329 726 1234 884">庄内南部定住自立圏共生ビジョン (第2次)</p> <p data-bbox="528 1394 1041 1724">平成30年 3月 策定 平成31年 3月 改定 令和 2年 3月 改定 令和 3年 3月 改定 令和 4年 3月 改定 (令和4年11月 時点修正)</p> <p data-bbox="679 1850 884 1898">鶴岡市</p>	<p data-bbox="1507 317 1573 348">表紙</p> <p data-bbox="1762 726 2668 884">庄内南部定住自立圏共生ビジョン (第3次)</p> <p data-bbox="2012 1394 2415 1442">令和5年 3月 策定</p> <p data-bbox="2110 1759 2315 1808">鶴岡市</p>

旧
目次
目 次
1 定住自立圏及び市町の名称
(1) 定住自立圏の名称 . . . . . 1
(2) 圏域を形成する市町の名称 . . . . . 1
2 定住自立圏の将来像
(1) 圏域の状況 . . . . . 1
(2) 圏域の将来像 . . . . . 4
(3) 圏域人口等の将来展望 . . . . . 4
(4) 市町の役割分担 . . . . . 5
3 定住自立圏共生ビジョンの期間 . . . . . 5
4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組
(1) 生活機能の強化に係る政策分野
① 医療 . . . . . 6
② 福祉 . . . . . 10
③ 教育 . . . . . 15
④ 産業振興 . . . . . 16
⑤ その他 . . . . . 28
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
① 地域公共交通 . . . . . 29
② 道路等の交通インフラの整備 . . . . . 30
③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消 . . . . . 31
④ 地域内外の住民との交流・移住促進 . . . . . 32
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保 . . . . . 33
② 圏域内市町の職員等の交流 . . . . . 34
5 共生ビジョン事業一覧表 . . . . . 35

新
目次
目 次
1 定住自立圏及び市町の名称
(1) 定住自立圏の名称 . . . . . 1
(2) 圏域を形成する市町の名称 . . . . . 1
2 定住自立圏の将来像
(1) 圏域の状況 . . . . . 1
(2) 圏域の将来像 . . . . . 4
(3) 圏域人口等の将来展望 . . . . . 4
(4) 市町の役割分担 . . . . . 5
3 定住自立圏共生ビジョンの期間 . . . . . 5
4 <b>新型コロナウイルス感染症対策</b> . . . . . 5
5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組
(1) 生活機能の強化に係る政策分野
① 医療 . . . . . 7
② 福祉 . . . . . 11
③ 教育 . . . . . 16
④ 産業振興 . . . . . 17
⑤ その他 . . . . . 27
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
① 地域公共交通 . . . . . 28
② 道路等の交通インフラの整備 . . . . . 29
③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消 . . . . . 30
④ 地域内外の住民との交流・移住促進 . . . . . 31
(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保 . . . . . 32
② 圏域内市町の職員等の交流 . . . . . 33
6 共生ビジョン事業一覧表 . . . . . 34

旧	新
<p>P 1</p> <p>1 定住自立圏及び市町の名称</p> <p>(1) 定住自立圏の名称 庄内南部定住自立圏</p> <p>(2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称 鶴岡市、三川町、庄内町</p> <p>2 定住自立圏の将来像</p> <p>(1) 圏域の状況</p> <p>本圏域は、山形県庄内地方の中央から南部に位置しており、圏域の北部から中央部には広大な庄内平野が広がり、日本三大急流の最上川、最上川水系の立谷沢川、京田川、藤島川、赤川水系の赤川、大山川等の河川が貫流している。東部から南部にかけては、磐梯朝日国立公園に指定されている羽黒山、月山、湯殿山からなる出羽三山、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯である。西部は日本海に面して長い磯浜が形成されている。</p> <p>圏域を構成する鶴岡市、三川町、庄内町は、寛文四年（1664年）に田川郡として一つの区域になるなど、昔から生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している。</p> <p>圏域の人口は15万人であり、面積は1594平方キロメートルと山形県全体のそれぞれ14.1%、17.1%を占める。庄内空港、山形自動車道、日本海東北自動車道、羽越本線など、各高速交通網の整備が進んでいるが、一層の整備充実が望まれる。</p> <p>近年は、こうした交通網の整備等により、圏域住民の交流は活発化しており、通勤・通学や買い物、医療・福祉など日常生活の結びつきはますます強まっている。その一方で、地方全体の傾向として少子高齢化を伴った人口減少が進んでおり、当圏域も例外でない状況にある。</p> <p>今後は、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていく必要がある。</p> <p><b>【構成市町の概況】</b> <b>鶴岡市</b></p> <p>鶴岡市は、江戸初期に庄内藩14万石を領有した酒井家の城下町として発達し、本圏域における行政機能の中核を担い、文化の薫り高いまちを形成してきた。</p> <p>現在は、平成17年10月の市町村合併を経て東北一広い行政面積を有し、四季折々の豊かな自然のなか、農林水産業を基幹とした産業を営み、鶴岡、藤島、羽黒、</p>	<p>P 1</p> <p>1 定住自立圏及び市町の名称</p> <p>(1) 定住自立圏の名称 庄内南部定住自立圏</p> <p>(2) 圏域を形成する市町（構成市町）の名称 鶴岡市、三川町、庄内町</p> <p>2 定住自立圏の将来像</p> <p>(1) 圏域の状況</p> <p>本圏域は、山形県庄内地方の中央から南部に位置しており、圏域の北部から中央部には広大な庄内平野が広がり、日本三大急流の最上川、最上川水系の立谷沢川、京田川、藤島川、赤川水系の赤川、大山川等の河川が貫流している。東部から南部にかけては、磐梯朝日国立公園に指定されている羽黒山、月山、湯殿山からなる出羽三山、朝日連峰、摩耶山系の山岳丘陵地帯である。西部は日本海に面して長い磯浜が形成されている。</p> <p>圏域を構成する鶴岡市、三川町、庄内町は、寛文四年（1664年）に田川郡として一つの区域になるなど、昔から生活・経済・文化を一にする圏域として密接な関係を有している。</p> <p>圏域の人口は15万人であり、面積は1594平方キロメートルと山形県全体のそれぞれ14.1%、17.1%を占める。庄内空港、山形自動車道、日本海東北自動車道、羽越本線など、各高速交通網の整備が進んでいるが、一層の整備充実が望まれる。</p> <p>近年は、こうした交通網の整備等により、圏域住民の交流は活発化しており、通勤・通学や買い物、医療・福祉など日常生活の結びつきはますます強まっている。その一方で、地方全体の傾向として少子高齢化を伴った人口減少が進んでおり、当圏域も例外でない状況にある。</p> <p>今後は、さらに圏域で連携協力し、住民が安心して暮らせる生活基盤を確保し、魅力ある地域づくりを進め、定住環境を整えていく必要がある。</p> <p><b>【構成市町の概況】</b> <b>鶴岡市</b></p> <p>鶴岡市は、江戸初期に庄内藩14万石を領有した酒井家の城下町として発達し、本圏域における行政機能の中核を担い、文化の薫り高いまちを形成してきた。</p> <p>現在は、平成17年10月の市町村合併を経て東北一広い行政面積を有し、四季折々の豊かな自然のなか、農林水産業を基幹とした産業を営み、鶴岡、藤島、羽黒、</p>

旧	新
<p data-bbox="83 142 142 170">P 2</p> <p data-bbox="201 205 1368 281">櫛引、朝日、温海の各地域の多彩な特性を反映した様々な伝統文化や生活文化を築いている。</p> <p data-bbox="231 300 1368 470">近年は、高速交通基盤の整備や高等教育機関の集積など、将来の発展に不可欠な基盤整備が進む一方、市域における安全安心な生活環境の整備、高等教育機関の活動と連携した産業振興や人材育成、広大な森林資源のもたらす恵み豊かな自然との共生の取組み、食をはじめ地域の歴史や文化を活かした活動などを力強く展開している。</p> <p data-bbox="231 489 1368 617">鶴岡市は、庄内の中心的都市として、真の豊かさを求める新しい時代にふさわしい、人と暮らしと自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる地域の創造に努めている。</p> <p data-bbox="231 678 320 705"><b>三川町</b></p> <p data-bbox="231 724 1368 800">三川町は、庄内平野のほぼ中央、鶴岡市の北部に隣接する純農村地域にあって、永く稲作を中心とした農業に支えられ豊かな農村文化を育んできた。</p> <p data-bbox="231 819 1368 989">現在は、農業を基幹産業にする一方、国道7号三川バイパスなどの国県道が縦横断し、庄内空港や高速道路インターチェンジに接する交通の要衝の地として、また、県総合支庁や消防学校、地方卸売市場や大規模商業施設など、行政や経済物流の機能が集積する町として、庄内圏域での役割を担っている。</p> <p data-bbox="231 1008 1368 1083">豊かな田園風景と赤川・藤島川、大山川の三つの河川に象徴される三川町は、人と環境と産業が真に調和した元気あふれるまちづくりに努めている。</p> <p data-bbox="231 1144 320 1171"><b>庄内町</b></p> <p data-bbox="231 1190 1368 1360">庄内町は、旧余目町と旧立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要衝であり、今後は最上地域とを結ぶ高速交通網の整備も期待されている。</p> <p data-bbox="231 1379 1368 1507">霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取組みを展開している。</p> <p data-bbox="231 1526 1368 1696">現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉及び教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつづきたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。</p>	<p data-bbox="1519 142 1578 170">P 2</p> <p data-bbox="1662 191 2798 266">櫛引、朝日、温海の各地域の多彩な特性を反映した様々な伝統文化や生活文化を築いている。</p> <p data-bbox="1662 285 2798 455">近年は、高速交通基盤の整備や高等教育機関の集積など、将来の発展に不可欠な基盤整備が進む一方、市域における安全安心な生活環境の整備、高等教育機関の活動と連携した産業振興や人材育成、広大な森林資源のもたらす恵み豊かな自然との共生の取組み、食をはじめ地域の歴史や文化を活かした活動などを力強く展開している。</p> <p data-bbox="1662 474 2798 602">鶴岡市は、庄内の中心的都市として、真の豊かさを求める新しい時代にふさわしい、人と暮らしと自然がいきいきと輝く、持続可能な希望あふれる地域の創造に努めている。</p> <p data-bbox="1662 663 1751 690"><b>三川町</b></p> <p data-bbox="1662 709 2798 785">三川町は、庄内平野のほぼ中央、鶴岡市の北部に隣接する純農村地域にあって、永く稲作を中心とした農業に支えられ豊かな農村文化を育んできた。</p> <p data-bbox="1662 804 2798 974">現在は、農業を基幹産業にする一方、国道7号三川バイパスなどの国県道が縦横断し、庄内空港や高速道路インターチェンジに接する交通の要衝の地として、また、県総合支庁や消防学校、地方卸売市場や大規模商業施設など、行政や経済物流の機能が集積する町として、庄内圏域での役割を担っている。</p> <p data-bbox="1662 993 2798 1068">豊かな田園風景と赤川・藤島川、大山川の三つの河川に象徴される三川町は、人と環境と産業が真に調和した元気あふれるまちづくりに努めている。</p> <p data-bbox="1662 1129 1751 1157"><b>庄内町</b></p> <p data-bbox="1662 1176 2798 1346">庄内町は、旧余目町と旧立川町の合併により、平成の大合併としては県内で初めての自治体として、平成17年7月1日に誕生した。地理的には庄内地域のほぼ中央に位置する交通の要衝であり、今後は最上地域とを結ぶ高速交通網の整備も期待されている。</p> <p data-bbox="1662 1365 2798 1493">霊峰月山の頂を有し、清流立谷沢川と最上川、そしてその恩恵を預かる肥沃な田園地帯が広がる豊かな自然に恵まれた地域であり、風力発電事業をはじめとした自然エネルギーの利活用等、地域資源を活かし自然と調和した取組みを展開している。</p> <p data-bbox="1662 1512 2798 1682">現在は、「子育て応援日本一の町づくり宣言」によるきめ細やかな子育て支援策や、若者の定住促進施策を充実させるとともに、産業振興、高齢者福祉及び教育施策の充実を図り、「日本一住みやすく住みつづきたい町」の実現に向けたまちづくりを進めている。</p>

<庄内南部定住自立圏における将来推計人口等>

1 総人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(単位:人 下段は対前期比増減率)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	149,509	147,546	142,384	136,623	129,652	122,347	113,800	105,651	97,494	89,194
		-1.3%	-3.5%	-4.0%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.7%	-8.5%
三川町	8,188	7,879	8,003	7,731	7,728	7,601	7,168	6,745	6,321	5,869
		-3.8%	1.6%	-3.4%	0.0%	-1.6%	-5.7%	-5.9%	-6.3%	-7.2%
庄内町	26,251	25,489	24,677	23,158	21,666	20,151	18,560	17,049	15,588	14,121
		-2.9%	-3.2%	-6.2%	-6.4%	-7.0%	-7.9%	-8.1%	-8.6%	-9.4%
圏域合計	183,948	180,914	175,064	167,512	159,046	150,099	139,528	129,445	119,403	109,184
		-1.6%	-3.2%	-4.3%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.8%	-8.6%

2 年少・高齢人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(上段:年少人口割合/下段:高齢人口割合)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	16.8%	15.2%	13.8%	12.8%	11.8%	11.0%	10.5%	10.1%	9.6%	9.3%
	20.5%	23.7%	26.4%	28.7%	31.9%	35.1%	37.4%	39.2%	40.6%	43.1%
三川町	16.2%	14.9%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.1%	12.5%	12.0%	11.7%
	22.3%	25.9%	29.6%	30.7%	33.1%	35.0%	37.7%	38.4%	38.8%	40.1%
庄内町	16.2%	14.8%	13.8%	12.8%	11.6%	10.7%	10.1%	9.8%	9.4%	9.2%
	21.3%	25.1%	28.4%	30.6%	34.2%	37.6%	40.0%	41.8%	43.0%	44.5%
圏域合計	16.7%	15.1%	13.8%	12.8%	11.9%	11.1%	10.6%	10.2%	9.7%	9.4%
	20.7%	24.0%	26.9%	29.1%	32.2%	35.5%	37.8%	39.5%	40.9%	43.1%

3 圏域内の通勤通学者の動向 (単位:人、下段は通勤通学割合)

	鶴岡市へ	三川町へ	庄内町へ	通勤通学者の総数	圏域内の他市町へ
鶴岡市	52,339	1,625	773	59,720	4.0%
	87.6%	2.7%	1.3%		
三川町	1,587	1,017	147	3,410	50.9%
	46.5%	29.8%	4.3%		
庄内町	2,259	448	3,737	9,823	27.6%
	23.0%	4.6%	38.0%		

資料:1、2については令和2年国勢調査より算出(ただし、社人研推計ベースの令和7年以降は平成27年国勢調査の実績により推計)、3については平成27年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない

<庄内南部定住自立圏における将来推計人口等>

1 総人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(単位:人 下段は対前期比増減率)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	149,509	147,546	142,384	136,623	129,652	122,347	113,800	105,651	97,494	89,194
		-1.3%	-3.5%	-4.0%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.7%	-8.5%
三川町	8,188	7,879	8,003	7,731	7,728	7,601	7,168	6,745	6,321	5,869
		-3.8%	1.6%	-3.4%	0.0%	-1.6%	-5.7%	-5.9%	-6.3%	-7.2%
庄内町	26,251	25,489	24,677	23,158	21,666	20,151	18,560	17,049	15,588	14,121
		-2.9%	-3.2%	-6.2%	-6.4%	-7.0%	-7.9%	-8.1%	-8.6%	-9.4%
圏域合計	183,948	180,914	175,064	167,512	159,046	150,099	139,528	129,445	119,403	109,184
		-1.6%	-3.2%	-4.3%	-5.1%	-5.6%	-7.0%	-7.2%	-7.8%	-8.6%

2 年少・高齢人口推移及び推計(国勢調査実績+国立社会保障・人口問題研究所推計値)

(上段:年少人口割合/下段:高齢人口割合)

	国勢調査実績						推計値(社人研推計ベース)			
	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年	令和7年	令和12年	令和17年	令和22年
鶴岡市	16.8%	15.2%	13.8%	12.8%	11.8%	11.0%	10.5%	10.1%	9.6%	9.3%
	20.5%	23.7%	26.4%	28.7%	31.9%	35.1%	37.4%	39.2%	40.6%	43.1%
三川町	16.2%	14.9%	13.7%	12.9%	13.0%	13.1%	13.1%	12.5%	12.0%	11.7%
	22.3%	25.9%	29.6%	30.7%	33.1%	35.0%	37.7%	38.4%	38.8%	40.1%
庄内町	16.2%	14.8%	13.8%	12.8%	11.6%	10.7%	10.1%	9.8%	9.4%	9.2%
	21.3%	25.1%	28.4%	30.6%	34.2%	37.6%	40.0%	41.8%	43.0%	44.5%
圏域合計	16.7%	15.1%	13.8%	12.8%	11.9%	11.1%	10.6%	10.2%	9.7%	9.4%
	20.7%	24.0%	26.9%	29.1%	32.2%	35.5%	37.8%	39.5%	40.9%	43.1%

3 圏域内の通勤通学者の動向 (単位:人、下段は通勤通学割合)

	鶴岡市へ	三川町へ	庄内町へ	通勤通学者の総数	圏域内の他市町へ
鶴岡市	57,322	1,806	801	64,715	4.0%
	88.6%	2.8%	1.2%		
三川町	1,616	1,495	131	3,960	44.1%
	40.8%	37.8%	3.3%		
庄内町	2,214	432	4,901	10,837	24.4%
	20.4%	4.0%	45.2%		

資料:令和2年国勢調査より算出 通勤通学者の総数に自宅就業者を含まない

旧	新
<p>P 4</p> <p><b>(2) 圏域の将来像</b></p> <p>我が国では、人口減少と少子高齢化が進行し、産業・経済のグローバル化、国民生活やニーズの多様化などが相まって、従来の社会構造に著しい変化が生じている。</p> <p>特に、地方においては、依然として若年層を中心とした転出超過に歯止めがかからず、労働人口の減少、地域経済の停滞など、地域社会を取り巻く環境はさらに厳しさを増すとともに、地方自治体では、新しい時代の多様化する行政ニーズに応えるため、効率的な行財政運営のもと、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが求められている。</p> <p>庄内南部地域の鶴岡市、三川町、庄内町は、昔から生活・経済・文化などを一にする圏域として密接な関係を有し、これまでも各般の行政推進において多様な連携・協力を図ってきた。しかし、圏域全体の人口減少、少子高齢化が進み、活力低下が懸念されるなかにおいては、今後も連携・協力を深め、必要な生活基盤を確保しつつ魅力ある地域づくりを進める必要がある。</p> <p>本市は、三川町、庄内町とともに、平成25年3月に「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として、都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を活かした地域づくりと、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、圏域全体として定住環境の整備にこれからも努めていく。</p> <p>今後とも、市民、地域、行政が互いに協働し、さらに3市町の連携・協力による総合的な力の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限に活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。</p> <p><b>(3) 圏域人口等の将来展望</b></p> <p>前頁資料のとおり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、圏域の人口は今後も減少の一途をたどり、令和22年には11万人を下回るものと予測されている。また、同年には、圏域全体で、年少人口割合が10%を下回るなか、高齢人口割合は40%を超え、少子高齢化が著しく進行すると予測されている。</p> <p>将来の人口減少や少子高齢化に備えながら、持続可能な圏域の形成を図るためには、自然動態と社会動態の両面に対する取組が必要不可欠となる。</p> <p>このため、各市町においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組を着実に進めるとともに、圏域全体においては、以下の中長期的な指標を設定し、庄内南部定住自立圏形成協定に基づく子育て環境の充実や生活基盤の強化など、人口動態の改良等に向けた取組を推進するものとする。</p> <p>なお、中長期の指標の設定にあたっては、国や県における目標、並びに構成市町の人口ビジョンを踏まえるものとする。</p>	<p>P 4</p> <p><b>(2) 圏域の将来像</b></p> <p>我が国では、人口減少と少子高齢化が進行し、産業・経済のグローバル化、国民生活やニーズの多様化などが相まって、従来の社会構造に著しい変化が生じている。</p> <p>特に、地方においては、依然として若年層を中心とした転出超過に歯止めがかからず、労働人口の減少、地域経済の停滞など、地域社会を取り巻く環境はさらに厳しさを増すとともに、地方自治体では、新しい時代の多様化する行政ニーズに応えるため、効率的な行財政運営のもと、地域の実情に応じた自主的・自立的な地域づくりを進めることが求められている。</p> <p>庄内南部地域の鶴岡市、三川町、庄内町は、昔から生活・経済・文化などを一にする圏域として密接な関係を有し、これまでも各般の行政推進において多様な連携・協力を図ってきた。しかし、圏域全体の人口減少、少子高齢化が進み、活力低下が懸念されるなかにおいては、今後も連携・協力を深め、必要な生活基盤を確保しつつ魅力ある地域づくりを進める必要がある。</p> <p>本市は、三川町、庄内町とともに、平成25年3月に「庄内南部定住自立圏」を形成し、その中心市として、都市機能の充実を図るとともに、1市2町それぞれの特性を活かした地域づくりと、人々が将来にわたって安心して暮らし続けることができるよう、圏域全体として定住環境の整備にこれからも努めていく。</p> <p>今後とも、市民、地域、行政が互いに協働し、さらに3市町の連携・協力による総合的な力の発揮に努め、豊かな自然環境や優れた地域資源など各地域の特性を最大限に活かし、安心して暮らせる生活環境の整備と地域活力の向上を図り、持続可能な希望あふれる圏域を形成することをめざすものである。</p> <p><b>(3) 圏域人口等の将来展望</b></p> <p>前頁資料のとおり、国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、圏域の人口は今後も減少の一途をたどり、令和22年には11万人を下回るものと予測されている。また、同年には、圏域全体で、年少人口割合が10%を下回るなか、高齢人口割合は40%を超え、少子高齢化が著しく進行すると予測されている。</p> <p>将来の人口減少や少子高齢化に備えながら、持続可能な圏域の形成を図るためには、自然動態と社会動態の両面に対する取組が必要不可欠となる。</p> <p>このため、各市町においては、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の取組を着実に進めるとともに、圏域全体においては、以下の中長期的な指標を設定し、庄内南部定住自立圏形成協定に基づく子育て環境の充実や生活基盤の強化など、人口動態の改良等に向けた取組を推進するものとする。</p> <p>なお、中長期の指標の設定にあたっては、国や県における目標、並びに構成市町の人口ビジョンを踏まえるものとする。</p>

旧

P 5

〈圏域全体における指標〉

項目	平成27年実数	令和2年実数	令和7年目標値	令和22年目標値
圏域人口	159,046人	150,099人	141,922人	127,154人
高齢化率	32.2%	35.5%	36.9%	38.3%
合計特殊出生率	鶴岡市 1.59 三川町 2.17 庄内町 1.36	鶴岡市 1.41 三川町 1.69 庄内町 1.22	鶴岡市 1.73 三川町 1.68 庄内町 1.80	2.07

(4) 市町の役割分担

鶴岡市

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する三川町・庄内町

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

平成30年度から令和4年度までの5年間とする。  
ただし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

新

P 5

〈圏域全体における指標〉

項目	令和2年実数	令和7年目標値	令和12年目標値	令和22年目標値
圏域人口	150,099人	142,511人	136,181人	127,880人
高齢化率	35.5%	36.9%	37.7%	38.2%
合計特殊出生率	鶴岡市 1.41 三川町 1.69 庄内町 1.61	鶴岡市 1.73 三川町 2.13 庄内町 1.61	鶴岡市 1.84 三川町 2.12 庄内町 1.80	2.07 <small>※国で示している目標値</small>

(4) 市町の役割分担

鶴岡市

定住に必要な都市機能の整備・提供や生活機能の確保・充実に努めるとともに、地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域全体の活性化と圏域住民が安心して暮らせる魅力ある圏域の形成を図る。

連携する三川町・庄内町

生活機能の確保・充実に努めるとともに、それぞれが有する地域資源を活かした振興策に取り組み、圏域の魅力づくりと一体感の醸成に向け、それぞれが役割を果たす。

3 定住自立圏共生ビジョンの期間

令和5年度から令和9年度までの5年間とする。  
ただし、毎年度所要の見直しを行うものとする。

4 新型コロナウイルス感染症対策

庄内南部定住自立圏共生ビジョン（第3次）に掲載する事業については、新型コロナウイルス感染症対策を適切に講じ、実施するものとする。

旧																																																																																																																																																																												
P 6	<p>4 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組</p> <p>(1) 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>① 医療</p> <p>ア 医師等の確保対策の充実</p> <p>圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院は、地域に根ざした急性期病院、また救急医療・高度医療の中核として、鶴岡地区医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し圏域全体の医療の充実に貢献しているが、医師不足の解消が課題であり、圏域で連携・協力して説明会や情報収集・発信等様々な確保対策を講じる。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="8">医師等の確保対策事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="8">鶴岡市、三川町、庄内町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="8">医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を検討し、看護師の養成・確保に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="8">研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医学生への修学資金の貸与</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>オープンホスピタルの開催</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>病院説明会への参加</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>臨床実習医学生の受入れ</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>医師・医学生への働き掛け</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>医師公舎の管理運営委託</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>荘内看護専門学校の検討整備</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込(千円)</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>35,000</td> <td>29,000</td> <td>31,300</td> <td>38,300</td> <td>30,721</td> <td>111,946</td> <td>241,267</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標(KPI)</td> <td rowspan="2">荘内病院医師数</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">70人 (平成29年度末)</td> <td colspan="3">75人</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="8">-</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="8"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul> </td> </tr> </table>	取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。	甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。	乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。	事業名	医師等の確保対策事業								関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								事業内容	医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を検討し、看護師の養成・確保に取り組む。								期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。								実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4		医学生への修学資金の貸与	→							オープンホスピタルの開催	→							病院説明会への参加	→							臨床実習医学生の受入れ	→							医師・医学生への働き掛け	→							医師公舎の管理運営委託	→							荘内看護専門学校の検討整備	→							事業費見込(千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	鶴岡市	35,000	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267	三川町								庄内町								重要業績評価指標(KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)			目標			70人 (平成29年度末)			75人			活用を想定する補助制度	-								役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>							
取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。																																																																																																																																																																											
甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。																																																																																																																																																																											
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。																																																																																																																																																																											
事業名	医師等の確保対策事業																																																																																																																																																																											
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																																																																																																																																																											
事業内容	医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を検討し、看護師の養成・確保に取り組む。																																																																																																																																																																											
期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。																																																																																																																																																																											
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4																																																																																																																																																																					
	医学生への修学資金の貸与	→																																																																																																																																																																										
	オープンホスピタルの開催	→																																																																																																																																																																										
	病院説明会への参加	→																																																																																																																																																																										
	臨床実習医学生の受入れ	→																																																																																																																																																																										
	医師・医学生への働き掛け	→																																																																																																																																																																										
	医師公舎の管理運営委託	→																																																																																																																																																																										
	荘内看護専門学校の検討整備	→																																																																																																																																																																										
事業費見込(千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																																																																																																																																					
	鶴岡市	35,000	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267																																																																																																																																																																				
	三川町																																																																																																																																																																											
	庄内町																																																																																																																																																																											
重要業績評価指標(KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)			目標																																																																																																																																																																							
		70人 (平成29年度末)			75人																																																																																																																																																																							
活用を想定する補助制度	-																																																																																																																																																																											
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>																																																																																																																																																																											

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

新																																																																																																																																																																												
P 6	<p>5 定住自立圏形成協定に基づき推進する具体的取組</p> <p>(1) 生活機能の強化に係る政策分野</p> <p>① 医療</p> <p>ア 医師等の確保対策の充実</p> <p>圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院は、地域に根ざした急性期病院、また救急医療・高度医療の中核として、鶴岡地区医師会、歯科医師会、薬剤師会などと連携し圏域全体の医療の充実に貢献しているが、医師不足の解消が課題であり、圏域で連携・協力して説明会や情報収集・発信等様々な確保対策を講じる。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="8">医師等の確保対策事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="8">鶴岡市、三川町、庄内町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="8">医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を令和7年4月の開校に向けて事業をすすめ、看護師の養成・確保に取り組む。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="8">研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="8">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医学生への修学資金の貸与</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>オープンホスピタルの開催</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>病院説明会への参加</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>臨床実習医学生の受入れ</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>医師・医学生への働き掛け</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>医師公舎の管理運営委託</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td>荘内看護専門学校の整備</td> <td colspan="7">→</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込(千円)</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>111,946</td> <td>402,846</td> <td>703,646</td> <td>89,246</td> <td>46,246</td> <td>52,246</td> <td>1,294,230</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標(KPI)</td> <td rowspan="2">荘内病院医師数</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">72人 (令和3年度末)</td> <td colspan="3">75人</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="8">-</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="8"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul> </td> </tr> </table>	取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。	甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。	乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。	事業名	医師等の確保対策事業								関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								事業内容	医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を令和7年4月の開校に向けて事業をすすめ、看護師の養成・確保に取り組む。								期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。								実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		医学生への修学資金の貸与	→							オープンホスピタルの開催	→							病院説明会への参加	→							臨床実習医学生の受入れ	→							医師・医学生への働き掛け	→							医師公舎の管理運営委託	→							荘内看護専門学校の整備	→							事業費見込(千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	鶴岡市	111,946	402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230	三川町								庄内町								重要業績評価指標(KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)			目標			72人 (令和3年度末)			75人			活用を想定する補助制度	-								役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>							
取組の内容	圏域の基幹病院である鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けて、甲が実施・参加する取組に対し、乙も連携・協力して取組を推進し、圏域の医療体制の安定・充実に図る。																																																																																																																																																																											
甲(鶴岡市)の役割	甲が実施・参加する鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組について、乙の情報も活用しながら実施する。																																																																																																																																																																											
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携し、鶴岡市立荘内病院の医師等の確保に向けた取組に協力する。																																																																																																																																																																											
事業名	医師等の確保対策事業																																																																																																																																																																											
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																																																																																																																																																											
事業内容	医学生に対する修学資金の貸与や高校生を対象としたオープンホスピタル事業、研修医確保に向けた病院説明会(山形、東京など)への参加、診療参加型臨床実習医学生の受入れ、当地域出身者で県外に勤務する医師や当地域出身の医学生に対する勧誘、新潟大学・山形大学医学部等への働き掛けなどにより医師確保を図っていく。老朽化した荘内看護専門学校の整備を令和7年4月の開校に向けて事業をすすめ、看護師の養成・確保に取り組む。																																																																																																																																																																											
期待される効果	研修医や医師の確保に一定の効果が見込まれるとともに、オープンホスピタル事業を通じて医学部進学をめざす生徒の増加が期待できる。																																																																																																																																																																											
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																																																					
	医学生への修学資金の貸与	→																																																																																																																																																																										
	オープンホスピタルの開催	→																																																																																																																																																																										
	病院説明会への参加	→																																																																																																																																																																										
	臨床実習医学生の受入れ	→																																																																																																																																																																										
	医師・医学生への働き掛け	→																																																																																																																																																																										
	医師公舎の管理運営委託	→																																																																																																																																																																										
	荘内看護専門学校の整備	→																																																																																																																																																																										
事業費見込(千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計																																																																																																																																																																					
	鶴岡市	111,946	402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230																																																																																																																																																																				
	三川町																																																																																																																																																																											
	庄内町																																																																																																																																																																											
重要業績評価指標(KPI)	荘内病院医師数	現状値(調査時点)			目標																																																																																																																																																																							
		72人 (令和3年度末)			75人																																																																																																																																																																							
活用を想定する補助制度	-																																																																																																																																																																											
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市(荘内病院)が主体的に取組を行う。</li> <li>・三川町と庄内町は、医師確保に向けた情報提供・情報発信を行う。</li> </ul>																																																																																																																																																																											

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

旧								
P 7								
イ 休日及び夜間における診療体制の充実								
鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の住民が安心して利用できる初期救急医療施設として、適切な利用と利用者拡大のため、機能充実と普及啓発の取組みを行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の診療体制の充実を図るため、休日及び夜間における初期救急医療体制の確立を目的に甲が開設する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所(以下「休日夜間診療所等」という。)の機能の充実に努めるとともに、圏域内の住民の利用に関する普及啓発を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	休日夜間診療所等について、関係機関と連携・調整を行い円滑な運営を図るとともに、乙と協議しながら機能の充実に努める。 甲の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	休日及び夜間における診療体制の充実							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	関係市町及び医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日夜間診療所等の利用に関するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、普及啓発活動を行う。							
期待される効果	圏域全体として、利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	普及啓発活動の実施	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	40	30	30	30	30	30	150
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		8,891 人 (平成 28 年度)			現状維持			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町及び医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。 ・各市町は共同して住民に対する普及啓発活動を行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 7								
イ 休日及び夜間における診療体制の充実								
鶴岡市が設置する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所について、圏域内の住民が安心して利用できる初期救急医療施設として、適切な利用と利用者拡大のため、機能充実と普及啓発の取組みを行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の診療体制の充実を図るため、休日及び夜間における初期救急医療体制の確立を目的に甲が開設する鶴岡市休日夜間診療所及び鶴岡市休日歯科診療所(以下「休日夜間診療所等」という。)の機能の充実に努めるとともに、圏域内の住民の利用に関する普及啓発を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	休日夜間診療所等について、関係機関と連携・調整を行い円滑な運営を図るとともに、乙と協議しながら機能の充実に努める。 甲の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対し、休日及び夜間における初期救急医療の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	休日及び夜間における診療体制の充実							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	関係市町及び医療関係団体並びに各種メディアを通じて、休日夜間診療所等の利用に関するパンフレットの配布やポスターの掲示等により、普及啓発活動を行う。							
期待される効果	圏域全体として、利用者の利便性向上と初期救急医療体制の確立が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	普及啓発活動の実施	→						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	40	30	30	30	30	30	150
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		1,226 人(令和 3 年度)			現状維持			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町及び医療関係団体並びに各種メディアとの連絡調整を担当する。 ・各市町は共同して住民に対する普及啓発活動を行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧																																																																																																																																
P 8																																																																																																																																
<p><b>ウ がん緩和ケアの充実</b></p> <p>鶴岡市が設置する「緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川」を鶴岡市と三川町が継続して運営し、講座や講演会等の啓発活動や医療福祉関係者の研修等とおし、2市町が連携してがん緩和ケアの普及啓発を推進する。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町)の役割</td> <td>乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="7">南庄内がん緩和ケアの拡充</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="7">鶴岡市、三川町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="7">地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="7">圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>啓発事業(講座・出張講演会)</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td>スキルアップ研修会の開催</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td>医療と福祉の連携事業</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費見込 (千円)</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>18,250</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標(KPI)</td> <td rowspan="2">PCT 相談依頼件数</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">90件 (平成30年度)</td> <td colspan="3">150件</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="7">—</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="8">事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。	甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。	乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。	事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充							関係市町名	鶴岡市、三川町							事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。							期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。							実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	啓発事業(講座・出張講演会)	→						スキルアップ研修会の開催	→						医療と福祉の連携事業	→						事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250	三川町	600	600	600	600	600	3,000	重要業績評価指標(KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)			目 標			90件 (平成30年度)			150件			活用を想定する補助制度	—							役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>							事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							
取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。																																																																																																																															
甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。																																																																																																																															
乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。																																																																																																																															
事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充																																																																																																																															
関係市町名	鶴岡市、三川町																																																																																																																															
事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。																																																																																																																															
期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。																																																																																																																															
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4																																																																																																																									
	啓発事業(講座・出張講演会)	→																																																																																																																														
	スキルアップ研修会の開催	→																																																																																																																														
	医療と福祉の連携事業	→																																																																																																																														
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																																																																																									
	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250																																																																																																																									
	三川町	600	600	600	600	600	3,000																																																																																																																									
重要業績評価指標(KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																											
		90件 (平成30年度)			150件																																																																																																																											
活用を想定する補助制度	—																																																																																																																															
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>																																																																																																																															
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																

新																																																																																																																																
P 8																																																																																																																																
<p><b>ウ がん緩和ケアの充実</b></p> <p>鶴岡市が設置する「緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川」を鶴岡市と三川町が継続して運営し、講座や講演会等の啓発活動や医療福祉関係者の研修等とおし、2市町が連携してがん緩和ケアの普及啓発を推進する。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町)の役割</td> <td>乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="7">南庄内がん緩和ケアの拡充</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="7">鶴岡市、三川町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="7">地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="7">圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> </tr> <tr> <td>啓発事業(講座・出張講演会)</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td>スキルアップ研修会の開催</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td>医療と福祉の連携事業</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費見込 (千円)</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>3,650</td> <td>18,250</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>600</td> <td>3,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標(KPI)</td> <td rowspan="2">PCT 相談依頼件数</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">149件 (令和3年度)</td> <td colspan="3">150件</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="7">—</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="8">事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。	甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。	乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。	事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充							関係市町名	鶴岡市、三川町							事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。							期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。							実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	啓発事業(講座・出張講演会)	→						スキルアップ研修会の開催	→						医療と福祉の連携事業	→						事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250	三川町	600	600	600	600	600	3,000	重要業績評価指標(KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)			目 標			149件 (令和3年度)			150件			活用を想定する補助制度	—							役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>							事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							
取組の内容	がん緩和ケアの充実を図るため、甲が設置する緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川について、甲及び乙の住民が活発に利用できるよう、連携して緩和ケアの普及啓発を推進するとともに、がん患者とその家族の生活の質を向上する取組を展開する。																																																																																																																															
甲(鶴岡市)の役割	緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川を継続して運営するとともに、関係する医療・福祉・行政機関で組織する南庄内緩和ケア推進協議会を、乙と協議しながら運営する。																																																																																																																															
乙(三川町)の役割	乙の住民に対して緩和ケアサポートセンター鶴岡・三川の利用に関する普及啓発活動を行う。 南庄内緩和ケア推進協議会への参加と運営への協力を行う。																																																																																																																															
事業名	南庄内がん緩和ケアの拡充																																																																																																																															
関係市町名	鶴岡市、三川町																																																																																																																															
事業内容	地域住民を対象に公開講座や出張講演会等の啓発活動を実施し、医療福祉関係者のスキルアップ研修会と連携促進の事業を展開する。																																																																																																																															
期待される効果	圏域全体として、がん患者とその家族のQOLの向上と、関係する医療・福祉従事者のスキルアップが見込まれる。																																																																																																																															
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																									
	啓発事業(講座・出張講演会)	→																																																																																																																														
	スキルアップ研修会の開催	→																																																																																																																														
	医療と福祉の連携事業	→																																																																																																																														
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計																																																																																																																									
	鶴岡市	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250																																																																																																																									
	三川町	600	600	600	600	600	3,000																																																																																																																									
重要業績評価指標(KPI)	PCT 相談依頼件数	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																											
		149件 (令和3年度)			150件																																																																																																																											
活用を想定する補助制度	—																																																																																																																															
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行なう。</li> <li>・南庄内緩和ケア推進協議会の活動負担金拠出及び委員の選出をそれぞれ行う。</li> </ul>																																																																																																																															
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																

旧																																																																																																																																																
P 9																																																																																																																																																
<p><b>エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大</b></p> <p>がんの早期発見・早期治療に有効な検診について、圏域の住民の生命を守り健康寿命の延伸を図るため、圏域で連携・協力して受診の啓発活動を行い、がん検診受診率の向上をめざす。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>上記甲の取組について、甲と連携して実施する。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="8">がん検診受診向上対策啓発事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="8">鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="8">市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーンを実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="8">圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> <td></td> </tr> <tr> <td>啓発事業(キャンペーン等)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td>職域の実態調査・受診勧奨</td> <td>→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込 (千円)</td> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>227</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>30</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>29</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>16</td> <td>14</td> <td>30</td> <td>98</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>44</td> <td>10</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>15</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標 (KPI)</td> <td rowspan="2">各がん検診受診率</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="4">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">平成28年度受診率 (子宮 20~69 歳) 30~50%台</td> <td colspan="4">現状値以上</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="8">—</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="8"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="9">事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。	甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。	乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。	事業名	がん検診受診向上対策啓発事業								関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。								事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーンを実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。								期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。								実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4		啓発事業(キャンペーン等)	→	→	→	→	→	→	→	職域の実態調査・受診勧奨	→							事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	鶴岡市	227	19	19	16	14	30	98	三川町	29	19	19	16	14	30	98	庄内町	44	10	10	8	7	15	50	重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標				平成28年度受診率 (子宮 20~69 歳) 30~50%台			現状値以上				活用を想定する補助制度	—								役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>								事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								
取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。																																																																																																																																															
甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。																																																																																																																																															
乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。																																																																																																																																															
事業名	がん検診受診向上対策啓発事業																																																																																																																																															
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。																																																																																																																																															
事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーンを実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。																																																																																																																																															
期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。																																																																																																																																															
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4																																																																																																																																									
	啓発事業(キャンペーン等)	→	→	→	→	→	→	→																																																																																																																																								
	職域の実態調査・受診勧奨	→																																																																																																																																														
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																																																																																																								
	鶴岡市	227	19	19	16	14	30	98																																																																																																																																								
	三川町	29	19	19	16	14	30	98																																																																																																																																								
	庄内町	44	10	10	8	7	15	50																																																																																																																																								
重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																																											
		平成28年度受診率 (子宮 20~69 歳) 30~50%台			現状値以上																																																																																																																																											
活用を想定する補助制度	—																																																																																																																																															
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>																																																																																																																																															
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																																

新																																																																																																																																																
P 9																																																																																																																																																
<p><b>エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大</b></p> <p>がんの早期発見・早期治療に有効な検診について、圏域の住民の生命を守り健康寿命の延伸を図るため、圏域で連携・協力して受診の啓発活動を行い、がん検診受診率の向上をめざす。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>上記甲の取組について、甲と連携して実施する。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="8">がん検診受診向上対策啓発事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="8">鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="8">市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーン等を実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="8">圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td></td> </tr> <tr> <td>啓発事業(キャンペーン等)</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> <td>→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込 (千円)</td> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>150</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>75</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標 (KPI)</td> <td rowspan="2">各がん検診受診率</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="4">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">令和3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%</td> <td colspan="4">現状値以上</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="8">—</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="8"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="9">事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。	甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。	乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。	事業名	がん検診受診向上対策啓発事業								関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。								事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーン等を実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。								期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。								実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		啓発事業(キャンペーン等)	→	→	→	→	→	→	→									事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	鶴岡市	30	30	30	30	30	30	150	三川町	30	30	30	30	30	30	150	庄内町	15	15	15	15	15	15	75	重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標				令和3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%			現状値以上				活用を想定する補助制度	—								役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>								事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								
取組の内容	がんから圏域の住民の生命・健康を守るため、甲及び乙が連携して、早期発見・早期治療に有効ながん検診の啓発活動を推進し、職域への受診向上のための取組等を行い、受診率の向上を目指す。																																																																																																																																															
甲(鶴岡市)の役割	職域に対する啓発のための広報活動や講演会の開催、職域の受診状況の実態調査や受診勧奨等について、乙と連携して取り組むとともに、その調整を図る。																																																																																																																																															
乙(三川町、庄内町)の役割	上記甲の取組について、甲と連携して実施する。																																																																																																																																															
事業名	がん検診受診向上対策啓発事業																																																																																																																																															
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町 ※尚、北部(酒田市・遊佐町・三川町・庄内町)定住自立圏との合同実施とする。																																																																																																																																															
事業内容	市・各町が一体的にがん検診及びがん予防の周知啓発を図るためのポスター・チラシの作成やがん検診受診啓発キャンペーン等を実施する。 経費については、総事業費を南部・北部で 1/2負担し、庄内町は南部・北部両方に負担金を納入し、全体負担割合は各市町1/5とする。																																																																																																																																															
期待される効果	圏域全体として受診率が向上し、早期発見・早期治療が推進され、健康寿命の延伸が期待される。																																																																																																																																															
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																																									
	啓発事業(キャンペーン等)	→	→	→	→	→	→	→																																																																																																																																								
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計																																																																																																																																								
	鶴岡市	30	30	30	30	30	30	150																																																																																																																																								
	三川町	30	30	30	30	30	30	150																																																																																																																																								
	庄内町	15	15	15	15	15	15	75																																																																																																																																								
重要業績評価指標 (KPI)	各がん検診受診率	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																																											
		令和3年度受診率 胃がん 31.3% 大腸がん 40.6% 肺がん 42.7% 乳がん 23.3% 子宮がん 33.0%			現状値以上																																																																																																																																											
活用を想定する補助制度	—																																																																																																																																															
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・啓発等に係る経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>																																																																																																																																															
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																																

旧								
P10								
② 福祉 ア 病児・病後児保育施設の相互利用								
圏域の各市町で実施している病児・病後児保育施設のサービスについて、圏域の子育て環境の充実に資するため各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実に資するため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労を支援する。							
甲(鶴岡市)の役割	甲において設置する病児・病後児保育施設を乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙において設置する病児・病後児保育施設を甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	病児・病後児保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	病児・病後児保育施設『カトレアキッズルーム』、『はなな』、『らっこルーム』、『にこっと』、『ほっと』が実施する病児・病後児保育について、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実に資する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	事業実施	→						
	運営体制の一部見直し・調整	→					→	
	事業の拡大・調整			→				
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	6,747	6,764	7,109	29,270	28,336	27,333	98,812
	三川町	10,940	15,532	15,897	15,897	15,640	16,513	79,479
	庄内町	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760
重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用延人数	現状値(調査時点)			目標			
		201人 (平成29年度)			150人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国1/3)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県1/3、市町1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>各施設の運営経費に対する委託料及び補助金は施設の所在市町が負担する。</li> <li>住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P10								
② 福祉 ア 病児・病後児保育施設の相互利用								
圏域の各市町で実施している病児・病後児保育施設のサービスについて、圏域の子育て環境の充実に資するため各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実に資するため、圏域内に設置されている病児・病後児保育施設について、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労を支援する。							
甲(鶴岡市)の役割	甲において設置する病児・病後児保育施設を乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙において設置する病児・病後児保育施設を甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の病児・病後児保育施設の利用に関する周知を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	病児・病後児保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	病児・病後児保育施設『カトレアキッズルーム』、『はなな』、『らっこルーム』、『にこっと』、『ほっと』が実施する病児・病後児保育について、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労を支援するとともに、安心して子育てできる環境の充実に資する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	27,333	23,611	23,611	23,611	23,611	23,611	118,055
	三川町	16,513	16,513	16,513	16,513	16,513	16,513	82,565
	庄内町	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760
重要業績評価指標 (KPI)	3市町相互利用延人数	現状値(調査時点)			目標			
		38人(令和3年度)			150人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国1/3)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県1/3、市町1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>各施設の運営経費に対する委託料及び補助金は施設の所在市町が負担する。</li> <li>住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧								
P 1 1								
イ 一時保育施設の相互利用								
圏域の認可保育所が実施している一時預かりについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の認可保育所が実施する一時預かりについて、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	甲の認可保育所が実施する一時預かりを乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の認可保育所が実施する一時預かりを甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	一時保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	各市町の認可保育所が実施する一時預かりについて、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	→						
	事業の拡大・調整			→				
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	22,125	23,869	27,058	31,191	35,647	45,253	163,018
	三川町	1,843	1,722	1,600	2,607	2,676	2,679	11,284
	庄内町	7,785	8,086	9,698	10,221	11,312	6,800	46,117
重要業績評価指標 (KPI)	3 市町相互利用 延人数	現状値(調査時点)			目 標			
		57 人 (平成 28 年度)			80 人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) ・一時預かり事業(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・各施設の運営経費に対する費用は施設の設置市町が負担する。</li> <li>・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 1 1								
イ 一時保育施設の相互利用								
圏域の認可保育所が実施している一時預かりについて、圏域の子育て環境の充実を図るため各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の認可保育所が実施する一時預かりについて、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整を行い、保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	甲の認可保育所が実施する一時預かりを乙の住民も利用できるようにするとともに、取組の調整を図る。 甲の住民に対して乙の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の認可保育所が実施する一時預かりを甲の住民も利用できるようにする。 乙の住民に対して甲の認可保育所が実施する一時預かりの利用に関する周知を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	一時保育施設の相互利用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	各市町の認可保育所が実施する一時預かりについて、市及び各町の住民が利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として保護者の就労支援及び育児負担の軽減を図るとともに、安心して子育てできる環境の充実が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	→						
	事業の拡大・調整							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	226,265
	三川町	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	13,395
	庄内町	6,800	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540
重要業績評価指標 (KPI)	3 市町相互利用 延人数	現状値(調査時点)			目 標			
		16 人(令和 3 年度) 【参考】82 人(平成 30 年度)			80 人			
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県) ・一時預かり事業(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・各施設の運営経費に対する費用は施設の設置市町が負担する。</li> <li>・住民への周知は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧								
P 1 2								
ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用								
圏域の各市町で実施している子育て支援センターの事業について、圏域の子育て環境の充実を図るため、各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、甲が設置する鶴岡市子ども家庭支援センターについて、甲及び乙の住民を対象に、子育て支援や育児発達相談等を展開する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市子ども家庭支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市子ども家庭支援センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市の子育て支援センターで実施する子育て支援事業や育児相談事業について、市以外の各町の住民も利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	400	416	490	498	300	573	2,277
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数 (なかよし広場利用者数及びあそびの広場参加者数)	現状値(調査時点)		目 標				
		13,807 人 (平成 29 年度)		13,000 人				
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県)(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>講座等に係る開催経費及び活動広報経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>住民への情報提供は各町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 1 2								
ウ 子育て支援センターの相互利用								
圏域の各市町で実施している子育て支援センターの事業について、圏域の子育て環境の充実を図るため、各市町の住民が相互に利用できるようにする。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の子育て環境の充実を図るため、圏域内の子育て支援センター事業について、甲及び乙の住民が相互に利用できるよう調整し、子育て支援や育児相談等を展開する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市子ども家庭支援センターで実施する育児相談、育児講座等の事業及び市内の地域子育て支援センターとの共催により実施する事業について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施するとともに、取組の調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙が設置する子育て支援センターの事業について、甲の住民も利用できるようにする。							
具体的な連携事業								
事業名	子育て支援センターの相互利用							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域の子育て支援センターで実施する子育て支援事業や育児相談事業について、甲及び乙の住民が相互に利用できるようにするとともに、各市町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体として、安心して子育てできる環境の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	573	800	800	800	800	800	4,000
	三川町	20,761	20,770	20,770	20,770	20,770	20,770	103,850
	庄内町	1,460	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	7,400
重要業績評価指標 (KPI)	施設の相互利用者数	現状値(調査時点)		目 標				
		9,700 人 (令和 3 年度) <small>※各市町の住民が、圏域内の他市町の施設を利用した人数の合算値</small>		10,000 人				
活用を想定する補助制度	子ども・子育て支援交付金(国)、山形県保育対策等促進事業費補助金(県)(国 1/3、県 1/3、市町 1/3)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>講座等事業に係る経費及び活動広報経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。 鶴岡市は直営のため人件費相当分を含んでいない。(三川町、庄内町は事業委託)								

旧									
P 1 3									
エ 介護認定審査事務の連携									
鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施し、介護保険事業の効率的な運営を図る。									
形成協定の内容									
取組の内容	介護保険事業の効率的運営を図るため、甲が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象として実施する。								
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、乙の住民の要介護認定審査事務を受託する。								
乙(三川町)の役割	甲に乙の住民の要介護認定審査事務を委託する。								
具体的な連携事業									
事業名	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象とするよう、乙は甲に事務を委託する。								
期待される効果	効率的な要介護認定審査事務が行われる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4		
	事業実施	→							
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計		
	鶴岡市	15,502	13,793	15,954	11,058	14,428	18,000	73,233	
	三川町	5,056	4,860	5,079	4,500	4,738	4,800	23,977	
重要業績評価指標 (KPI)	委託事務の達成率	現状値(調査時点)			目 標				
		100%			100%				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。								
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。									

新									
P 1 3									
エ 介護認定審査事務の連携									
鶴岡市が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、三川町の住民も対象として継続して実施し、介護保険事業の効率的な運営を図る。									
形成協定の内容									
取組の内容	介護保険事業の効率的運営を図るため、甲が設置する鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象として実施する。								
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務において、乙の住民の要介護認定審査事務を受託する。								
乙(三川町)の役割	甲に乙の住民の要介護認定審査事務を委託する。								
具体的な連携事業									
事業名	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務								
関係市町名	鶴岡市、三川町								
事業内容	鶴岡市介護認定審査会による要介護認定審査事務について、乙の住民も対象とするよう、乙は甲に事務を委託する。								
期待される効果	効率的な要介護認定審査事務が行われる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	事業実施	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	18,000	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	78,000	
	三川町	4,800	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	24,500	
重要業績評価指標 (KPI)	委託事務の達成率	現状値(調査時点)			目 標				
		100%			100%				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町の委託を受け、事務を行う。								
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。 鶴岡市事業費見込額に職員人件費は含まれていない。									

旧																																																																																																																																				
P 1 4																																																																																																																																				
<p><b>オ 老人福祉施設の広域利用</b></p> <p>圏域内の福祉体制の安定と充実を図るとともに、利用者の生活環境を改善するため、養護老人ホームの整備に努める。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、社会福祉法人が設置する養護老人ホームの整備事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>乙と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行うとともに、取組の調整を図る。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>甲と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行う。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="7">養護老人ホーム整備事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="7">鶴岡市、三川町、庄内町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="7">社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="7">新たな養護老人ホームの設置により、利用者の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R 1</td> <td>R 2</td> <td>R 3</td> <td>R 4</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム整備</td> <td colspan="2">→</td> <td colspan="2">→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込み (千円)</td> <td></td> <td>H29</td> <td>H30</td> <td>R1</td> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td></td> <td>912,000</td> <td></td> <td></td> <td>73,060</td> <td></td> <td>985,060</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td></td> <td>2,632</td> <td></td> <td></td> <td>1,993</td> <td></td> <td>4,625</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td></td> <td>7,379</td> <td></td> <td></td> <td>5,585</td> <td></td> <td>12,964</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標 (KPI)</td> <td rowspan="2">工事進捗状況</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">0% (R01.8月時点)</td> <td colspan="3">100% (R3年10月末)</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="7">県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡調整を行う。</li> <li>・整備支援に係る経費等については、各市町が応分の負担を行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="8">事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、社会福祉法人が設置する養護老人ホームの整備事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。	甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行うとともに、取組の調整を図る。	乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行う。	事業名	養護老人ホーム整備事業							関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							事業内容	社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する。							期待される効果	新たな養護老人ホームの設置により、利用者の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。							実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	養護老人ホーム整備	→		→											事業費見込み (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	鶴岡市		912,000			73,060		985,060	三川町		2,632			1,993		4,625	庄内町		7,379			5,585		12,964	重要業績評価指標 (KPI)	工事進捗状況	現状値(調査時点)			目 標			0% (R01.8月時点)			100% (R3年10月末)			活用を想定する補助制度	県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金							役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡調整を行う。</li> <li>・整備支援に係る経費等については、各市町が応分の負担を行う。</li> </ul>							事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							
取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、社会福祉法人が設置する養護老人ホームの整備事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。																																																																																																																																			
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行うとともに、取組の調整を図る。																																																																																																																																			
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、養護老人ホームの整備を行う社会福祉法人に対し支援を行う。																																																																																																																																			
事業名	養護老人ホーム整備事業																																																																																																																																			
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																																																																																																																			
事業内容	社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する。																																																																																																																																			
期待される効果	新たな養護老人ホームの設置により、利用者の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。																																																																																																																																			
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4																																																																																																																													
	養護老人ホーム整備	→		→																																																																																																																																
事業費見込み (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計																																																																																																																												
	鶴岡市		912,000			73,060		985,060																																																																																																																												
	三川町		2,632			1,993		4,625																																																																																																																												
	庄内町		7,379			5,585		12,964																																																																																																																												
重要業績評価指標 (KPI)	工事進捗状況	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																															
		0% (R01.8月時点)			100% (R3年10月末)																																																																																																																															
活用を想定する補助制度	県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金																																																																																																																																			
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡調整を行う。</li> <li>・整備支援に係る経費等については、各市町が応分の負担を行う。</li> </ul>																																																																																																																																			
事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																				

新																																																																																																																																				
P 1 4																																																																																																																																				
<p><b>オ 老人福祉施設の広域利用</b></p> <p>圏域内の福祉体制の安定と充実を図るため、養護老人ホームの措置入所に努める。</p> <p><b>形成協定の内容</b></p> <table border="1"> <tr> <td>取組の内容</td> <td>圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、措置入所を行う。</td> </tr> <tr> <td>甲(鶴岡市)の役割</td> <td>乙及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。</td> </tr> <tr> <td>乙(三川町、庄内町)の役割</td> <td>甲及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。</td> </tr> </table> <p><b>具体的な連携事業</b></p> <table border="1"> <tr> <td>事業名</td> <td colspan="7">養護老人ホーム入所措置事業</td> </tr> <tr> <td>関係市町名</td> <td colspan="7">鶴岡市、三川町、庄内町</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td colspan="7">令和3年度までに整備された養護老人ホームに対し、措置入所を行い、またその入所調整を図るもの。</td> </tr> <tr> <td>期待される効果</td> <td colspan="7">令和3年度までに整備された養護老人ホームに措置を行うことで、圏域内居住者等の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">実施スケジュール</td> <td>具体的な事業項目</td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> </tr> <tr> <td>養護老人ホーム入所措置</td> <td colspan="6">→</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">事業費見込み (千円)</td> <td></td> <td>R4</td> <td>R5</td> <td>R6</td> <td>R7</td> <td>R8</td> <td>R9</td> <td>計</td> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>231,007</td> <td>231,007</td> <td>231,007</td> <td>231,007</td> <td>231,007</td> <td>231,007</td> <td>1,155,035</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>9,942</td> <td>9,942</td> <td>9,942</td> <td>9,942</td> <td>9,942</td> <td>9,942</td> <td>49,710</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>19,600</td> <td>19,600</td> <td>19,600</td> <td>19,600</td> <td>19,600</td> <td>19,600</td> <td>98,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">重要業績評価指標 (KPI)</td> <td rowspan="2">養護老人ホーム措置入所定員数</td> <td colspan="3">現状値(調査時点)</td> <td colspan="3">目 標</td> </tr> <tr> <td colspan="3">100名 (ともえ70名、思恩園30名)</td> <td colspan="3">現状維持</td> </tr> <tr> <td>活用を想定する補助制度</td> <td colspan="7">—</td> </tr> <tr> <td>役割分担の考え方</td> <td colspan="7"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は庄内総合支庁と連携し、各町との連絡調整を行う。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td colspan="8">事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。</td> </tr> </table>		取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、措置入所を行う。	甲(鶴岡市)の役割	乙及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。	乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。	事業名	養護老人ホーム入所措置事業							関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							事業内容	令和3年度までに整備された養護老人ホームに対し、措置入所を行い、またその入所調整を図るもの。							期待される効果	令和3年度までに整備された養護老人ホームに措置を行うことで、圏域内居住者等の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。							実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	養護老人ホーム入所措置	→													事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	鶴岡市	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	1,155,035	三川町	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	49,710	庄内町	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	98,000	重要業績評価指標 (KPI)	養護老人ホーム措置入所定員数	現状値(調査時点)			目 標			100名 (ともえ70名、思恩園30名)			現状維持			活用を想定する補助制度	—							役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は庄内総合支庁と連携し、各町との連絡調整を行う。</li> </ul>							事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							
取組の内容	圏域の福祉体制の安定と充実を図るため、措置入所を行う。																																																																																																																																			
甲(鶴岡市)の役割	乙及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。																																																																																																																																			
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び庄内総合支庁と連携して、養護老人ホームの措置入所を行う。																																																																																																																																			
事業名	養護老人ホーム入所措置事業																																																																																																																																			
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																																																																																																																			
事業内容	令和3年度までに整備された養護老人ホームに対し、措置入所を行い、またその入所調整を図るもの。																																																																																																																																			
期待される効果	令和3年度までに整備された養護老人ホームに措置を行うことで、圏域内居住者等の生活環境の改善と地域福祉の向上が図られる。																																																																																																																																			
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9																																																																																																																													
	養護老人ホーム入所措置	→																																																																																																																																		
事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計																																																																																																																												
	鶴岡市	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	1,155,035																																																																																																																												
	三川町	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	49,710																																																																																																																												
	庄内町	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	98,000																																																																																																																												
重要業績評価指標 (KPI)	養護老人ホーム措置入所定員数	現状値(調査時点)			目 標																																																																																																																															
		100名 (ともえ70名、思恩園30名)			現状維持																																																																																																																															
活用を想定する補助制度	—																																																																																																																																			
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は庄内総合支庁と連携し、各町との連絡調整を行う。</li> </ul>																																																																																																																																			
事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																																																																																																																				

旧								
P 1 5								
③ 教育 ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用								
鶴岡市が設置・運営する鶴岡市中央公民館女性センターについて、圏域内の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、2町に対して同センターの事業展開の拡大と住民の利用促進を図る。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、甲が設置する鶴岡市中央公民館女性センターについて、甲及び乙の住民を対象に、事業を展開する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市中央公民館女性センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	鶴岡市中央公民館女性センターの機能拡充事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する、就業を支援する講座や女性の企画力向上をめざす講座、その他各種講座等について、鶴岡市以外の各町住民が利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	圏域全体において、女性の職業生活、家庭生活支援と女性の学習活動意欲を向上させることが期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業範囲の拡大	→						
	事業の継続		→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	1,500	1,169	1,169	982	792	1,327	5,439
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	2町の利用者割合	現状値(調査時点)		目 標				
		1.9% (H31年1月末)		5.0%				
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 1 5								
③ 教育 ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用								
鶴岡市が設置・運営する鶴岡市中央公民館女性センターについて、圏域内の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、2町に対して同センターの事業展開の拡大と住民の利用促進を図る。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の女性の生活支援と学習活動の向上を図るため、甲が設置する鶴岡市中央公民館女性センターについて、甲及び乙の住民を対象に、事業を展開する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、甲及び乙の住民を対象とし、事業を実施する。							
乙(三川町、庄内町)の役割	乙の住民に対して、鶴岡市中央公民館女性センターの適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	鶴岡市中央公民館女性センターの <b>広域利用</b> 事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	鶴岡市中央公民館女性センターで実施する各種講座等について、鶴岡市以外の各町住民が利用できるようにするとともに、各町の住民への情報提供に努める。							
期待される効果	<b>圏域全体において、女性の職業生活や家庭生活を支援することで、学習意欲及び能力の向上が期待される。</b>							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業の継続	→	→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	1,339	1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標 (KPI)	2町の利用者割合	現状値(調査時点)		目 標				
		6.1% (令和3年度)		10.0%				
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧								
P 1 6								
④ 産業振興 ア 圏域の産業人材の育成								
(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業に対し、圏域における産業の技術力向上と事業の高度化に資する人材を育成するため、各市町が連携して支援を行うとともに地元企業に対する情報提供等を行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の産業人材の育成のため、(公財)庄内地域産業振興センター(以下「センター」という。)が実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資する人材育成事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。							
甲(鶴岡市)の役割	地元企業や高等教育機関等の関係機関に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 センターの人材育成事業を乙と連携して支援するとともに、その調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	地元企業等に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 甲と連携してセンターの人材育成事業を支援する。							
具体的な連携事業								
事業名	産業人材育成支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する、地域産業の技術力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業の共同支援(運営費・受講費の一部補助)を行なう。							
期待される効果	事業へ共同支援することにより、安定した事業が遂行できる。 より多くの企業が参加することにより、企業間の交流及び圏域内の企業の活性化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	→						
	各事業所への周知・検討	→						
	事業負担	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	9,805	9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	受講者数	現状値(調査時点)				目 標		
		268 人				350 人		
活用を想定する補助制度	-							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庄内産業振興センターの事業に係る経費(運営費・受講費の一部補助)等については、関係市町が応分の負担を行う。</li> <li>・各市町の負担については、企業の参加状況を踏まえ按分を検討する。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 1 6								
④ 産業振興 ア 圏域の産業人材の育成								
(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業に対し、圏域における産業の技術力向上と事業の高度化に資する人材を育成するため、各市町が連携して支援を行うとともに地元企業に対する情報提供等を行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の産業人材の育成のため、(公財)庄内地域産業振興センター(以下「センター」という。)が実施する地域産業の競争力向上と事業の高度化に資する人材育成事業に対し、甲及び乙が連携して支援を行う。							
甲(鶴岡市)の役割	地元企業や高等教育機関等の関係機関に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 センターの人材育成事業を乙と連携して支援するとともに、その調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	地元企業等に対し、センターで実施する人材育成事業の情報提供を行う。 甲と連携してセンターの人材育成事業を支援する。							
具体的な連携事業								
事業名	産業人材育成支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	(公財)庄内地域産業振興センターが主体として実施する、地域産業の技術力向上と事業の高度化に資するための人材育成事業の共同支援(運営費・受講費の一部補助)を行なう。							
期待される効果	事業へ共同支援することにより、安定した事業が遂行できる。 より多くの企業が参加することにより、企業間の交流及び圏域内の企業の活性化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	→						
	実施体制等検討	→						
	事業負担	→						
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	受講者数	現状値(調査時点)				目 標		
		270 人(令和3年度)				350 人		
活用を想定する補助制度	-							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(公財)庄内地域産業振興センターの事業に係る経費(運営費・受講費の一部補助)等については、関係市町が応分の負担を行う。</li> <li>・各市町の負担については、企業の参加状況を踏まえ按分を検討する。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧								
P 1 7								
イ 雇用・就業支援対策の推進								
鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームについて、鶴岡市と三川町が連携して支援し、同市町の住民が求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務等のサービスを適切に受けられるようにし、求職者の選択肢の確保、安定した生活への支援を行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の雇用・就業支援の充実のため、甲が設置する鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業について、甲及び乙の地域で実施する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡ワークサポートルームにおいて、甲と乙の住民に対して雇用・就業支援事業を実施する。							
乙(三川町)の役割	乙の地域住民や事業所に対し、甲が実施する雇用・就業支援事業の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	内職相談事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	甲が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、在宅での仕事を希望する方のための内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務を行なう。							
期待される効果	より多くの内職求人・求職募集が見込めるとともに、求職者の選択肢が広がり、安定した生活への助成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	内職相談・求人開拓・あつ旋	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	2,529	2,392	2,180	2,064	2,154	2,423	11,213
	三川町	138	138	128	122	127	144	659
重要業績評価指標 (KPI)	幹旋件数	現状値(調査時点)			目 標			
		138 件			145 件			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	相談業務に係る経費(人件費・事務費)等については、各市町が応分の負担(人口割合等)を行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 1 7								
イ 雇用・就業支援対策の推進								
鶴岡市が設置する鶴岡ワークサポートルームについて、鶴岡市と三川町が連携して支援し、同市町の住民が求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務等のサービスを適切に受けられるようにし、求職者の選択肢の確保、安定した生活への支援を行う。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の雇用・就業支援の充実のため、甲が設置する鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業について、甲及び乙の地域で実施する。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡ワークサポートルームにおいて、甲と乙の住民に対して雇用・就業支援事業を実施する。							
乙(三川町)の役割	乙の地域住民や事業所に対し、甲が実施する雇用・就業支援事業の適切な利用に関する普及啓発を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	内職相談事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	甲が設置する鶴岡ワークサポートルームにおいて、在宅での仕事を希望する方のための内職相談員を設置し、求職者の相談、求人開拓、あつ旋事務を行なう。							
期待される効果	より多くの内職求人・求職募集が見込めるとともに、求職者の選択肢が広がり、安定した生活への助成が期待できる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	内職相談・求人開拓・あつ旋	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	12,115
	三川町	144	144	144	144	144	144	720
重要業績評価指標 (KPI)	幹旋件数	現状値(調査時点)			目 標			
		45 件(令和3年度)			60 件			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	相談業務に係る経費(人件費・事務費)等については、各市町が応分の負担(人口割合等)を行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

P 1 8

**ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進**

庄内水田農業推進機構が行う農業者を対象とした生産技術や加工・販売等や消費者・企業等を含めた研修会、さらに鶴岡市が実施する水田農業体験などについて、圏域の水田農業の振興を図るため、市と2町が連携し、事業範囲を拡大して実施する。

**形成協定の内容**

取組の内容	圏域の基幹産業である農業、特に水田農業を振興するため、JA、試験研究機関、山形大学農学部及び行政で構成する庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で推進し、支援する。
甲(鶴岡市)の役割	庄内水田農業推進機構の取組について、事務局として関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。 水田農業の推進に関する事業を拡大して実施する。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体等との調整及び事業企画に対する支援、管内農家等への周知等を行う。

**具体的な連携事業**

事業名	庄内水田農業推進機構支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	平成 11 年設立の庄内水田農業推進機構については、庄内南部の水田農業を推進するため、圏域の自治体で連携した取り組みを実施してきたが、全国的な高齢化や人口減少の進行など、水田農業を取り巻く環境の変化もあり、当初の目的を概ね達成したことから、平成 30 年度末をもって同機構を解散した。これまで機構が実施してきた水田農業の振興・発展を図るための関係機関・団体及び地域農業のリーダーや意欲の高い農業者を対象とした生産技術や加工・販売等に関するフォーラム・ワークショップと、広く住民・消費者や企業等との連携・交流を図るための研修会については鶴岡市が必要に応じてフォーラムやワークショップ等を開催するとともに、小学生を対象とした水田農業体験(わんぱく農業クラブ)については、山大農学部が主催して行う。							
期待される効果	庄内南部の関係者が連携し事業を拡充することで、水田農業の情報発信と担い手農家の生産技術・経営力の向上が図られる。 小学生・保護者の水田農業への理解関心を高めることができる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	ワークショップ・研修会の開催	→						
	わんぱく農業クラブの拡大実施	→						
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	370	370	0	0	0	0	370
	三川町	21	21	0	0	0	0	21
	庄内町	63	63	0	0	0	0	63
重要業績評価指標 (KPI)	ワークショップ・研修会・わんぱく農業クラブ参加者	現状値 (調査時点)			目 標			
		300 名			350 名			
活用を想定する補助制度	-							

(削除)

旧 新

P 1 9

役割分担の 考え方	・鶴岡市がフォーラムやワークショップを開催する場合、各町は事業の告知や PR に協力する。 ・山大農学部が実施する農業体験においては、管内小学校への事業の周知などに対し、市町は協力する。 事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。
--------------	--

(削除)

旧								
P 2 0								
<b>エ 育苗施設等農業施設の相互利用</b>								
圏域の産地化の拡大・強化を図るため、圏域自治体等が設置、又は指定管理などにより管理運営する花卉育苗施設などを圏域の住民・組織が利用できるようにし、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給等を促進する。								
<b>形成協定の内容</b>								
取組の内容	圏域の産地化の拡大・強化を図るため、花卉育苗施設などの農業施設について、甲乙の協議の上、圏域全体で利用できるよう調整し利用拡大を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	農業施設の相互利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	農業施設の相互利用について甲と協議し、乙の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。							
<b>具体的な連携事業</b>								
事業名その1	庄内南部地域育苗施設利用拡大事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	庄内町、三川町に設置された花卉及び野菜育苗施設を広域で利用拡大することにより、高品質かつ低価格な苗の供給を促進する。							
期待される効果	庄内南部地域の花卉生産の拡大と関係農家の経営の安定化が促進される。新規生産者(特に、若者農業者)の花弁生産への円滑な参画が促進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	広域利用の調整	→						
	利用拡大策の実施		→	→	→	→	→	
事業費見込		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	515	502	542	914	819	900	3,677
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数	現状値(調査時点)			目 標			
		43 人			50 人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・30 年度から市町の利用状況に応じた負担とする。							

新								
P 1 8								
<b>ウ 育苗施設等農業施設の相互利用</b>								
圏域の産地化の拡大・強化を図るため、圏域自治体等が設置、又は指定管理などにより管理運営する花卉育苗施設などを圏域の住民・組織が利用できるようにし、高品質かつ低価格で安定的な花卉苗の供給等を促進する。								
<b>形成協定の内容</b>								
取組の内容	圏域の産地化の拡大・強化を図るため、花卉育苗施設などの農業施設について、甲乙の協議の上、圏域全体で利用できるよう調整し利用拡大を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	農業施設の相互利用について乙と協議し、甲の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	農業施設の相互利用について甲と協議し、乙の住民に育苗施設等農業施設の利用に関する周知を行う。							
<b>具体的な連携事業</b>								
事業名その1	庄内南部地域育苗施設利用拡大事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	庄内町、三川町に設置された花卉及び野菜育苗施設を広域で利用拡大することにより、高品質かつ低価格な苗の供給を促進する。							
期待される効果	庄内南部地域の花卉生産の拡大と関係農家の経営の安定化が促進される。新規生産者(特に、若者農業者)の花弁生産への円滑な参画が促進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	利用拡大策の実施	→	→	→	→	→	→	
事業費見込		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	900	900	900	900	900	900	4,500
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	施設利用者数	現状値			目 標			
		41 人(令和3年度)			50 人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・市町の利用状況に応じた負担とする。							

旧								
P 2 1								
事業名その2	庄内広域育成牧場・大網放牧場・庄内町放牧場合理化事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	畜産農家が減少する中で、鶴岡市管内にある庄内広域育成牧場と大網放牧場及び庄内町放牧場について、庄内広域育成牧場を核とした施設連携や一体的利用の検討を進め、放牧事業の合理化・効率化を推進する。(なお、大網放牧場は平成27年に廃止している。) 庄内町放牧場は、令和2年度から令和4年度まで社会福祉法人月山福祉会に指定管理されている。 庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧している。							
期待される効果	施設の統合と一体的利用による役割分担の明確化により、効率的な放牧事業の促進が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	利用調整の検討	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	5,252	5,644	5,678	5,062	5,081	5,118	26,583
	三川町	180	180	180	180	180	198	918
	庄内町	3,179	3,179	2,781	2,345	2,221	2,252	12,778
重要業績評価指標 (KPI)	現状値(調査時点)H28			目 標 H34				
	牛放牧頭数 (庄内南部/全体)	136 頭/179 頭			140 頭/200 頭			
	牛放牧戸数 (庄内南部/全体)	38 戸/51 戸			35 戸/50 戸			
	めん羊放牧頭数	65 頭			70 頭			
活用を想定する補助制度	-							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内広域育成牧場の整備については、設置場所である鶴岡市が支援を行う。</li> <li>庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧する。庄内町放牧場の指定管理がR4年度までとなり、その後の利用方法について検討する必要がある。</li> </ul>							

新								
P 1 9								
事業名その2	庄内広域育成牧場_____・庄内町放牧場合理化事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	畜産農家が減少する中で、鶴岡市管内にある庄内広域育成牧場と_____庄内町放牧場について、庄内広域育成牧場を核とした施設連携や一体的利用の検討を進め、放牧事業の合理化・効率化を推進する。_____ 庄内町放牧場は、令和2年度から令和4年度まで社会福祉法人月山福祉会に指定管理されている。 庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧している。							
期待される効果	施設の統合と一体的利用による役割分担の明確化により、効率的な放牧事業の促進が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	利用調整の検討	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	5,252	5,044	5,044	5,044	4,936	4,828	24,896
	三川町	180	198	198	198	197	196	987
	庄内町	3,179	2,190	2,190	2,190	2,226	2,273	11,069
重要業績評価指標 (KPI)	現状値(調査時点)			目 標				
	牛放牧頭数 (庄内南部/全体)	133 頭/176 頭(令和3年度)			140 頭/200 頭			
	牛放牧戸数 (庄内南部/全体)	28 戸/40 戸(令和3年度)			35 戸/50 戸			
	めん羊放牧頭数	76 頭(令和3年度)			70 頭			
活用を想定する補助制度	-							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>庄内広域育成牧場の整備については、設置場所である鶴岡市が支援を行う。</li> <li>庄内広域育成牧場には、繁殖牛(和牛・乳牛)、親子放牧及びめん羊を放牧する。</li> </ul>							

オ 内水面漁業の振興対策の充実

内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組みに対し、内水面漁業の振興を図るため、圏域の各市町が継続して支援する。

形成協定の内容

取組の内容	内水面漁業の一層の振興を図るため、甲の区域に所在する内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組について、圏域で連携して支援し活動を推進する。
甲(鶴岡市)の役割	内水面漁業協同組合に対し、乙と連携して支援を行うとともに、支援の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、内水面漁業協同組合に対し支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	内水面漁業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	河川環境を検討し、種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視等による漁場環境の保全を行うため、内水面漁業協同組合へ補助金を交付し、振興支援に努める。							
期待される効果	魚族の増殖と漁場環境の整備により、圏域内外から多くの釣り客が訪れることで、河川流域の活性化が図られる。 子供の体験学習として種苗放流を実施することで、水産業や魚食、河川環境等についての関心が向上する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	事業実施	—————→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235
重要業績評価指標 (KPI)	赤川の漁獲量	現状値(調査時点)			目 標			
		36,900 kg (平成 28 年度実績値)			42,900 kg (H25~H28 平均)			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・内水面漁業協同組合への補助は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

エ 内水面漁業の振興対策の充実

内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組みに対し、内水面漁業の振興を図るため、圏域の各市町が継続して支援する。

形成協定の内容

取組の内容	内水面漁業の一層の振興を図るため、甲の区域に所在する内水面漁業協同組合が行う魚族の増殖や漁場環境の保全などの取組について、圏域で連携して支援し活動を推進する。
甲(鶴岡市)の役割	内水面漁業協同組合に対し、乙と連携して支援を行うとともに、支援の調整を図る。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、内水面漁業協同組合に対し支援を行う。

具体的な連携事業

事業名	内水面漁業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	河川環境を検討し、種苗の放流による魚族の増殖と、河川監視等による漁場環境の保全を行うため、内水面漁業協同組合へ補助金を交付し、振興支援に努める。							
期待される効果	魚族の増殖と漁場環境の整備により、圏域内外から多くの釣り客が訪れることで、河川流域の活性化が図られる。 子供の体験学習として種苗放流を実施することで、水産業振興や魚食普及、河川環境保全等への関心が向上する。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業実施	—————→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	380	380	380	380	380	380	1,900
	三川町	48	48	48	48	48	48	240
	庄内町	47	47	47	47	47	47	235
重要業績評価指標 (KPI)	赤川の漁獲量	現状値(調査時点)			目 標			
		24,250 kg (令和 3 年度実績値)			42,900 kg			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。</li> <li>・内水面漁業協同組合への補助は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

旧								
P 2 3								
カ 観光推進団体等支援の充実								
圏域の一層の観光振興のため、全国有数の花火大会である赤川花火大会と、全国有数の観光地であり山岳信仰の地である出羽三山地区の受入環境の整備について、鶴岡市と関係町が連携・協力し、推進団体への支援を継続強化する。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の観光による誘客を強化するため、観光推進団体等が行う事業に対し、甲乙の協議の上、連携して支援する。							
甲(鶴岡市)の役割	観光推進団体の企画運営に必要なに応じて協力するとともに、その取組の調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、観光推進団体の企画運営に協力する。							
具体的な連携事業								
事業名その1	赤川花火大会への支援							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	赤川花火大会への補助金支出							
期待される効果	赤川花火大会を支援することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	補助金の維持、拡充	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	15,000	15,000	15,000	10,078	15,000	15,000	70,078
	三川町	300	300	300	202	300	300	1,402
重要業績評価 指標 (KPI)	観客数	現状値(調査時点)			目 標			
		33 万人 (平成 29 年度)			35 万人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

新								
P 2 1								
カ 観光推進団体等支援の充実								
圏域の一層の観光振興のため、全国有数の花火大会である赤川花火大会と、全国有数の観光地であり山岳信仰の地である出羽三山地区の受入環境の整備について、鶴岡市と関係町が連携・協力し、推進団体への支援を継続強化する。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の観光による誘客を強化するため、観光推進団体等が行う事業に対し、甲乙の協議の上、連携して支援する。							
甲(鶴岡市)の役割	観光推進団体の企画運営に必要なに応じて協力するとともに、その取組の調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、観光推進団体の企画運営に協力する。							
具体的な連携事業								
事業名その1	赤川花火大会への支援							
関係市町名	鶴岡市、三川町							
事業内容	赤川花火大会への補助金支出							
期待される効果	赤川花火大会を支援することにより、誘客の増加が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	補助金の維持、拡充	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000
	三川町	300	300	300	300	300	300	1,500
重要業績評価 指標 (KPI)	観客数	現状値(調査時点)			目 標			
		35 万人(令和元年度)			35 万人			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は三川町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							

旧

P 2 4

事業名その2	出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金								
関係市町名	鶴岡市、庄内町								
事業内容	現地調査等観光開発事業、月山八合目・九合目・山頂の公衆トイレ管理事業、県道月山公園線交通混雑対策事業、月山八合目給水事業及び要望活動								
期待される効果	全国有数の観光地であり山岳信仰で有名な出羽三山地区の受入環境を整備することにより、誘客の増加が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4		
	負担金の拡充	→							
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計		
	鶴岡市	2,600	2,600	2,600	2,600	2,720	2,720	13,240	
	庄内町	200	200	200	200	205	205	1,010	
重要業績評価指標 (KPI)	出羽三山への観光客数	現状値(調査時点)			目 標				
		85万8千人 (平成28年度末)			90万人				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	・鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

新

P 2 2

事業名その2	出羽三山地区観光開発促進期成同盟会負担金								
関係市町名	鶴岡市、庄内町								
事業内容	現地調査等観光開発事業、月山八合目・九合目・山頂の公衆トイレ管理事業、県道月山公園線交通混雑対策事業、月山八合目給水事業及び要望活動								
期待される効果	全国有数の観光地であり山岳信仰で有名な出羽三山地区の受入環境を整備することにより、誘客の増加が図られる。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	負担金の拡充	→							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	13,600	
	庄内町	205	205	205	205	205	205	1,025	
重要業績評価指標 (KPI)	出羽三山への観光客数	現状値(調査時点)			目 標				
		64万8千人(令和3年度) 【参考】88万7千人(平成30年度)			90万人				
活用を想定する補助制度	-								
役割分担の考え方	・鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。								

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

旧							
P 2 5							
キ 圏域観光の魅力発信の連携強化							
圏域の一層の観光振興のため、新たな観光資源の掘り起こしや、古くから育んできた伝統芸能の発信、観光推進団体等への支援などを各市町で連携・協力して行い、圏域の魅力発信の強化を図る。							
形成協定の内容							
取組の内容	圏域の一層の観光振興を図るため、新たな観光資源を掘り起こし広くPRするほか、古くから育んできた伝統芸能の発信を圏域全体で連携して行い、圏域の魅力発信を強化する。						
甲(鶴岡市)の役割	観光資源の掘り起こしと魅力発信のため、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。						
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。						
具体的な連携事業							
事業名	インバウンド観光推進事業						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	訪日外国人観光客等の増加に対応し、庄内北部地域等の市町村とも連携して外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。						
期待される効果	当圏域への外国人観光客の増加						
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
	事業内容の調整						
	事業実施						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721
	三川町	0					0
	庄内町	0					0
重要業績評価指標 (KPI)	外国人延べ宿泊者数	現状値(調査時点)			目 標		
		10,435 人(H29 年 11 月末)			40,000 人		
活用を想定する補助制度	東北観光復興対策交付金						
役割分担の考え方	・鶴岡市は、三川町、庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。						
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							

新								
P 2 3								
カ 圏域観光の魅力発信の連携強化								
圏域の一層の観光振興のため、新たな観光資源の掘り起こしや、古くから育んできた伝統芸能の発信、観光推進団体等への支援などを各市町で連携・協力して行い、圏域の魅力発信の強化を図る。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の一層の観光振興を図るため、新たな観光資源を掘り起こし広くPRするほか、古くから育んできた伝統芸能の発信を圏域全体で連携して行い、圏域の魅力発信を強化する。							
甲(鶴岡市)の役割	観光資源の掘り起こしと魅力発信のため、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び企画運営を行う。							
具体的な連携事業								
事業名	インバウンド観光推進事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	訪日外国人観光客等の増加に対応し、庄内北部地域等の市町村とも連携して外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。							
期待される効果	当圏域への外国人観光客の増加							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	事業内容の調整							
	事業実施							
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	6,760	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	外国人延べ宿泊者数	現状値(調査時点)			目 標			
		889 人(令和 3 年度) 【参考】7,886 人(平成 30 年度)			40,000 人			
活用を想定する補助制度	東北観光復興対策交付金							
役割分担の考え方	・鶴岡市は、三川町、庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

旧																																	
P 2 6																																	
ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成																																	
<p>圏域の豊かな食文化資源と、大型ロケ施設やコミュニティ型映画館、映像制作人材などの映画資源を基盤に、地域文化情報の発信や創造的人材の育成、創造的文化産業の創出に取組み、食関連産業や観光の振興、商店街の活性化などにつなげる。</p>																																	
形成協定の内容																																	
取組の内容	圏域の交流人口の拡大、定住促進を図るため、庄内南部地域の豊かな食文化を活かした食文化創造の活動と映画・映像など地域の新たな資源の相乗効果により、特色ある地域文化の発信、創造的人材の育成等を進める。																																
甲(鶴岡市)の役割	食文化や映画の関係機関・団体との調整及び事業の企画運営を行う。																																
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び事業への協力を行う。																																
具体的な連携事業																																	
事業名	食文化発信事業																																
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																
事業内容	伝統的、地域的な食文化のアーカイヴ化と情報発信																																
期待される効果	圏域内外での認知度の向上																																
実施スケジュール	<table border="1"> <tr> <th>具体的な事業項目</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th>R 1</th> <th>R 2</th> <th>R 3</th> <th>R 4</th> </tr> <tr> <td>アーカイヴ化と情報発信</td> <td colspan="6">→</td> </tr> </table>	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	アーカイヴ化と情報発信	→																							
具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4																											
アーカイヴ化と情報発信	→																																
事業費見込み(千円)	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>H29</th> <th>H30.</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>303</td> <td>700</td> <td>472</td> <td>2,824</td> <td>3,044</td> <td>1,003</td> <td>8,043</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>		H29	H30.	R1	R2	R3	R4	計	鶴岡市	303	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043	三川町	0						0	庄内町	0						0
	H29	H30.	R1	R2	R3	R4	計																										
鶴岡市	303	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043																										
三川町	0						0																										
庄内町	0						0																										
重要業績評価指標 (KPI)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数</th> <th colspan="2">現状値(調査時点)</th> <th colspan="2">目 標</th> </tr> <tr> <td colspan="2">254,570 人(H29)</td> <td colspan="2">278,300 人(R4)</td> </tr> </table>	圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	現状値(調査時点)		目 標		254,570 人(H29)		278,300 人(R4)																								
圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	現状値(調査時点)		目 標																														
	254,570 人(H29)		278,300 人(R4)																														
活用を想定する補助制度	—																																
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町がそれぞれの食文化を記録・保存し、圏域での効果的な情報発信など活用方法を検討する。</li> <li>鶴岡市は、事業に関する各町との連絡、調整を担当する。</li> </ul>																																
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																	

新																																	
P 2 4																																	
キ 食文化_____を活かした地域文化の情報発信、創造的人材の育成																																	
<p>圏域の豊かな食文化資源_____を基盤に、地域文化情報の発信や創造的人材の育成、創造的文化産業の創出に取組み、食関連産業や観光の振興、商店街の活性化などにつなげる。</p>																																	
形成協定の内容																																	
取組の内容	圏域の交流人口の拡大、定住促進を図るため、庄内南部地域の豊かな食文化を活かした食文化創造の活動と_____映像など地域の新たな資源の相乗効果により、特色ある地域文化の発信、創造的人材の育成等を進める。																																
甲(鶴岡市)の役割	食文化_____の関係機関・団体との調整及び事業の企画運営を行う。																																
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、関係機関・団体との調整及び事業への協力を行う。																																
具体的な連携事業																																	
事業名	食文化情報発信事業																																
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町																																
事業内容	伝統的、地域的な食文化のアーカイヴ化と情報発信																																
期待される効果	圏域内外での認知度の向上																																
実施スケジュール	<table border="1"> <tr> <th>具体的な事業項目</th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> </tr> <tr> <td>アーカイヴ化と情報発信</td> <td colspan="6">→</td> </tr> </table>	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	アーカイヴ化と情報発信	→																							
具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9																											
アーカイヴ化と情報発信	→																																
事業費見込み(千円)	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>R4</th> <th>R5</th> <th>R6</th> <th>R7</th> <th>R8</th> <th>R9</th> <th>計</th> </tr> <tr> <td>鶴岡市</td> <td>1,003</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>1,000</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>三川町</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>庄内町</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>0</td> </tr> </table>		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	鶴岡市	1,003	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	三川町	0						0	庄内町	0						0
	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計																										
鶴岡市	1,003	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000																										
三川町	0						0																										
庄内町	0						0																										
重要業績評価指標 (KPI)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数</th> <th colspan="2">現状値(調査時点)</th> <th colspan="2">目 標</th> </tr> <tr> <td colspan="2">247,627 人(令和3年度)</td> <td colspan="2">278,300 人</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2">【参考】264,286 人(平成30年度)</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	現状値(調査時点)		目 標		247,627 人(令和3年度)		278,300 人				【参考】264,286 人(平成30年度)																				
圏域市町食文化関連交流拠点施設入込客数	現状値(調査時点)		目 標																														
	247,627 人(令和3年度)		278,300 人																														
		【参考】264,286 人(平成30年度)																															
活用を想定する補助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化芸術振興費補助金</li> <li>地方創生推進交付金</li> </ul>																																
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>各市町がそれぞれの食文化を記録・保存し、圏域での効果的な情報発信など活用方法を検討する。</li> <li>鶴岡市は、事業に関する各町との連絡、調整を担当する。</li> </ul>																																
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。																																	

旧								
P 2 7								
ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進								
<p>圏域内において間伐等の適正な森林施業を推進することで、豊かな森林環境を保全するとともに、豊富な森林資源を有効活用し林業を振興するため、木質バイオマスの利用促進と安定的な供給システムの構築を図る。</p>								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の豊富な森林資源を活用した木質バイオマスの安定的な供給システムの構築と地域産材の利用促進により、林業の振興を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。							
乙(庄内町)の役割	甲と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。							
具体的な連携事業								
事業名	木質バイオマス利用促進事業							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	出羽庄内森林組合等が実施する間伐事業や作業道開設を支援し、木質バイオマスの供給体制整備と搬出間伐の低コスト化を図る。 また、皆伐を促進するとともに再造林後の保育等に対する支援を行うことにより、資源の循環を図る。							
期待される効果	木質バイオマスの利用拡大により、森林の整備が促進され、林業の振興と森林の持つ多面的な機能が維持される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	間伐・皆伐促進	→						
	作業道整備	→						
事業費見込み		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	(千円) 鶴岡市	46,438	37,676	23,586	31,742	32,786	94,980	220,770
	庄内町	915	1,477	1,386	1,384	1,462	6,747	12,456
重要業績評価指標(KPI)	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	現状値(調査時点)			目 標			
		15,400 トン/年 (平成 29 年度実績値)			33,000 トン/年 (目標発電量を賄える数量)			
活用を想定する補助制度	美しい森林づくり基盤整備事業補助金(国 1/2) 林道開設事業費補助金(国 1/2、県 15%)							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。</li> <li>鶴岡市は鶴岡バイオマス協議会に参画し、安定供給体制の構築を図る。</li> <li>間伐、作業道・林業専用道整備等の事業支援経費は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul> 事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							

新								
P 2 5								
ク 林業の振興と木質バイオマスの利用促進								
<p>圏域内において間伐等の適正な森林施業を推進することで、豊かな森林環境を保全するとともに、豊富な森林資源を有効活用し林業を振興するため、木質バイオマスの利用促進と安定的な供給システムの構築を図る。</p>								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の豊富な森林資源を活用した木質バイオマスの安定的な供給システムの構築と地域産材の利用促進により、林業の振興を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	乙と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。							
乙(庄内町)の役割	甲と連携して、関係団体へ間伐等の森林施業に対する支援を行うとともに、木質バイオマスの利用促進を図る。							
具体的な連携事業								
事業名	木質バイオマス利用促進事業							
関係市町名	鶴岡市、庄内町							
事業内容	出羽庄内森林組合等が実施する間伐事業や作業道開設を支援し、木質バイオマスの供給体制整備と搬出間伐の低コスト化を図る。 また、皆伐を促進するとともに再造林後の保育等に対する支援を行うことにより、資源の循環を図る。							
期待される効果	木質バイオマスの利用拡大により、森林の整備が促進され、林業の振興と森林の持つ多面的な機能が維持される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	間伐・皆伐促進	→						
	作業道整備	→						
事業費見込み		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	(千円) 鶴岡市	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	474,900
	庄内町	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	33,735
重要業績評価指標(KPI)	地域内木質バイオマス供給量(林業由来)	現状値(調査時点)			目 標			
		6,876 トン/年 (令和 3 年度)			20,000 トン/年			
活用を想定する補助制度	<ul style="list-style-type: none"> <li>美しい森林づくり基盤整備事業補助金(国 1/2)</li> <li>森林環境譲与税</li> </ul>							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は庄内町及び関係機関・団体との連絡調整を行う。</li> <li>鶴岡市は鶴岡バイオマス協議会に参画し、安定供給体制の構築を図る。</li> <li>間伐、作業道・林業専用道整備等の事業支援経費は各市町がそれぞれ負担する。</li> </ul> 事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							

旧							
P 2 8							
⑤ その他 ア 下水道事業の連携							
地震等の自然災害が頻発するなか、圏域の各市町における汚水処理の連携及び下水道施設の横断的活用により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るとともに、災害時の汚水処理の確保に努める。							
形成協定の内容							
取組の内容	最上川下流流域下水道事業を基幹とした汚水処理の連携により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、圏域の下水道施設の横断的活用により、災害時の汚水処理を確保する。						
甲(鶴岡市)の役割	圏域における下水道事業連携プランを乙の協力のもと策定し、乙と連携して効率的、効果的な下水道事業に取り組む。 県管理の流域下水道事業による広域処理の円滑な管理運営を維持確保するための連携を強化する。						
乙(三川町、庄内町)の役割	甲の下水道事業連携プランに基づき、下水道事業の横断的整備促進を図るとともに、最上川下流流域下水道事業の適切な維持管理の確保のため圏域の連携の強化に努める。						
具体的な連携事業							
事業名	下水道事業連携プランの実施と汚水処理の連携						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	平成27年2月に完成した事業連携プランに基づき、関係市町と連携しながら、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、災害時の汚水処理確保に向けた対応策及び連携についてワーキング部会を開催し調査・検討を進める。						
期待される効果	圏域全体の公共用水域の水質保全と生活環境の向上が期待される。 災害時の汚水処理の迅速な対応が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4
	事業連携プランの策定(随時ブラッシュアップ)	→					
	プランの実施	→					
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	0					
	三川町	0					
	庄内町	0					
重要業績評価指標 (KPI)	最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	現状値(調査時点)			目 標		
		91.1%(H29年度末)			91.6%(R4年度末)		
活用を想定する補助制度	—						
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町の協力により事業連携プランを策定(ブラッシュアップ)し、事業の推進を図る。</li> <li>最上川下流流域下水道事業促進協議会の運営は庄内町が事務局として連絡・調整を担当し、経費は県を含め各市町が負担する。</li> </ul>						
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							

新							
P 2 6							
⑤ その他 ア 下水道事業の連携							
地震等の自然災害が頻発するなか、圏域の各市町における汚水処理の連携及び下水道施設の横断的活用により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上を図るとともに、災害時の汚水処理の確保に努める。							
形成協定の内容							
取組の内容	最上川下流流域下水道事業を基幹とした汚水処理の連携により、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、圏域の下水道施設の横断的活用により、災害時の汚水処理を確保する。						
甲(鶴岡市)の役割	圏域における下水道事業連携プランを乙の協力のもと策定し、乙と連携して効率的、効果的な下水道事業に取り組む。 県管理の流域下水道事業による広域処理の円滑な管理運営を維持確保するための連携を強化する。						
乙(三川町、庄内町)の役割	甲の下水道事業連携プランに基づき、下水道事業の横断的整備促進を図るとともに、最上川下流流域下水道事業の適切な維持管理の確保のため圏域の連携の強化に努める。						
具体的な連携事業							
事業名	下水道事業連携プランの実施と汚水処理の連携						
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町						
事業内容	平成27年2月に完成した事業連携プランに基づき、関係市町と連携しながら、公共用水域の水質保全と生活環境の向上に努めるとともに、災害時の汚水処理確保に向けた対応策及び連携についてワーキング部会を開催し調査・検討を進める。						
期待される効果	圏域全体の公共用水域の水質保全と生活環境の向上が期待される。 災害時の汚水処理の迅速な対応が期待される。						
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9
	事業連携プランの策定(随時ブラッシュアップ)	→					
	プランの実施	→					
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	0					
	三川町	0					
	庄内町	0					
重要業績評価指標 (KPI)	最上川下流流域下水道事業整備済区域内の接続率(世帯)	現状値(調査時点)			目 標		
		92.8%(令和3年度末)			93.5%		
活用を想定する補助制度	—						
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市は各町の協力により事業連携プランを策定(ブラッシュアップ)し、事業の推進を図る。</li> <li>最上川下流流域下水道事業促進協議会の運営は庄内町が事務局として連絡・調整を担当し、経費は県を含め各市町が負担する。</li> </ul>						
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。							

旧								
P 2 9								
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
① 地域公共交通								
ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進								
圏域の公共交通ネットワークの維持強化のため、圏域内の行政関与バス運行体制の確保に努めるとともに、地域の利用実態やニーズを踏まえた経路の見直し等の検討や、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し住民の一層の利用促進を図る。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市地域公共交通計画や山形県地域公共交通計画との整合を図りながら、乙及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に取り組む。							
具体的な連携事業								
事業名	圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、特に、高齢者等の通院や買物、高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりと、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。							
期待される効果	圏域内公共交通ネットワークの利便性向上と、移動手段の確保維持が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	圏域内バス路線運行事業(鶴岡・清川線、鶴岡・酒田線)	→						
	バス路線利用促進事業(時刻・ルート・運賃見直し及び情報発信の強化)	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	4,953	6,070	6,749	7,773	5,613	6,446	32,651
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	2,798	3,429	3,813	5,127	4,234	4,446	21,049
重要業績評価指標 (KPI)	乗車密度(鶴岡・清川線)	現状値(調査時点)		目 標				
		1.0(H28)		1.4(※H20実績)				
活用を想定する補助制度	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統) 県総合交付金							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市が企画・調整を担当し、各町の協力のもと実施する。</li> <li>事業経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新								
P 2 7								
(2) 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野								
① 地域公共交通								
ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進								
圏域の公共交通ネットワークの維持強化のため、圏域内の行政関与バス運行体制の確保に努めるとともに、地域の利用実態やニーズを踏まえた経路の見直し等の検討や、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し住民の一層の利用促進を図る。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の公共交通ネットワークの強化のため、地域公共交通の実態調査及び検証を行い、交通事業者等関係機関と連携して、公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進に取り組み、圏域内の交流の活性化を図る。							
甲(鶴岡市)の役割	鶴岡市地域公共交通計画や山形県地域公共交通計画との整合を図りながら、乙及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に中心的に取り組む。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲及び関係機関と連携して、圏域における公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進の活動に取り組む。							
具体的な連携事業								
事業名	圏域内バス路線の利便性向上と安心して分かりやすく利用できるシステムの構築							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	既存バス路線の利便性の向上と路線の確保維持のため、事業者や国、県へ働きかけるとともに、特に、高齢者等の通院や買物、高校生等の通学などに利用しやすい交通環境づくりと、バス利用に関する情報を分かりやすく提供し利用促進を図る。							
期待される効果	圏域内公共交通ネットワークの利便性向上と、移動手段の確保維持が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	圏域内バス路線運行事業(鶴岡・清川線、鶴岡・酒田線)	→						
	バス路線利用促進事業(時刻・ルート・運賃見直し及び情報発信の強化)	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	6,446	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	38,946
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	4,446	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	26,946
重要業績評価指標 (KPI)	乗車密度(鶴岡・清川線)	現状値(調査時点)		目 標				
		0.7(令和3年度)		1.0				
活用を想定する補助制度	地域公共交通確保維持改善事業費補助金(地域内フィーダー系統) 県総合交付金							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>鶴岡市が企画・調整を担当し、各町の協力のもと実施する。</li> <li>事業経費は各市町それぞれが負担する。</li> <li>住民への情報提供は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

P 3 0

② 道路等の交通インフラの整備  
ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

老朽化の進んでいる道路インフラについて、圏域の地域間ネットワークを恒久的に維持していくため、市町間を結ぶ橋梁など市町道全ての橋梁について健全度を把握し、予防保全的な補修・補強を計画的に進めることで、道路インフラ・交通ネットワークの維持向上を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙との境界部が河川となっている箇所に架かる市道橋梁について、乙との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲との境界部が河川となっている箇所に架かる町道橋梁について、甲との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域間ネットワークの維持向上に寄与する道路インフラの長寿命化対策							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	地域内の市町道に架かる橋梁の現状を把握し、計画的に補修補強を行うことにより、地域間道路ネットワークの維持向上を図る。							
期待される効果	いつでも安全・安心して通れる道路ネットワークが構築されることや、更新時期の平準化を図ることで、道路維持管理予算の平準化と世代間の負担差を最小限に抑える事が可能となる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	橋梁点検・診断	→	→	→	→	→	→	→
	橋梁長寿命化修繕計画見直し	→	→	→	→	→	→	→
	補修・補強工事の実施	→	→	→	→	→	→	→
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	211,900	336,667	377,803	507,296	336,143	477,569	2,035,478
	三川町	10,000	53,125	51,891	89,709	30,267	13,500	238,492
	庄内町	17,944	6,382	18,419	109,320	9,712	56,114	199,947
重要業績評価指標 (KPI)	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	現状値(調査時点)			目 標			
		86%(321橋/371橋) H29.3 現在			95%(792橋/834橋) R5.3 予定			
活用を想定する補助制度	防災・安全交付金(5.5/10) 起債(9/10)							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・橋梁調査、計画策定、補修工事等については、関係市町それぞれが負担する。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

P 2 8

② 道路等の交通インフラの整備  
ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

老朽化の進んでいる道路インフラについて、圏域の地域間ネットワークを恒久的に維持していくため、市町間を結ぶ橋梁など市町道全ての橋梁について健全度を把握し、予防保全的な補修・補強を計画的に進めることで、道路インフラ・交通ネットワークの維持向上を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の地域間ネットワークの維持向上を図るため、市町間を結ぶ市町道に架かる橋梁の現状を把握し、長寿命化に向けた修繕計画の策定及び補修・補強を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙との境界部が河川となっている箇所に架かる市道橋梁について、乙との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲との境界部が河川となっている箇所に架かる町道橋梁について、甲との協議により長寿命化に向けた修繕計画を策定し、計画的に補修・補強を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域間ネットワークの維持向上に寄与する道路インフラの長寿命化対策							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	地域内の市町道に架かる橋梁の現状を把握し、計画的に補修補強を行うことにより、地域間道路ネットワークの維持向上を図る。							
期待される効果	いつでも安全・安心して通れる道路ネットワークが構築されることや、更新時期の平準化を図ることで、道路維持管理予算の平準化と世代間の負担差を最小限に抑える事が可能となる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	橋梁点検・診断	→	→	→	→	→	→	→
	橋梁長寿命化修繕計画見直し	→	→	→	→	→	→	→
	補修・補強工事の実施	→	→	→	→	→	→	→
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	477,569	550,200	542,300	487,000	475,000	495,500	2,550,000
	三川町	13,500	37,000	16,000	30,000	15,000	10,000	108,000
	庄内町	26,640	366,000	220,000	220,000	220,000	30,000	1,056,000
重要業績評価指標 (KPI)	橋梁診断における健全度判定Ⅱ以上の割合(良Ⅰ～Ⅳ悪)	現状値(調査時点)			目 標			
		91%(763橋/838橋) R4.3 現在			98%(821橋/838橋) R10.3 予定			
活用を想定する補助制度	道路メンテナンス事業費補助金(5.61/10) 起債(9/10)							
役割分担の考え方	・鶴岡市は各町との連絡、調整を担当する。 ・橋梁調査、計画策定、補修工事等については、関係市町それぞれが負担する。							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

P 3 1

③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消  
ア 地域産材利活用の推進

圏域の林業再生及び関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し圏域全体で支援するとともに、各市町それぞれが地域産材を使った家づくりの普及促進に努める。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の林業及び地域住宅関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、甲及び乙が連携して支援し、地域産木材の利活用の推進に努める。
甲(鶴岡市)の役割	ネットワーク組織への支援を継続して行うとともに、圏域全体での支援について乙と協議し連携して行い、その充実に努める。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、乙の住民に対し、ネットワーク組織の活動に関する普及啓発活動を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域産材及び住宅関連産業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	森林所有者、製材業者、設計業者、住宅関連業者で組織するネットワーク組織(「つるおか住宅活性化ネットワーク」(鶴岡・田川地区にて目的に賛同する方も加入可能)が、地域産木材を使った家づくりを推進するに際し、圏域全体で支援する。							
期待される効果	優良材の利用拡大を図ることによって、森林所有者へ利益を還元し、森林整備を促進する。 地域産材を使った家づくりを推進することにより圏域の住宅関連産業の振興を図る。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	展開拡大に向けた調整	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	5,000	6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標 (KPI)	地域産木材の利活用	現状値(調査時点)			目 標			
		215m <sup>3</sup> /年			250m <sup>3</sup> /年			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は事務局事務を行うとともに、各町との連絡、調整を行う。</li> <li>・住民への情報提供、地域産材を使った家づくりの啓発等は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

P 2 9

③ 地域の生産者・消費者等の連携による地産地消  
ア 地域産材利活用の推進

圏域の林業再生及び関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し圏域全体で支援するとともに、各市町それぞれが地域産材を使った家づくりの普及促進に努める。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の林業及び地域住宅関連産業の振興を図るため、地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し、甲及び乙が連携して支援し、地域産木材の利活用の推進に努める。
甲(鶴岡市)の役割	ネットワーク組織への支援を継続して行うとともに、圏域全体での支援について乙と協議し連携して行い、その充実に努める。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、乙の住民に対し、ネットワーク組織の活動に関する普及啓発活動を行う。

具体的な連携事業

事業名	地域産材及び住宅関連産業振興事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	森林所有者、製材業者、設計業者、住宅関連業者で組織するネットワーク組織(「つるおか住宅活性化ネットワーク」(鶴岡・田川地区にて目的に賛同する方も加入可能)が、地域産木材を使った家づくりを推進するに際し、圏域全体で支援する。							
期待される効果	優良材の利用拡大を図ることによって、森林所有者へ利益を還元し、森林整備を促進する。 地域産材を使った家づくりを推進することにより圏域の住宅関連産業の振興を図る。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	展開拡大に向けた調整	→						
	事業実施	→						
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	5,000	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500
	三川町	0	0	0	0	0	0	0
	庄内町	0	0	0	0	0	0	0
重要業績評価指標 (KPI)	地域産木材の利活用	現状値(調査時点)			目 標			
		300 m <sup>3</sup> (令和3年度)			320 m <sup>3</sup> /年			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鶴岡市は事務局事務を行うとともに、各町との連絡、調整を行う。</li> <li>・住民への情報提供、地域産材を使った家づくりの啓発等は各市町がそれぞれ行う。</li> </ul>							

事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

旧								
P 3 2								
④ 地域内外の住民との交流・移住促進 ア 婚活対策の拡大								
圏域の若者の成婚を促進し地域の活力向上を図るため、鶴岡市の行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、各市町が連携・協力してより広範囲で効果的な婚活対策を展開する。								
形成協定の内容								
取組の内容	圏域の若者の成婚を促進するため、甲が行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、より広範囲での効果的な婚活対策を展開する。							
甲(鶴岡市)の役割	甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等もりようできるよう、乙と協議しその内容を拡大するとともに、取組の調整を図る。							
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、甲の行う婚活支援事業について乙の住民及び団体等に周知を図るとともに婚活支援事業を実施する。							
具体的な連携事業								
事業名	婚活支援事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し、情報を共有するとともに、婚活支援事業補助金の対象を各町の企業及び団体等に拡大する。また各町はその周知に努め補助を行うとともに、自ら婚活事業を実施する。							
期待される効果	圏域全体での婚活事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、及び成婚率の向上が期待される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	制度の見直し検討	→						
	事業実施(範囲拡大)		→	→	→	→	→	
事業費見込 (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	3,204	3,138	3,244	2,627	9,705	12,316	31,030
	三川町	185	185	185	19	15	215	619
	庄内町	1,241	922	572	1,154	948	1,779	5,375
重要業績評価指標(KPI)	行政主催の婚活イベント等開催数	現状値(調査時点)				目 標		
		10回				15回		
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市が事務局を担当し、各町と連絡、調整する。 ・各町の企業及び団体等への補助は各町がそれぞれ行う。							
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。								

新									
P 3 0									
④ 地域内外の住民との交流・移住促進 ア 婚活対策の拡大									
圏域の若者の成婚を促進し地域の活力向上を図るため、鶴岡市の行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、各市町が連携・協力してより広範囲で効果的な婚活対策を展開する。									
形成協定の内容									
取組の内容	圏域の若者の成婚を促進するため、甲が行う婚活対策の対象を圏域全体へ拡大し、より広範囲での効果的な婚活対策を展開する。								
甲(鶴岡市)の役割	甲の行う婚活支援事業を乙の住民や団体等もりようできるよう、乙と協議しその内容を拡大するとともに、取組の調整を図る。								
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と連携して、甲の行う婚活支援事業について乙の住民及び団体等に周知を図るとともに婚活支援事業を実施する。								
具体的な連携事業									
事業名	婚活支援事業								
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町								
事業内容	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し、情報を共有するとともに、婚活支援事業補助金の対象を各町の企業及び団体等に拡大する。また各町はその周知に努め補助を行うとともに、自ら婚活事業を実施する。								
期待される効果	圏域全体での婚活支援事業の展開が可能となり、出会いの機会の増加、 <b>結婚・交際に対する意識</b> 及び成婚率の向上が期待される。								
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9		
	制度の見直し検討	→							
	事業実施(範囲拡大)		→	→	→	→	→		
事業費見込 (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	12,312	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000
	三川町	215	215	215	215	215	125	985	
	庄内町	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	8,895	
重要業績評価指標(KPI)	行政主催の婚活イベント等開催数	現状値(調査時点)				目 標			
		17回(令和3年度)				17回			
活用を想定する補助制度	—								
役割分担の考え方	・鶴岡市が事務局を担当し、各町と連絡及び調整を行う。 ・各町の企業及び団体等への補助は各町がそれぞれ行う。								
事業費見込は現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。									

P 3 3

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保
- ② 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成

鶴岡市が実施している各種職員研修を基本に、研修の企画立案・運営を1市2町で行い、研修の質的充実と圏域の職員間の交流を図るとともに、外部より専門家を招聘し、課題解決能力、政策立案能力等の一層の向上を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の市町職員の課題解決能力、政策立案能力等を向上させ、圏域内のマネジメント能力を強化するため、圏域内外の専門家等を講師として招聘するなどし、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を実施するとともに、必要に応じ市町間での人的な交流を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行い、その調整を図る。 甲の職員等への周知、参加取りまとめを行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行う。 乙の職員等への周知、参加取りまとめを行う。

外部人材の活用方針

活用する主な政策分野	市民生活、健康福祉、教育文化、農林水産、商工観光、社会基盤
活用期間	平成30年度から令和2年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	平成30年度以降の専門家の招聘に関する費用については、関係市町の負担割合は、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と鶴岡市が事前に協議して決定する。

具体的な連携事業

事業名その1	合同研修事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で企画・開催し、職員の資質向上を図ると共に圏域内職員等の交流を推進する。							
期待される効果	職員の資質向上、圏域内職員等の交流・連携の推進等により、圏域マネジメント能力の強化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R1	R2	R3	R4	
	運営組織・事業内容等の検討	→						
	合同研修の企画・開催						→	
事業費見込 (千円)	H29	H30	R1	R2	R3	R4	計	
	鶴岡市	1,258	1,280	1,280	0	178	160	2,898
	三川町	100	100	100	0	100	100	400
	庄内町	100	100	100	0	100	100	400
重要業績評価指標 (KPI)	延べ受講者数	現状値(調査時点)			目 標			
		119名(H29年度末現在)			240名(R4年度末現在)			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市、庄内町、三川町が合同で研修の企画・運営を行う。 ・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。							

P 3 1

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

- ① 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保
- ② 圏域内市町の職員等の交流

ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成

鶴岡市が実施している各種職員研修を基本に、研修の企画立案・運営を1市2町で行い、研修の質的充実と圏域の職員間の交流を図るとともに、外部より専門家を招聘し、課題解決能力、政策立案能力等の一層の向上を図る。

形成協定の内容

取組の内容	圏域の市町職員の課題解決能力、政策立案能力等を向上させ、圏域内のマネジメント能力を強化するため、圏域内外の専門家等を講師として招聘するなどし、地域の活性化等、圏域内における共通の課題をテーマとした合同研修を実施するとともに、必要に応じ市町間での人的な交流を行う。
甲(鶴岡市)の役割	乙と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行い、その調整を図る。 甲の職員等への周知、参加取りまとめを行う。
乙(三川町、庄内町)の役割	甲と共同して研修を企画・開催するとともに、市町間の人的交流などの取組を行う。 乙の職員等への周知、参加取りまとめを行う。

外部人材の活用方針

活用する主な政策分野	市民生活、健康福祉、教育文化、農林水産、商工観光、社会基盤
活用期間	令和5年度から令和9年度までを予定
関係市町の費用の負担割合及び積算	平成30年度以降の専門家の招聘に関する費用については、関係市町の負担割合は、活用内容を踏まえて市町で協議し決定することとし、費用の積算については、その年度の課題などを考慮して専門家と鶴岡市が事前に協議して決定する。

具体的な連携事業

事業名その1	合同研修事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修を合同で企画・開催し、職員の資質向上を図ると共に圏域内職員等の交流を推進する。							
期待される効果	職員の資質向上、圏域内職員等の交流・連携の推進等により、圏域マネジメント能力の強化が図られる。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	運営組織・事業内容等の検討	→						
	合同研修の企画・開催						→	
事業費見込 (千円)	R4	R5	R6	R7	R8	R9	計	
	鶴岡市	160	305	305	305	305	305	1,525
	三川町	100	100	100	100	100	100	500
	庄内町	100	100	100	100	100	100	500
重要業績評価指標 (KPI)	延べ受講者数	現状値(調査時点)			目 標			
		212名(令和4年度末現在)			312名			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市、庄内町、三川町が合同で研修の企画・運営を行う。 ・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。							

旧

P 3 4

事業名その2	外部人材活用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、指導・助言を受けながら地域の振興及び産業の活性化に関する研修を実施する。							
期待される効果	職員の課題解決能力、政策立案能力の向上が図られるとともに、圏域内の振興と産業の活性化が推進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	
	研修等の実施		—————▶					
事業費見込み (千円)		H29	H30	R1	R2	R3	R4	計
	鶴岡市	3,000	0	0	0	0	0	0
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	外部人材専門家による研修等の実施	現状値(調査時点)			目 標			
		0回 (平成 28 年度)			年1回			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

新

P 3 2

事業名その2	外部人材活用事業							
関係市町名	鶴岡市、三川町、庄内町							
事業内容	圏域内外から専門家を招へいし、指導・助言を受けながら地域の振興及び産業の活性化に関する研修を実施する。							
期待される効果	職員の課題解決能力、政策立案能力の向上が図られるとともに、圏域内の振興と産業の活性化が推進される。							
実施スケジュール	具体的な事業項目	R4	R5	R6	R7	R8	R9	
	研修等の実施・検討		—————▶					
事業費見込み (千円)		R4	R5	R6	R7	R8	R9	計
	鶴岡市	0	0	0	0	0	0	0
	三川町							
	庄内町							
重要業績評価指標 (KPI)	外部人材専門家による研修等の実施	現状値(調査時点)			目 標			
		0回(令和3年度)			年1回			
活用を想定する補助制度	—							
役割分担の考え方	・鶴岡市は事業実施に係る事務局を担い、各町と連絡、調整する。							

事業費見込みは現時点での見込額を記載しており、毎年度の予算で具体額を定めます。

旧	P 3 5											
	5 共生ビジョン事業一覧表											
	1 生活機能の強化に係る政策分野											
	(1)医療											
	ア 医師等の確保対策の充実											
					H30	R1	R2	R3	R4	計		
					33,328	35,628	42,620	35,036	116,301	262,913		
	市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
					H30	R1	R2	R3	R4	計		
	鶴岡市	1-①-ア	医師の確保 対策事業	荘内病院の医師等の確保に 向けた取組みを協力して実施 する。	29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267		
三川町	1-①-ア	同上	同上									
庄内町	1-①-ア	同上	同上									
計				29,000	31,300	38,300	30,721	111,946	241,267			
イ 休日及び夜間における診療体制の充実												
市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考	
				H30	R1	R2	R3	R4	計			
鶴岡市	1-①-イ	休日及び夜 間における診 療体制の充 実	圏域の初期救急医療施設とし て、機能充実と普及啓発を連 携して行う。	30	30	30	30	30	150			
三川町	1-①-イ	同上	同上									
庄内町	1-①-イ	同上	同上									
計				30	30	30	30	30	150			

新	P 3 3											
	6 共生ビジョン事業一覧表											
	1 生活機能の強化に係る政策分野											
	(1)医療											
	ア 医師等の確保対策の充実											
					R5	R6	R7	R8	R9	計		
					407,201	708,001	93,601	50,601	56,601	1,316,005		
	市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
					R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	1-①-ア	医師の確保 対策事業	荘内病院の医師等の確保に 向けた取組みを協力して実施 する。	402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230		
三川町	1-①-ア	同上	同上									
庄内町	1-①-ア	同上	同上									
計				402,846	703,646	89,246	46,246	52,246	1,294,230			
イ 休日及び夜間における診療体制の充実												
市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考	
				R5	R6	R7	R8	R9	計			
鶴岡市	1-①-イ	休日及び夜 間における診 療体制の充 実	圏域の初期救急医療施設とし て、機能充実と普及啓発を連 携して行う。	30	30	30	30	30	150			
三川町	1-①-イ	同上	同上									
庄内町	1-①-イ	同上	同上									
計				30	30	30	30	30	150			

P 3 6  
ウ がん緩和ケアの充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-①-ウ	南庄内がん 緩和ケアの充 実	「緩和ケアサポートセンター鶴 岡・三川」への支援を通しが 緩和ケアの普及啓発を推進す る。	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250		
三川町	1-①-ウ	同上	同上	600	600	600	600	600	3,000		
計				4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	21,250		

エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-①-エ	がん検診受 診向上対策 啓発	圏域で連携して受診の啓発活 動や職域への働きかけを行 う。	19	19	16	14	30	98		
三川町	1-①-エ	同上	同上	19	19	16	14	30	98		
庄内町	1-①-エ	同上	同上	10	10	8	7	15	50		
計				48	48	40	35	75	246		

旧

P 3 4  
ウ がん緩和ケアの充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-ウ	南庄内がん 緩和ケアの充 実	「緩和ケアサポートセンター鶴 岡・三川」への支援を通しが 緩和ケアの普及啓発を推進す る。	3,650	3,650	3,650	3,650	3,650	18,250		
三川町	1-①-ウ	同上	同上	600	600	600	600	600	3,000		
計				4,250	4,250	4,250	4,250	4,250	21,250		

エ がん検診受診率向上に向けた取組の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-①-エ	がん検診受 診向上対策 啓発	圏域で連携して受診の啓発活 動や職域への働きかけを行 う。	30	30	30	30	30	150		
三川町	1-①-エ	同上	同上	30	30	30	30	30	150		
庄内町	1-①-エ	同上	同上	15	15	15	15	15	75		
計				75	75	75	75	75	375		

新

P 3 7

(2)福祉

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-ア	病児・病後児 保育事業の 相互利用	各市町の病児・病後児保育施設 のサービスが相互に利用で きるようにする。	6,764	7,109	29,270	28,336	27,333	98,812	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-ア	同上	同上	15,532	15,897	15,897	15,640	16,513	79,479	同上	
庄内町	1-②-ア	同上	同上	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760	同上	
計				34,848	35,558	57,719	56,528	56,398	241,051		

イ 一時保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-イ	一時保育施設 の相互利用	各市町の一時保育施設のサ ービスが相互に利用できるよ うにする。	23,869	27,058	20,956	20,956	20,956	113,795	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-イ	同上	同上	1,722	1,600	1,600	1,600	1,600	8,122	同上	
庄内町	1-②-イ	同上	同上	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540	同上	
計				33,677	38,356	31,808	31,808	31,808	167,457		

P 3 5

(2)福祉

ア 病児・病後児保育施設の相互利用

R5	R6	R7	R8	R9	計
412,793	414,405	413,959	413,959	413,959	2,069,075

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-ア	病児・病後児 保育事業の 相互利用	各市町の病児・病後児保育施設 のサービスが相互に利用で きるようにする。	23,611	23,611	23,611	23,611	23,611	118,055	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-ア	同上	同上	16,513	16,513	16,513	16,513	16,513	82,565	同上	
庄内町	1-②-ア	同上	同上	12,552	12,552	12,552	12,552	12,552	62,760	同上	
計				52,676	52,676	52,676	52,676	52,676	263,380		

イ 一時保育施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-イ	一時保育施設 の相互利用	各市町の一時保育施設のサ ービスが相互に利用できるよ うにする。	45,253	45,253	45,253	45,253	45,253	226,265	子ども・子育て 支援交付金 (国) 山形県保育対 策等促進事業 費補助金	
三川町	1-②-イ	同上	同上	2,679	2,679	2,679	2,679	2,679	13,395	同上	
庄内町	1-②-イ	同上	同上	8,086	9,698	9,252	9,252	9,252	45,540	同上	
計				56,018	57,630	57,184	57,184	57,184	285,200		

P 3 8

ウ 鶴岡市子ども家庭支援センターの広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-ウ	鶴岡市子ども家庭支援センターの機能拡充	市子育て支援センターで実施する育児相談、育児講座等を圏域全体で利用できるようにする。	416	490	498	300	573	2,277	子ども・子育て支援交付金(国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ウ	同上	同上								
庄内町	1-②-ウ	同上	同上								
計				416	490	498	300	573	2,277		

旧 エ 介護認定審査事務の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-エ	要介護認定審査事務	鶴岡市介護認定審査会において、三川町の要介護認定審査事務を受託する。	13,793	15,954	11,058	14,428	18,000	73,233		
三川町	1-②-エ	同上	同上	4,860	5,079	4,500	4,738	4,800	23,977		
計				18,653	21,033	15,558	19,166	22,800	97,210		

P 3 6

ウ 子育て支援センターの相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-ウ	子育て支援センターの相互利用	各市町で実施している子育て支援センターの事業について相互に利用できるようにする。	800	800	800	800	800	4,000	子ども・子育て支援交付金(国) 山形県保育対策等促進事業費補助金	
三川町	1-②-ウ	同上	同上	20,770	20,770	20,770	20,770	20,770	103,850		
庄内町	1-②-ウ	同上	同上	1,480	1,480	1,480	1,480	1,480	7,400		
計				23,050	23,050	23,050	23,050	23,050	115,250		

エ 介護認定審査事務の連携

新

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-エ	要介護認定審査事務	鶴岡市介護認定審査会において、三川町の要介護認定審査事務を受託する。	15,600	15,600	15,600	15,600	15,600	78,000		
三川町	1-②-エ	同上	同上	4,900	4,900	4,900	4,900	4,900	24,500		
計				20,500	20,500	20,500	20,500	20,500	102,500		

P 3 9

## オ 老人福祉施設の広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-②-オ	養護老人ホーム整備事業	社会福祉法人が行う広域型施設の養護老人ホームの整備に対し支援を行い、整備を促進する	912,000	0	0	73,060	0	985,060	県社会福祉施設整備費補助金・市社会福祉施設等整備費補助金	H29 繰越明許費でH30に事業実施 R2 繰越明許でR3に事業完了
三川町	1-②-オ	同上	同上	2,632	0	0	1,993	0	4,625		
庄内町	1-②-オ	同上	同上	7,379	0	0	5,585	0	12,964		
計				922,011	0	0	80,638	0	1,002,649		

旧

P 3 7

## オ 老人福祉施設の広域利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-②-オ	養護老人ホーム入所措置事業	広域型施設の養護老人ホームに対し、措置入所を行い、またその入所調整を図る。	231,007	231,007	231,007	231,007	231,007	1,155,035		
三川町	1-②-オ	同上	同上	9,942	9,942	9,942	9,942	9,942	49,710		
庄内町	1-②-オ	同上	同上	19,600	19,600	19,600	19,600	19,600	98,000		
計				260,549	260,549	260,549	260,549	260,549	1,302,745		

新

P 4 0

(3)教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

H30	R1	R2	R3	R4	計
1,169	1,169	982	792	1,327	5,439

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-③-ア	鶴岡市中央 公民館女性 センターの機 能拡充	女性センターで実施する資格 取得準備講座や女性講座、相 談等を圏域全体で利用できる ようにする。	1,169	1,169	982	792	1,327	5,439		
三川町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				1,169	1,169	982	792	1,327	5,439		

旧

P 3 8

(3)教育

ア 鶴岡市中央公民館女性センターの広域利用

R5	R6	R7	R8	R9	計
1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-③-ア	鶴岡市中央 公民館女性 センターの広 域利用	女性センターで実施する資格 取得準備講座や女性講座、相 談等を圏域全体で利用できる ようにする。	1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605		
三川町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				1,121	1,121	1,121	1,121	1,121	5,605		

新

P 4 1

(4)産業振興

H30	R1	R2	R3	R4	計
110,833	84,718	83,402	83,654	148,947	511,554

ア 圏域の産業人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ア	産業人材育成支援	(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業を連携して支援する。	9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384		
三川町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				9,815	10,123	9,827	9,897	9,722	49,384		

イ 雇用・就業支援対策の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-イ	雇用・就業支援(内職相談)	鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業を連携して支援する。	2,392	2,180	2,064	2,154	2,423	11,213		
三川町	1-④-イ	同上	同上	138	128	122	127	144	659		
計				2,530	2,308	2,186	2,281	2,567	11,872		

旧

P 3 9

(4)産業振興

R5	R6	R7	R8	R9	計
149,048	149,048	149,048	148,975	148,913	745,032

ア 圏域の産業人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ア	産業人材育成支援	(公財)庄内地域産業振興センターが実施する人材育成事業を連携して支援する。	9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610		
三川町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				9,722	9,722	9,722	9,722	9,722	48,610		

イ 雇用・就業支援対策の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-イ	雇用・就業支援(内職相談)	鶴岡ワークサポートルームが行う雇用・就業支援事業を連携して支援する。	2,423	2,423	2,423	2,423	2,423	12,115		
三川町	1-④-イ	同上	同上	144	144	144	144	144	720		
計				2,567	2,567	2,567	2,567	2,567	12,835		

新

P 4 2

ウ 水田農業の研究・研修活動等の促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ウ	庄内水田農業推進機構支援	庄内水田農業推進機構が行う事業を圏域全体で支援する。	370	0	0	0	0	370		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	21	0	0	0	0	21		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	63	0	0	0	0	63		
計				454	0	0	0	0	454		

エ 育苗施設等農業施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-エ	庄内南部地域育苗施設等利用拡大	育苗施設などの農業施設を圏域全体で利用できるようにする。	502	542	914	819	900	3,677		
三川町	1-④-エ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-エ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				502	542	914	819	900	3,677		
鶴岡市	1-④-エ	放牧場の合理化	放牧場の施設統合と一体的な利用を進め、効率的な放牧事業を推進する。	5,644	5,678	5,062	5,081	5,118	26,583		
三川町	1-④-エ	同上	同上	180	180	180	180	198	918		
庄内町	1-④-エ	同上	同上	3,179	2,781	2,345	2,221	2,252	12,778		
計				9,003	8,639	7,587	7,482	7,568	40,279		
合計				9,505	9,181	8,501	8,301	8,468	43,956		

旧

P 4 0

ウ 育苗施設等農業施設の相互利用

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ウ	庄内南部地域育苗施設等利用拡大	育苗施設などの農業施設を圏域全体で利用できるようにする。	900	900	900	900	900	4,500		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				900	900	900	900	900	4,500		
鶴岡市	1-④-ウ	放牧場の合理化	放牧場の施設統合と一体的な利用を進め、効率的な放牧事業を推進する。	5,044	5,044	5,044	4,936	4,828	24,896		
三川町	1-④-ウ	同上	同上	198	198	198	197	196	987		
庄内町	1-④-ウ	同上	同上	2,190	2,190	2,190	2,226	2,273	11,069		
計				7,432	7,432	7,432	7,359	7,297	36,952		
合計				8,332	8,332	8,332	8,259	8,197	41,452		

新

P 4 3

オ 内水面漁業の振興対策の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-オ	内水面漁業 振興	内水面漁業協同組合が行う取 組みに対し圏域全体で支援す る。	380	380	380	380	380	1,900		
三川町	1-④-オ	同上	同上	48	48	48	48	48	240		
庄内町	1-④-オ	同上	同上	47	47	47	47	47	235		
計				475	475	475	475	475	2,375		

カ 観光推進団体等支援の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-カ	赤川花火大 会への支援	赤川花火大会実行委員会に 対し圏域の市町が連携して支 援する。	15,000	15,000	10,078	15,000	15,000	70,078		
三川町	1-④-カ	同上	同上	300	300	202	300	300	1,402		
計				15,300	15,300	10,280	15,300	15,300	71,480		
鶴岡市	1-④-カ	出羽三山地 区観光開発 への支援	出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会に対し圏域の市町 が連携して支援する。	2,600	2,600	2,600	2,720	2,720	13,240		
庄内町	1-④-カ	同上	同上	200	200	200	205	205	1,010		
計				2,800	2,800	2,800	2,925	2,925	14,250		
合計				18,100	18,100	13,080	18,225	18,225	85,730		

旧

P 4 1

工 内水面漁業の振興対策の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-工	内水面漁業 振興	内水面漁業協同組合が行う取 組みに対し圏域全体で支援す る。	380	380	380	380	380	1,900		
三川町	1-④-工	同上	同上	48	48	48	48	48	240		
庄内町	1-④-工	同上	同上	47	47	47	47	47	235		
計				475	475	475	475	475	2,375		

オ 観光推進団体等支援の充実

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-オ	赤川花火大 会への支援	赤川花火大会実行委員会に 対し圏域の市町が連携して支 援する。	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
三川町	1-④-オ	同上	同上	300	300	300	300	300	1,500		
計				15,300	15,300	15,300	15,300	15,300	76,500		
鶴岡市	1-④-オ	出羽三山地 区観光開発 への支援	出羽三山地区観光開発促進 期成同盟会に対し圏域の市町 が連携して支援する。	2,720	2,720	2,720	2,720	2,720	13,600		
庄内町	1-④-オ	同上	同上	205	205	205	205	205	1,025		
計				2,925	2,925	2,925	2,925	2,925	14,625		
合計				18,225	18,225	18,225	18,225	18,225	91,125		

新

P 4 4

キ 圏域観光の魅力発信の連携強化

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-キ	インバウンド 観光推進	外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。	30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721	東北観光復興 対策交付金	
三川町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				30,101	19,087	13,383	7,390	6,760	76,721		

ク 食文化や映画を活かした地域文化の発信、創造的人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ク	食文化発信 事業	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信	700	472	2,824	3,044	1,003	8,043	○文化芸術創造拠点 形成事業補助金 ○地方創生推進交 付金	
三川町	1-④-ク	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-ク	同上		0	0	0	0	0	0		
計				700	472	2,824	3,044	1,003	8,043		

旧

P 4 2

カ 圏域観光の魅力発信の連携強化

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-カ	インバウンド 観光推進	外国人観光客誘客のため、海外メディアによる情報発信等を行う。	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000	東北観光復興 対策交付金	
三川町	1-④-カ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-カ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	35,000		

キ 食文化\_\_\_\_\_を活かした地域文化の情報発信、創造的人材の育成

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-キ	食文化情報 発信事業	伝統的、地域的な食文化のアーカイブ化と情報発信	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000	○文化芸術振興費 補助金 ○地方創生推進交 付金	
三川町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-④-キ	同上		0	0	0	0	0	0		
計				1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000		

新

P 4 5

ケ 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-④-ケ	木質バイオマス利用促進事業	木質バイオマス発電所の整備推進と、木質バイオマスの供給体制整備を連携して行う。	37,676	23,586	31,742	32,786	94,980	220,770	美しい森づくり基盤整備事業補助金(県)	
庄内町	1-④-ケ	同上	同上	1,477	1,386	1,384	1,462	6,747	12,456	同上	
計				39,153	24,972	33,126	34,248	101,727	233,226		

(5)その他

H30	R1	R2	R3	R4	計
0	0	0	0	0	0

ア 下水道事業の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	1-⑤-ア	下水道事業連携プランの策定と汚水処理の連携	事業連携プランを策定し実施するとともに災害時等の汚水処理を連携して行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		

旧

P 4 3

ク 林業の振興と木質バイオマスの利用促進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-④-ク	木質バイオマス利用促進事業	木質バイオマス発電所の整備推進と、木質バイオマスの供給体制整備を連携して行う。	94,980	94,980	94,980	94,980	94,980	474,900	美しい森づくり基盤整備事業補助金(県)	
庄内町	1-④-ク	同上	同上	6,747	6,747	6,747	6,747	6,747	33,735	同上	
計				101,727	101,727	101,727	101,727	101,727	508,635		

(5)その他

R5	R6	R7	R8	R9	計
0	0	0	0	0	0

ア 下水道事業の連携

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	1-⑤-ア	下水道事業連携プランの策定と汚水処理の連携	事業連携プランを策定し実施するとともに災害時等の汚水処理を連携して行う。	0	0	0	0	0	0		
三川町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	1-⑤-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				0	0	0	0	0	0		

新

P 4 6

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

H30	R1	R2	R3	R4	計
9,499	10,562	12,900	9,847	10,892	53,700

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-①-ア	圏域内バス路線の確保維持と利用促進	既存バス路線の確保維持への支援と情報提供の向上による利用促進を連携して行う。	6,070	6,749	7,773	5,613	6,446	32,651	地域公共交通確保維持事業 山形県総合交付金	
三川町	2-①-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0	同上	
庄内町	2-①-ア	同上	同上	3,429	3,813	5,127	4,234	4,446	21,049	同上	
計				9,499	10,562	12,900	9,847	10,892	53,700		

(2) 道路等の交通インフラの整備

ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

H30	R1	R2	R3	R4	計
396,174	448,113	706,325	376,122	547,183	2,473,917

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-②-ア	橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強	市町道に架かる橋梁の現状把握、修繕計画に基づく補修・補強を連携して行い、長寿命化を進める。	336,667	377,803	507,296	336,143	477,569	2,035,478	防災安全交付金 地方債	
三川町	2-②-ア	同上	同上	53,125	51,891	89,709	30,267	13,500	238,492	同上	
庄内町	2-②-ア	同上	同上	6,382	18,419	109,320	9,712	56,114	199,947	同上	
計				396,174	448,113	706,325	376,122	547,183	2,473,917		

P 4 4

2 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

(1) 地域公共交通

ア 圏域公共交通ネットワークの確保維持及び利用促進

R5	R6	R7	R8	R9	計
11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-①-ア	圏域内バス路線の確保維持と利用促進	既存バス路線の確保維持への支援と情報提供の向上による利用促進を連携して行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500	地域公共交通確保維持事業 山形県総合交付金	
三川町	2-①-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0	同上	
庄内町	2-①-ア	同上	同上	4,500	4,500	4,500	4,500	4,500	22,500	同上	
計				11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	55,000		

(2) 道路等の交通インフラの整備

ア 道路整備や維持管理の連携による市町道ネットワークの向上

R5	R6	R7	R8	R9	計
953,200	778,300	737,000	710,000	535,500	3,714,000

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-②-ア	橋梁の長寿命化修繕計画の策定及び補修・補強	市町道に架かる橋梁の現状把握、修繕計画に基づく補修・補強を連携して行い、長寿命化を進める。	550,200	542,300	487,000	475,000	495,500	2,550,000	道路メンテナンス事業費補助金 地方債	
三川町	2-②-ア	同上	同上	37,000	16,000	30,000	15,000	10,000	108,000	同上	
庄内町	2-②-ア	同上	同上	366,000	220,000	220,000	220,000	30,000	1,056,000	同上	
計				953,200	778,300	737,000	710,000	535,500	3,714,000		

P 4 7

(3)地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

H30	R1	R2	R3	R4	計
6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	28,050

ア 地域産材利活用の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-③-ア	地域産材及び住宅関連産業振興	地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し連携して支援を行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	2,8050		
三川町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				6,500	6,500	6,500	6,500	2,050	28,050		

旧

(4)地域内外の住民との交流・移住促進

H30	R1	R2	R3	R4	計
4,245	4,001	3,800	10,668	14,310	37,024

ア 婚活対策の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				H30	R1	R2	R3	R4	計		
鶴岡市	2-④-ア	婚活支援	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し各市町が婚活事業を実施する。	3,138	3,244	2,627	9,705	12,316	31,030		
三川町	2-④-ア	同上	同上	185	185	19	15	215	619		
庄内町	2-④-ア	同上	同上	922	572	1,154	948	1,779	5,375		
計				4,245	4,001	3,800	10,668	14,310	37,024		

P 4 5

(3)地域の生産者・消費者等の連携による地産地消

R5	R6	R7	R8	R9	計
6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500

ア 地域産材利活用の推進

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-③-ア	地域産材及び住宅関連産業振興	地域産材を使った家づくりを推進する民間ネットワーク組織に対し連携して支援を行う。	6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500		
三川町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
庄内町	2-③-ア	同上	同上	0	0	0	0	0	0		
計				6,500	6,500	6,500	6,500	6,500	32,500		

(4)地域内外の住民との交流・移住促進

R5	R6	R7	R8	R9	計
16,994	16,994	16,994	16,994	16,904	84,880

ア 婚活対策の拡大

市町	協定項目 (第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する 補助制度等	備考
				R5	R6	R7	R8	R9	計		
鶴岡市	2-④-ア	婚活支援	「つるおか婚活支援ネットワーク」の輪を圏域内に拡大し各市町が婚活事業を実施する。	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	75,000		
三川町	2-④-ア	同上	同上	215	215	215	215	125	985		
庄内町	2-④-ア	同上	同上	1,779	1,779	1,779	1,779	1,779	8,895		
計				16,994	16,994	16,994	16,994	16,904	84,880		

新

旧	P 4 8											
	3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野											
	(1) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保											
	(2) 圏域内市町の職員等の交流											
	ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成											
					H30	R1	R2	R3	R4	計		
					1,480	1,480	0	378	160	2,898		
	市町	協定項目(第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する補助制度等	備考
					H30	R1	R2	R3	R4	計		
	鶴岡市	3-①②-7	合同研修・交流	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修及び外部人材の活用を連携して行う。	1,280	1,280	0	178	160	2,898		
三川町	3-①②-7	同上	同上	100	100	0	100	100	400			
庄内町	3-①②-7	同上	同上	100	100	0	100	100	400			
計				1,480	1,480	0	378	360	3,698			
鶴岡市	3-①②-7	外部人材活用	圏域外から専門家を招へいし、地域振興・産業の活性化に資する研修を行う。	0	0	0	0	0	0			
三川町	3-①②-7	同上	同上	0	0	0	0	0	0			
庄内町	3-①②-7	同上	同上	0	0	0	0	0	0			
計				0	0	0	0	0	0			
合計				1,480	1,480	0	378	360	3,698			

新	P 4 6											
	3 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野											
	(1) 中心市等における外部からの行政及び民間人材の確保											
	(2) 圏域内市町の職員等の交流											
	ア 圏域の地域活力向上に資する合同研修・交流等職員の人材育成											
					R5	R6	R7	R8	R9	計		
					505	505	505	505	505	2,525		
	市町	協定項目(第3条)	事業名	事業概要	事業費見込み(単位:千円)						活用を想定する補助制度等	備考
					R5	R6	R7	R8	R9	計		
	鶴岡市	3-①②-7	合同研修・交流	圏域内外から専門家を招へいし、地域活力の向上に資する研修及び外部人材の活用を連携して行う。	305	305	305	305	305	1,525		
三川町	3-①②-7	同上	同上	100	100	100	100	100	500			
庄内町	3-①②-7	同上	同上	100	100	100	100	100	500			
計				505	505	505	505	505	2,525			
鶴岡市	3-①②-7	外部人材活用	圏域外から専門家を招へいし、地域振興・産業の活性化に資する研修を行う。	0	0	0	0	0	0			
三川町	3-①②-7	同上	同上	0	0	0	0	0	0			
庄内町	3-①②-7	同上	同上	0	0	0	0	0	0			
計				0	0	0	0	0	0			
合計				505	505	505	505	505	2,525			